令和６年度

広島高速５号線　温品ＪＣＴ鋼上部工事（２工区）

【DP8･DP9･DP10鋼製橋脚】

設　計　図

（ 当 初 ）

広島高速道路公社

図 面 目 録

工事名：広島高速5号線　温品JCT鋼上部工事（2工区）

【DP8･DP9･DP10鋼製橋脚】

図番	図面名称	縮尺
1	DP8･DP9･DP10鋼製橋脚 位置図	図示
2	全体平面図	図示
3	Dランプ第2橋 橋梁全体一般図(その1)	図示
4	Dランプ第2橋 橋梁全体一般図(その2)	図示
5	DP8鋼製橋脚 構造一般図	図示
6	DP8鋼製橋脚 断面構成図	図示
7	DP8鋼製橋脚 キャンバー図	図示
8	DP8鋼製橋脚 共通詳細図(その1)	図示
9	DP8鋼製橋脚 共通詳細図(その2)	図示
10	DP8鋼製橋脚 共通詳細図(その3)	図示
11	DP8鋼製橋脚 柱 詳細図(その1)	図示
12	DP8鋼製橋脚 柱 詳細図(その2)	図示
13	DP8鋼製橋脚 柱 詳細図(その3)	図示
14	DP8鋼製橋脚 柱 詳細図(その4)	図示
15	DP8鋼製橋脚 横梁･隅角部 詳細図(その1)	図示
16	DP8鋼製橋脚 横梁･隅角部 詳細図(その2)	図示
17	DP8鋼製橋脚 横梁･隅角部 詳細図(その3)	図示
18	DP8鋼製橋脚 横梁･隅角部 詳細図(その4)	図示
19	DP8鋼製橋脚 横梁･隅角部 詳細図(その5)	図示
20	DP8鋼製橋脚 沓座詳細図	図示
21	DP8鋼製橋脚 アンカーフレーム図(その1)	図示
22	DP8鋼製橋脚 アンカーフレーム図(その2)	図示
23	DP8鋼製橋脚 根巻きコンクリート図(その1)	図示
24	DP8鋼製橋脚 根巻きコンクリート図(その2)	図示
25	DP8鋼製橋脚 中埋めコンクリート図	図示
26	DP8鋼製橋脚 脚内梯子(その1)	図示
27	DP8鋼製橋脚 脚内梯子(その2)	図示
28	DP8鋼製橋脚 下部工排水装置図(その1)	図示
29	DP8鋼製橋脚 下部工排水装置図(その2)	図示
30	DP8鋼製橋脚 下部工検査路図(その1)	図示
31	DP8鋼製橋脚下部工検査路図(その2)	図示
32	DP8鋼製橋脚 下部工検査路図(その3)	図示
33	DP8鋼製橋脚下部工検査路図(その4)	図示
34	DP9鋼製橋脚 構造一般図	図示
35	DP9鋼製橋脚 断面構成図	図示
36	DP9鋼製橋脚 キャンバー図	図示
37	DP9鋼製橋脚 共通詳細図(その1)	図示
38	DP9鋼製橋脚 共通詳細図(その2)	図示
39	DP9鋼製橋脚 共通詳細図(その3)	図示
40	DP9鋼製橋脚 柱 詳細図(その1)	図示

図番	図面名称	縮尺
41	DP9鋼製橋脚 柱 詳細図(その2)	図示
42	DP9鋼製橋脚 柱 詳細図(その3)	図示
43	DP9鋼製橋脚 柱 詳細図(その4)	図示
44	DP9鋼製橋脚 横梁･隅角部 詳細図(その1)	図示
45	DP9鋼製橋脚 横梁･隅角部 詳細図(その2)	図示
46	DP9鋼製橋脚 横梁･隅角部 詳細図(その3)	図示
47	DP9鋼製橋脚 横梁･隅角部 詳細図(その4)	図示
48	DP9鋼製橋脚 横梁･隅角部 詳細図(その5)	図示
49	DP9鋼製橋脚 沓座詳細図	図示
50	DP9鋼製橋脚 アンカーフレーム図(その1)	図示
51	DP9鋼製橋脚 アンカーフレーム図(その2)	図示
52	DP9鋼製橋脚 根巻きコンクリート図(その1)	図示
53	DP9鋼製橋脚 根巻きコンクリート図(その2)	図示
54	DP9鋼製橋脚 中埋めコンクリート図	図示
55	DP9鋼製橋脚 脚内梯子(その1)	図示
56	DP9鋼製橋脚 脚内梯子(その2)	図示
57	DP9鋼製橋脚 下部工排水装置図(その1)	図示
58	DP9鋼製橋脚 下部工排水装置図(その2)	図示
59	DP9鋼製橋脚 下部工検査路図(その1)	図示
60	DP9鋼製橋脚 下部工検査路図(その2)	図示
61	DP9鋼製橋脚 下部工検査路図(その3)	図示
62	DP9鋼製橋脚 下部工検査路図(その4)	図示
63	DP10鋼製橋脚 構造一般図	図示
64	DP10鋼製橋脚 断面構成図	図示
65	DP10鋼製橋脚 キャンバー図	図示
66	DP10鋼製橋脚 共通詳細図(その1)	図示
67	DP10鋼製橋脚 共通詳細図(その2)	図示
68	DP10鋼製橋脚 共通詳細図(その3)	図示
69	DP10鋼製橋脚 柱 詳細図(その1)	図示
70	DP10鋼製橋脚 柱 詳細図(その2)	図示
71	DP10鋼製橋脚 柱 詳細図(その3)	図示
72	DP10鋼製橋脚 横梁･隅角部 詳細図(その1)	図示
73	DP10鋼製橋脚 横梁･隅角部 詳細図(その2)	図示
74	DP10鋼製橋脚 横梁･隅角部 詳細図(その3)	図示
75	DP10鋼製橋脚 横梁･隅角部 詳細図(その4)	図示
76	DP10鋼製橋脚 横梁･隅角部 詳細図(その5)	図示
77	DP10鋼製橋脚 沓座詳細図	図示
78	DP10鋼製橋脚 アンカーフレーム図(その1)	図示
79	DP10鋼製橋脚 アンカーフレーム図(その2)	図示
80	DP10鋼製橋脚 根巻きコンクリート図(その1)	図示

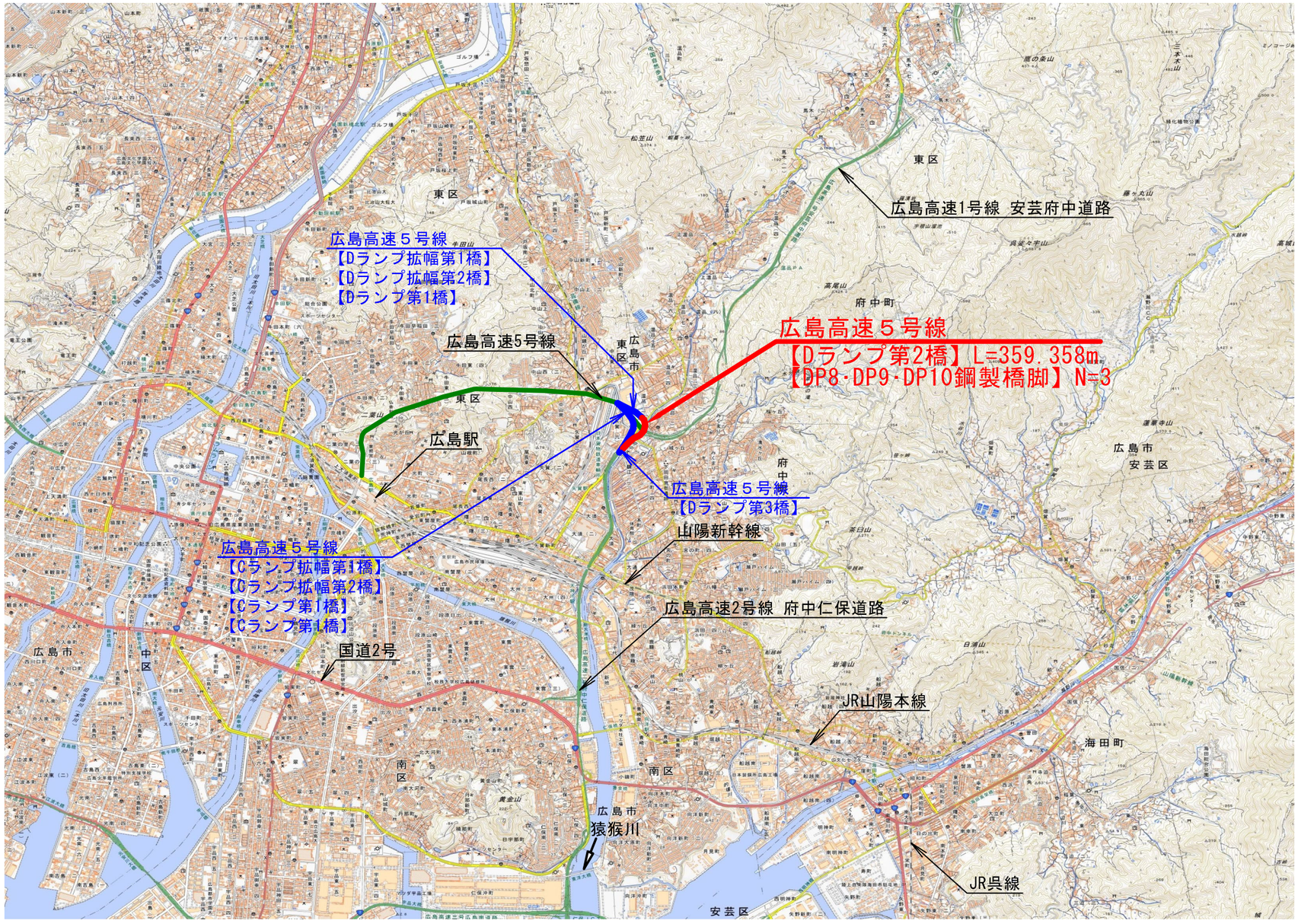
図番	図面名称	縮尺
81	DP10鋼製橋脚 根巻きコンクリート図(その2)	図示
82	DP10鋼製橋脚 中埋めコンクリート図	図示
83	DP10鋼製橋脚 脚内梯子(その1)	図示
84	DP10鋼製橋脚 脚内梯子(その2)	図示
85	DP10鋼製橋脚 下部工検査路図(その1)	図示
86	DP10鋼製橋脚 下部工検査路図(その2)	図示
87	DP10鋼製橋脚 下部工検査路図(その3)	図示

図番	図面名称	縮尺

工事名	広島高速５号線温品ＪＣＴ鋼上部工事（２工区）			
図面番号	1 / 87	縮尺	図示	
図面名	Ｄランプ第２橋 位置図		番号	
路線名	広島高速５号線			

広島高速道路公社

位置図 S=1:25,000



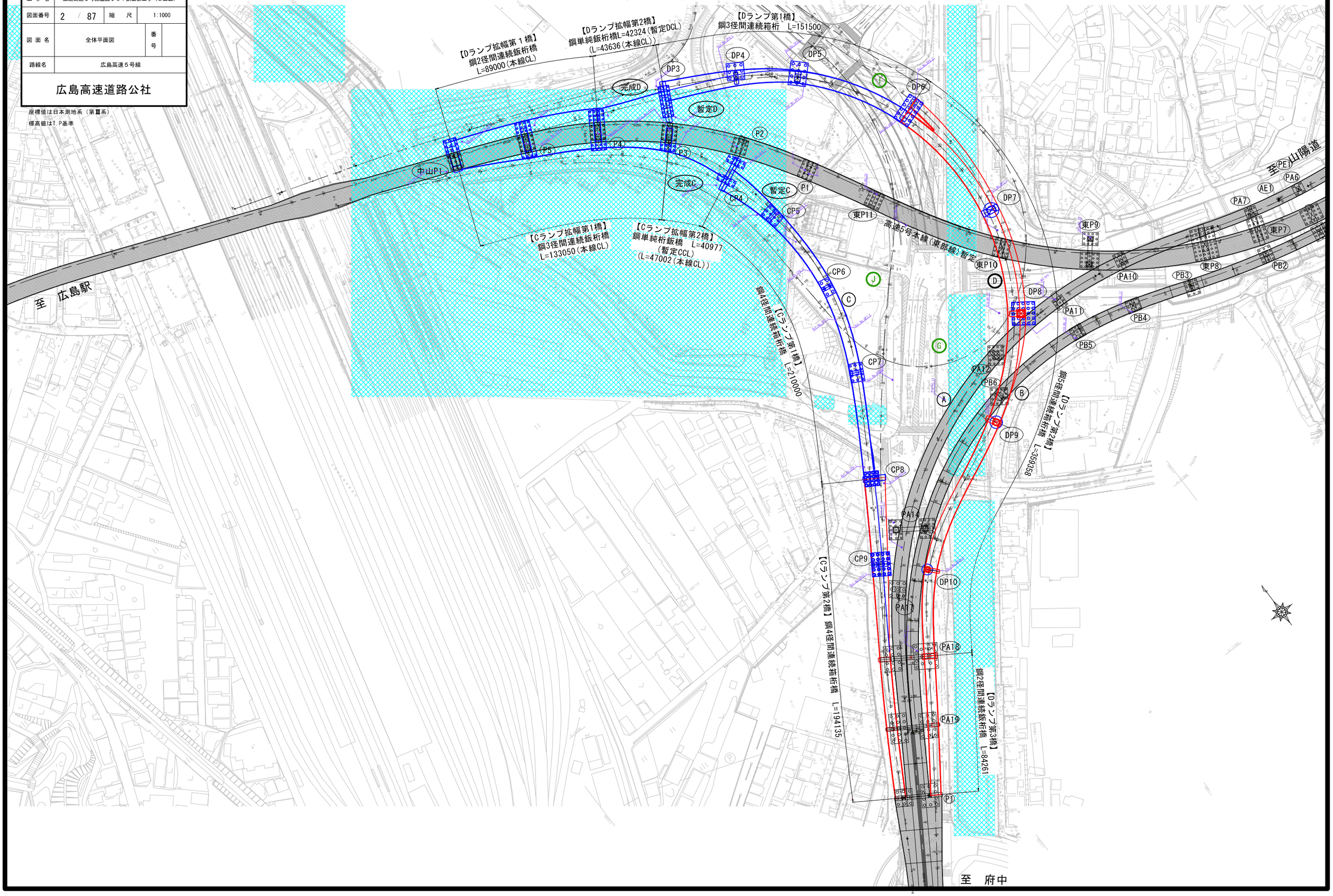
全体平面図

S=1:1000

工事名	広島高速５号線温品ＪＣＴ鋼上部工事（２工区）		
図面番号	2 / 87	縮尺	1:1000
図面名	全体平面図	番号	
路線名	広島高速５号線		

広島高速道路公社

座標値は日本測地系（第Ⅲ系）
標高値はＴＰ基準



工事名	広島高速５号線温品ＪＣＴ鋼上部工事（２工区）		
図面番号	3 / 87	縮尺	1:500
図面名	Ｄランプ第２橋 橋梁全体一般図（その1）	番号	
路線名	広島高速５号線		

広島高速道路公社

Ｄランプ第２橋　橋梁全体一般図（その1）

S=1:500

側面図

←至:広島駅

【Dランプ第1橋】L=151000.500

【Dランプ第2橋】鋼5径間連続鋼床版箱桁橋　L=359358

桁長 L=358958

DP6橋脚 NO.2+91.500　DP7橋脚 NO.3+69.000　DP8橋脚 NO.4+33.300　DP9橋脚 NO.5+0

200　800　76500　64300　66700　98500

Dランプ合流ノーズ（D-NO.3+10.000）

県道広島中島線　府中大川　市道 東1区356号線　県道府中祇園線

Bor. No.DP6-1 標高7.81m(深度26.00m)　Bor. No.DP6-2(投影) 標高7.12m(深度23.00m)　Bor. No.DP7-1(投影) 標高7.18m(深度14.00m)　既往Bor. No.18(投影) 標高7.16m(深度15.14m)　既往Bor. No.19(投影) GH=4.005 m (dep=22.00 m)　既往Bor. No.21(投影) GH=6.977 m(dep=40.04 m)　R5-DP8-1 T.P.+4.88m Dep.=26.00m　Bor. No.DP8-1(投影) 標高5.16m(深度20.00m)　R5-DP9-1 T.P.+7.50m Dep.=30.00m　既往Bor. No.22(投影) 標高7.43m(深度20.41m)

地下水位

場所打ち杭 φ1500 L=18.5m n=18本

オープンケーソン基礎 φ9000 L=23.0m n=1本

場所打ち杭 φ1500 L=12.0m n=23本

オープンケーソン基礎 φ7500 L=24.0m n=1本

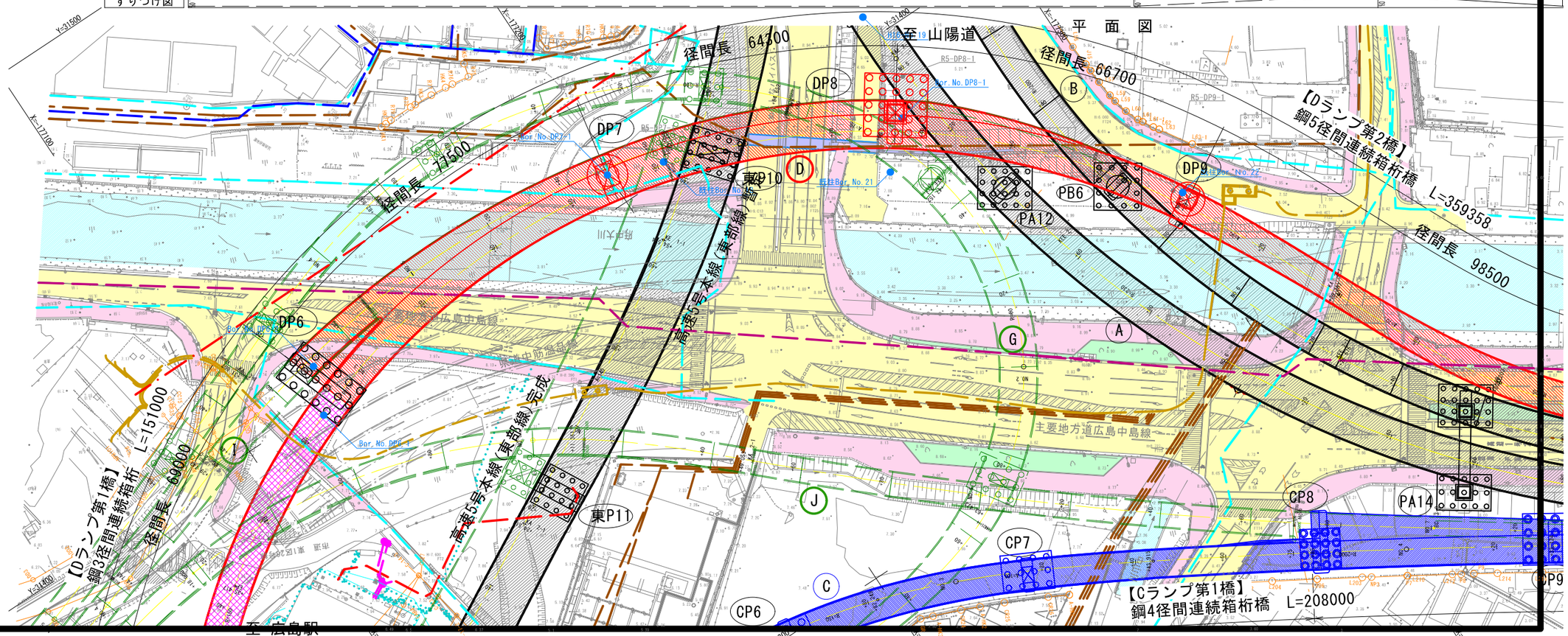
推定支持層線

VCL=140　VCR=1260

i=5.410% L=210.000　i=5.678% L=325.000

完成Dランプ 勾配	i=5.410% L=210.000 / VCL=140 VCR=1260 / i=5.678% L=325.000
計画高	32.817　33.439　33.899　34.981　35.905　36.511　36.681　36.801　36.828　36.775　36.431　36.027　35.771　34.793　33.658　33.352　32.522　31.387　30.286　30.251　29.116　27.989
地盤高	7.91　8.01　8.09　8.03　3.63　7.22　7.24　7.14　7.02　8.97　8.24　4.61　5.09　3.19　6.90　6.98　7.40　3.89　3.15　3.15　9.35　8.93
追加距離	280.039　291.039　300.039　320.039　340.039　360.039　369.039　380.039　390.039　400.039　420.039　433.339　440.039　460.039　480.039　465.426　500.039　520.039　539.426　540.039　560.039　580.039
単距離	20.000　11.000　9.000　20.000　20.000　20.000　9.000　11.000　10.000　20.000　20.000　13.300　6.700　20.000　20.000　5.387　14.613　20.000　19.387　0.613　20.000　20.000
完成Dランプ 測点	+80.000　DP6 +91.500　NO.3　+20.000　+40.000　+60.000　DP7 +69.000　+80.000　+90.000　NO.4　+20.000　DP8 +33.300　+40.000　+60.000　+80.000　KE 2-2　DP9 NO.5　+20.000　KA 3-1 +40.000　+60.000　+80.000
完成Dランプ 曲線方向	R=150 L=281.63 / A=90 L=54.0 / A=70 L=40.833
片勾配 すりつけ図	

平面図



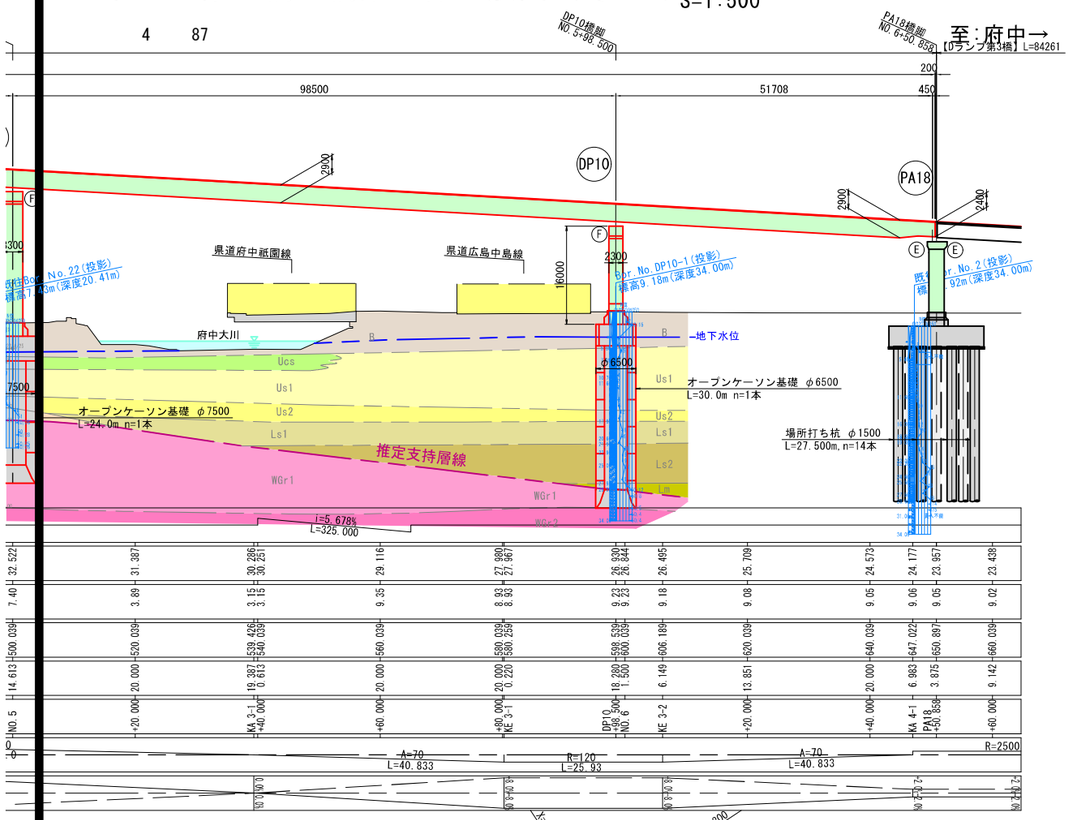
■特記事項

・座標値は日本測地系（第III系）※既設橋と統一するため。
・標高値はT.P基準

現場制約事項	・地下埋設物(上下水道、電気、工業用水) ・架空線(電気) (DP6橋脚～DP7橋脚間) ・関係機関協議（河川(府中大川)、公安委員会） ・地質・地盤等、施工上で特に留意する橋脚 DP7橋脚、DP9橋脚、DP10橋脚
(有) 無	

※上記、現場制約事項は、施工条件のうち、特に留意すべき事項を記載しているものであり、工事着手にあたり、工事監理連絡会等において受発注者間で厳格に確認する。

Dランプ第２橋　橋梁全体一般図（その1）S=1:500



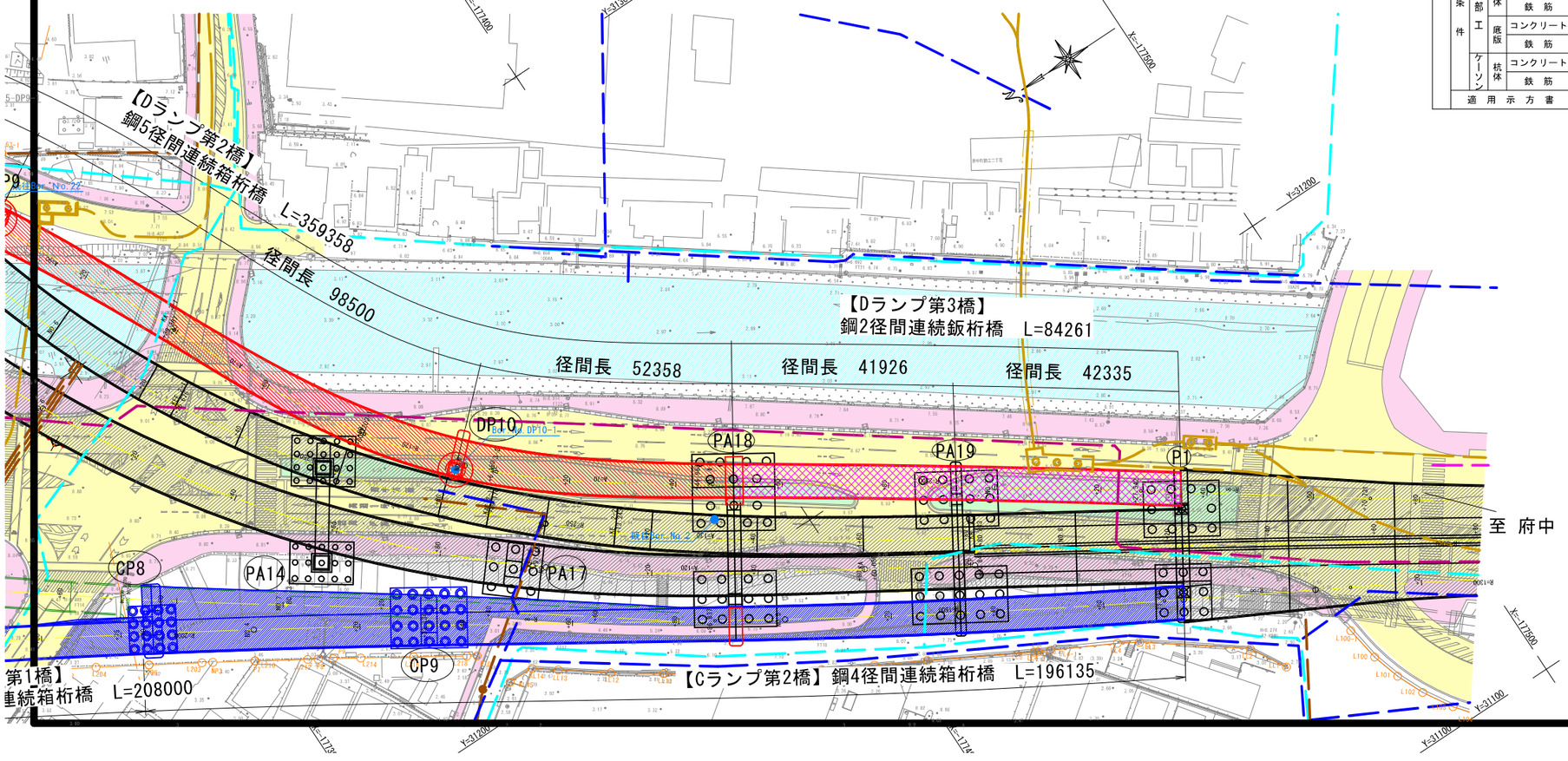
■地質凡例

地質時代		記号	地層名
新生代第四紀	完新世	B	盛土・埋土層
		Uc	上部粘性土層
		Ucs	上部中間土層
		Us1	上部第1砂質土層
		Us2	上部第2砂質土層
	新期更新世	Ls1	下部第1砂質土層
		Ls2	下部第2砂質土層
	更新世	Lm	最下部砂質土層
中世代	白亜紀	sf(WGr)	強風化花崗岩 DL,DM
		WGr1	風化花崗岩 DH
		WGr2	風化花崗岩 CL

■設　計　条　件

路線名			広島高速5号線　Dランプ
架橋位置			広島県広島市東区温品一丁目外
橋梁名			Dランプ第2橋
設計年月日			令和6年 4月
各種条件	基本条件	設計供用期間	100年
		道路規格	C規格
		設計速度	完成・暫定：V=50km/h
		橋長	359.358m(完成DCL上)
		径間長	77.500+64.300+66.700+98.500+52.358m(完成DCL上)
		全幅	17.246m～6.500m
		有効幅員	16.242m～5.500m
		交差条件	県道広島中島線、県道府中祇園線、間所IC、市道東I区356号線、既設高速5号本線(暫定)、既設A・Bランプ橋、府中大川
	構造形式	上部工	鋼5径間連続鋼床版箱桁橋
		床版形式	鋼床版 t=12mm
		下部工	DP7：RC張出式橋脚　DP8～DP10：鋼製張出式橋脚　PA18：鋼製ラーメン式橋脚(既設橋脚)
		基礎工	オープンケーソン　φ9000(DP7),7500(DP9),6500(DP10) 場所打ち杭　φ1500(DP8)
		支承条件	橋軸方向　端橋脚（DP6、PA18）：弾性、中間橋脚（DP7～DP10）：固定　橋軸直角方向　固定
	線形条件	平面線形	R=150～A=90～A=70～R=120～A=70～R=2500(完成DCL上)
		縦断勾配	i=5.410～5.678%
		横断勾配	車道：i=8.000%～-8.000%～-2.000%(片勾配)
		斜角	90°（DP6～DP10：完成DCLに対して、PA18：ACLに対して）
	耐震設計条件	重要度の区分	B種の橋
		地域区分	B2地域(広島県)
		地盤種別	II～III種地盤
		設計水平震度 橋軸方向	L1:kh=0.21　（Ⅱ種地盤）0.26（Ⅲ種地盤）　L2:動的解析による。
		設計水平震度 直角方向	L1:kh=0.21　（Ⅱ種地盤）0.26（Ⅲ種地盤）　L2:動的解析による。
	荷重条件	死荷重	鋼材：77kN/m3, 鉄筋コンクリート：24.5kN/m3, アスファルト舗装：1.8kN/m2
		活荷重	B活荷重
		特殊荷重	雪荷重：見込まない
	地質条件	液状化	砂質土層(B,Us1,Us2,Ls1)で低減係数DEを考慮
		支持層	WGr1層
	材料条件	上部工 鋼材	SS400,SM400,SM490Y(板厚40mmを超える場合は降伏点一定鋼),S10T
		上部工 床版 鋼材	SS400,SM490Y,S10T
		上部工 壁高欄 コンクリート	σck=30N/mm2
		上部工 壁高欄 鉄筋	SD345
		下部工 躯体 鋼材	SS400,SM400,SBHS500,S10T,S14T
		下部工 躯体 コンクリート	σck=30N/mm2
		下部工 躯体 鉄筋	SD345,SD490
		下部工 底版 コンクリート	σck=24N/mm2
		下部工 底版 鉄筋	SD345
		ケーソン 杭体 コンクリート	σck=30N/mm2
		ケーソン 杭体 鉄筋	SD345,SD490
適用示方書			道路橋示方書・同解説（平成29年11月　公益社団法人　日本道路協会）

※ケーソン：オープンケーソン



支障物件凡例

記号	名称	備考
	工業用水管	埋設(地下)
	下水管	埋設(地下)
	広島ガス	埋設(地下)
	中国電力	埋設(地下)
	上水道	埋設(地下)
	通信線(公社)	埋設(地下)
	給水管(公社)	埋設(地下)
	汚水排水管(公社)	埋設(地下)
	雨水排水管(公社)	埋設(地下)

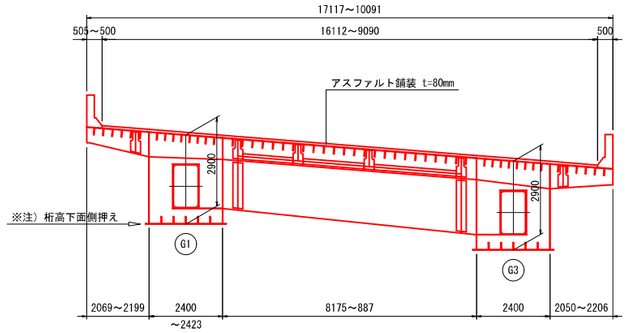
工事名	広島高速5号線(Dランプ第2橋)橋梁詳細設計業務		
図面番号	4 / 87	縮尺	図示
図面名	Dランプ第２橋 橋梁全体一般図（その2）	番号	
路線名	広島高速５号線		

広島高速道路公社

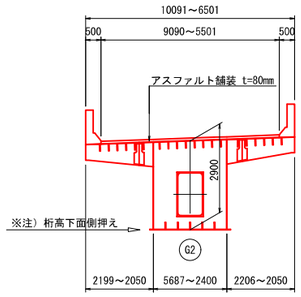
Dランプ第２橋　橋梁全体一般図（その2）

上部工一般図 S=1:100

〈 S1～C15L 区間 〉



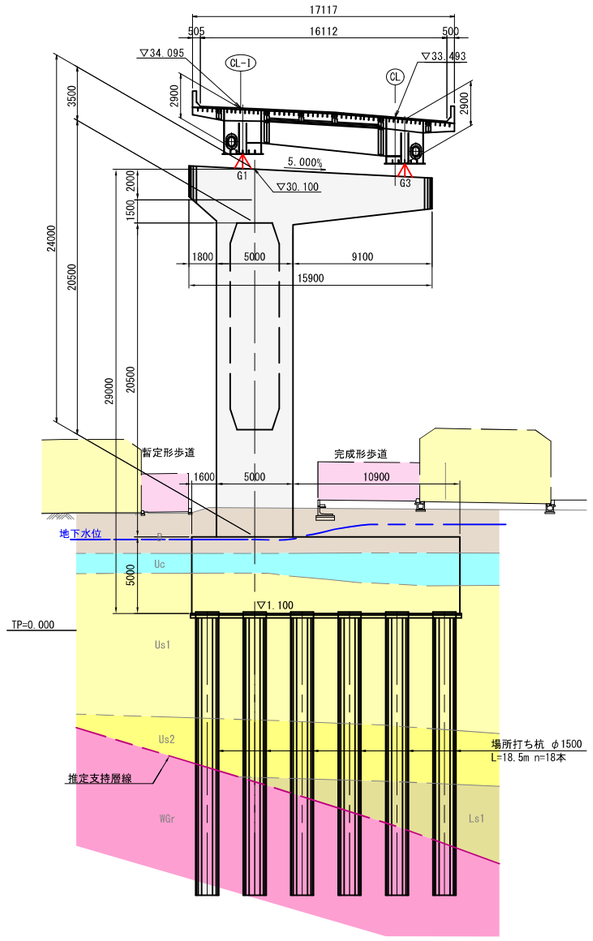
〈 C15L～S2 区間 〉



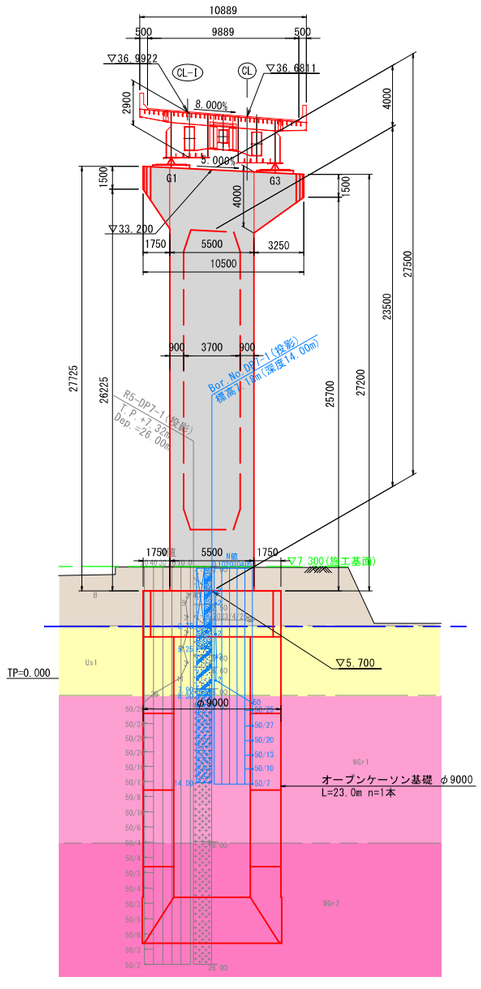
橋脚構造図 S=1:200

DP6橋脚/本設計業務対象外
（RC橋脚）
NO.2+91.500
FH=33.439

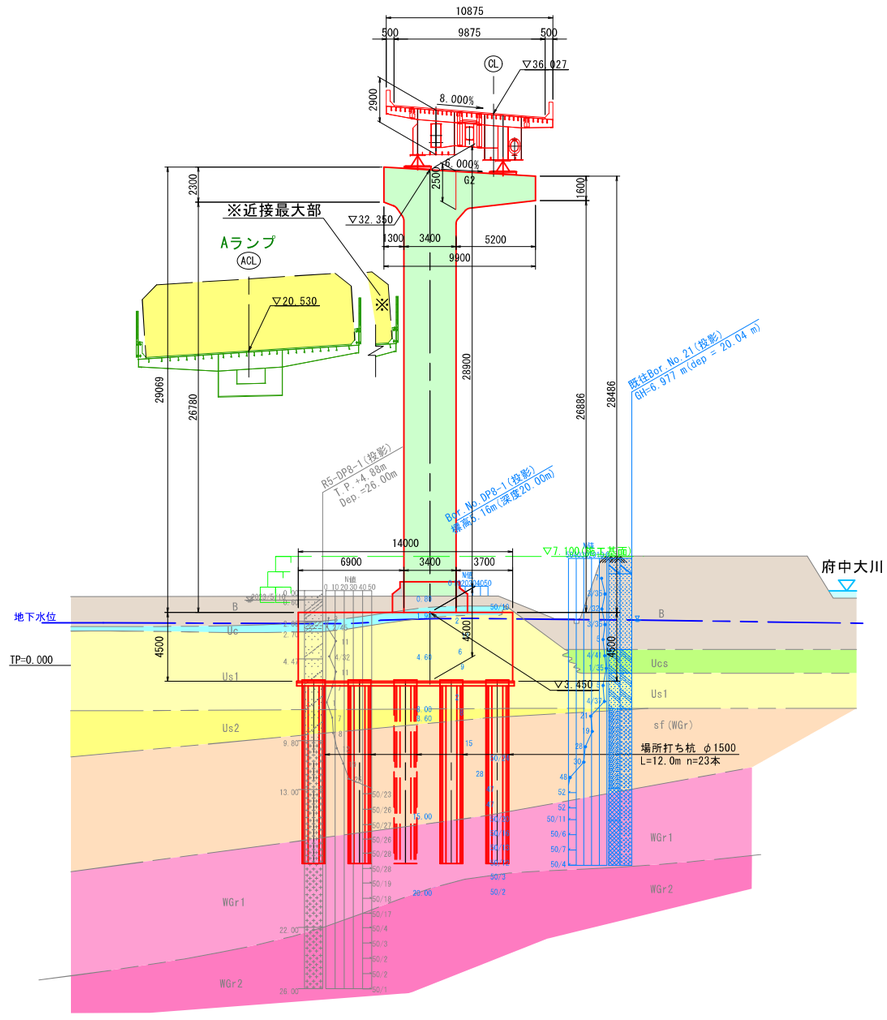
※注）上部工断面（計画高含む）は支承線位置を示す。

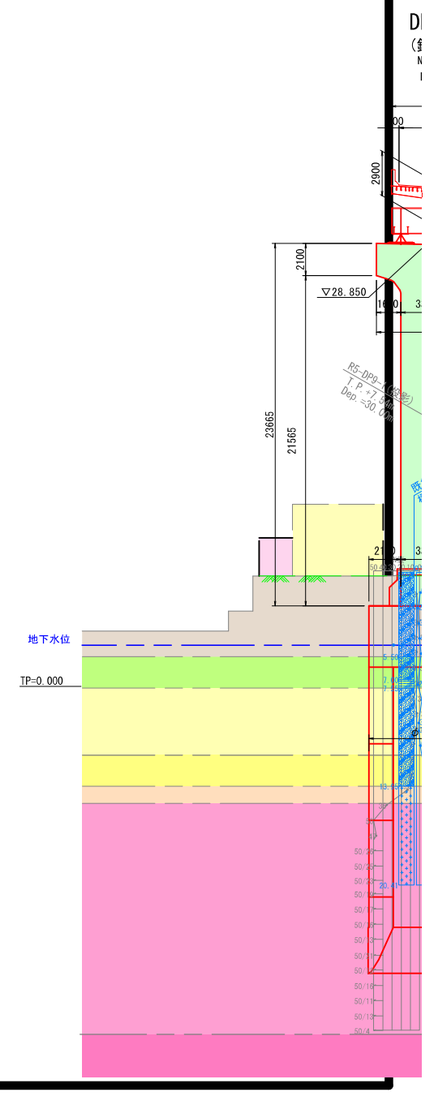


DP7橋脚
（RC橋脚）
NO.3+69.000
FH=36.681



DP8橋脚
（鋼製橋脚）
NO.4+33.300
FH=36.027



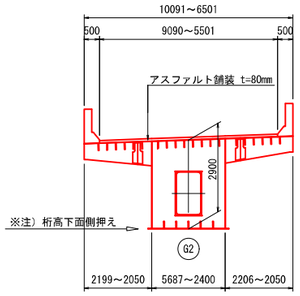


Dランプ第２橋　橋梁全体一般図（その2）

6　87

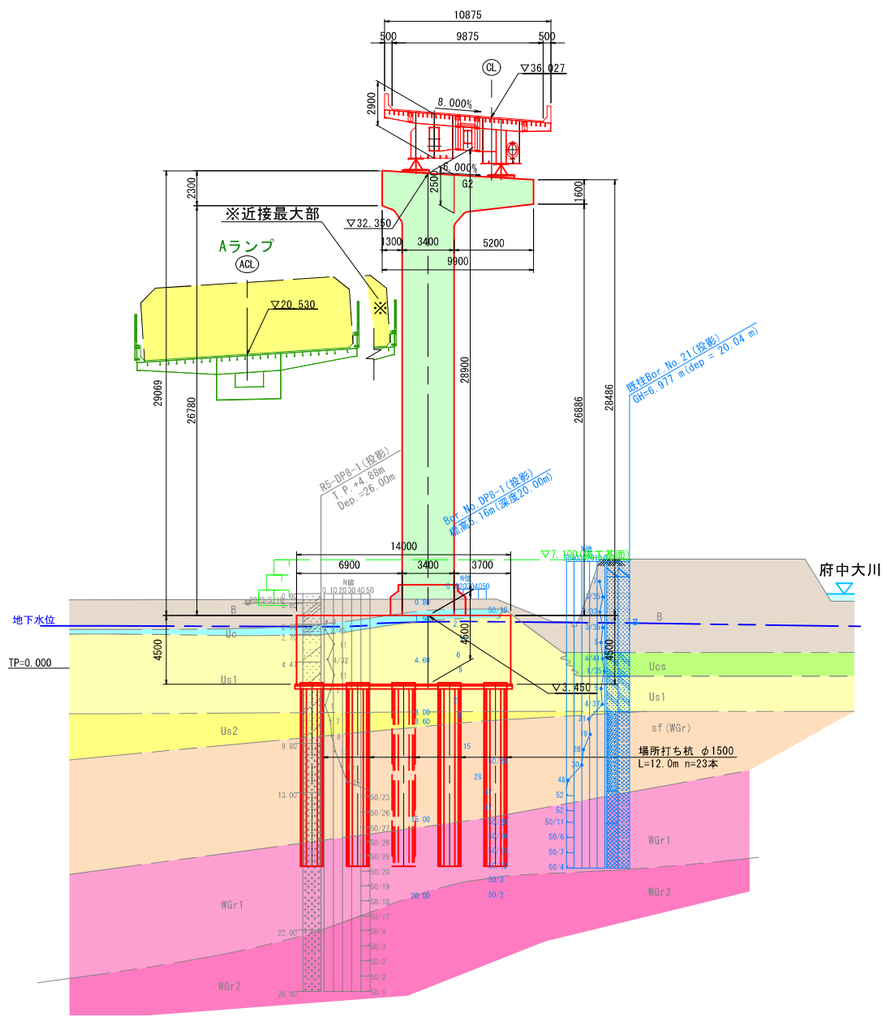
一般図 S=1:100

〈 C15L～S2 区間 〉

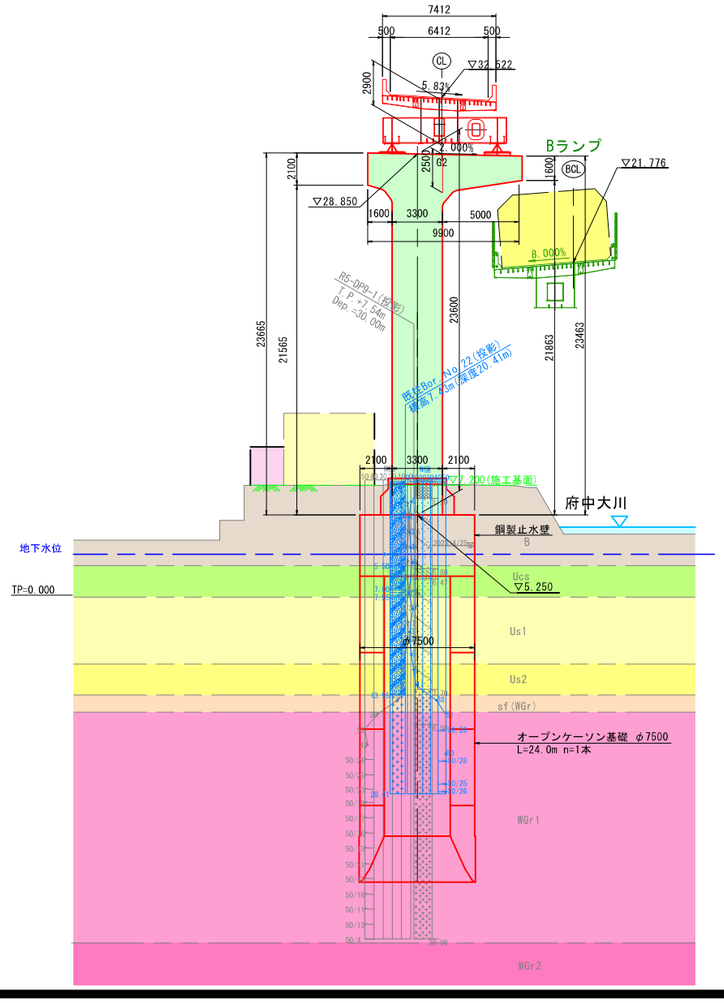


橋脚構造図 S=1:200

DP8橋脚
（鋼製橋脚）
NO.4+33.300
FH=36.027

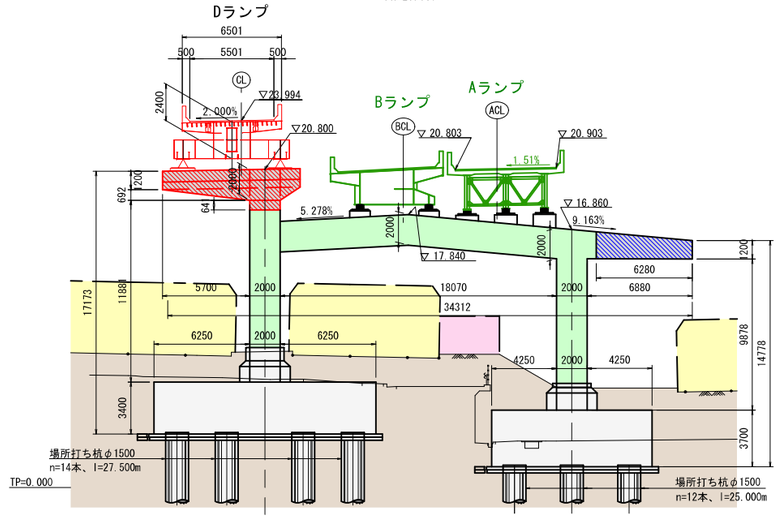


DP9橋脚
（鋼製橋脚）
NO.5+0.000
FH=32.522

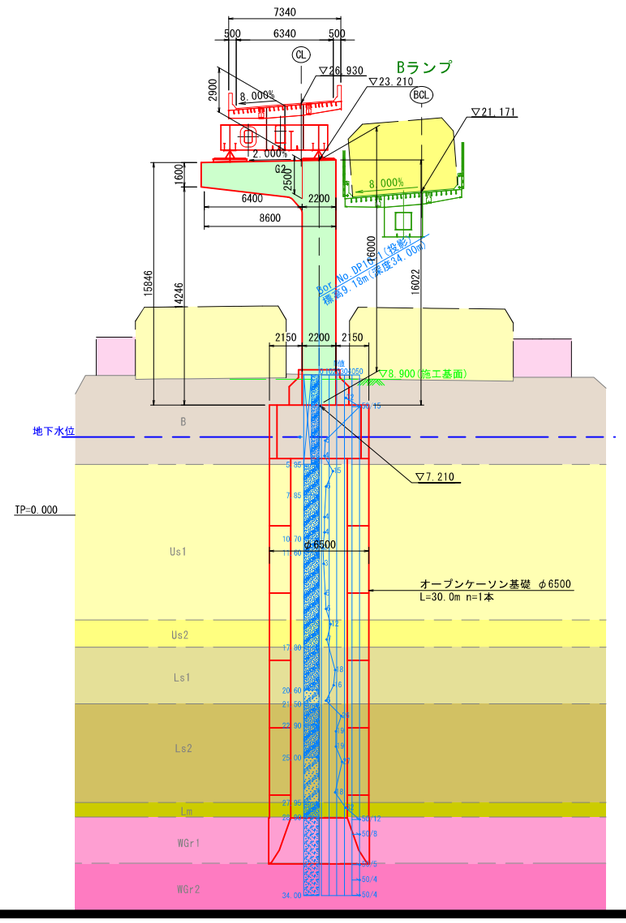


PA18橋脚/増設+既設
（鋼製橋脚）
NO.6+50.858
FH=23.957

※注）上部工断面は支承線位置を示す。
（計画高含む）



DP10橋脚
（鋼製橋脚）
NO.5+98.500
FH=26.930

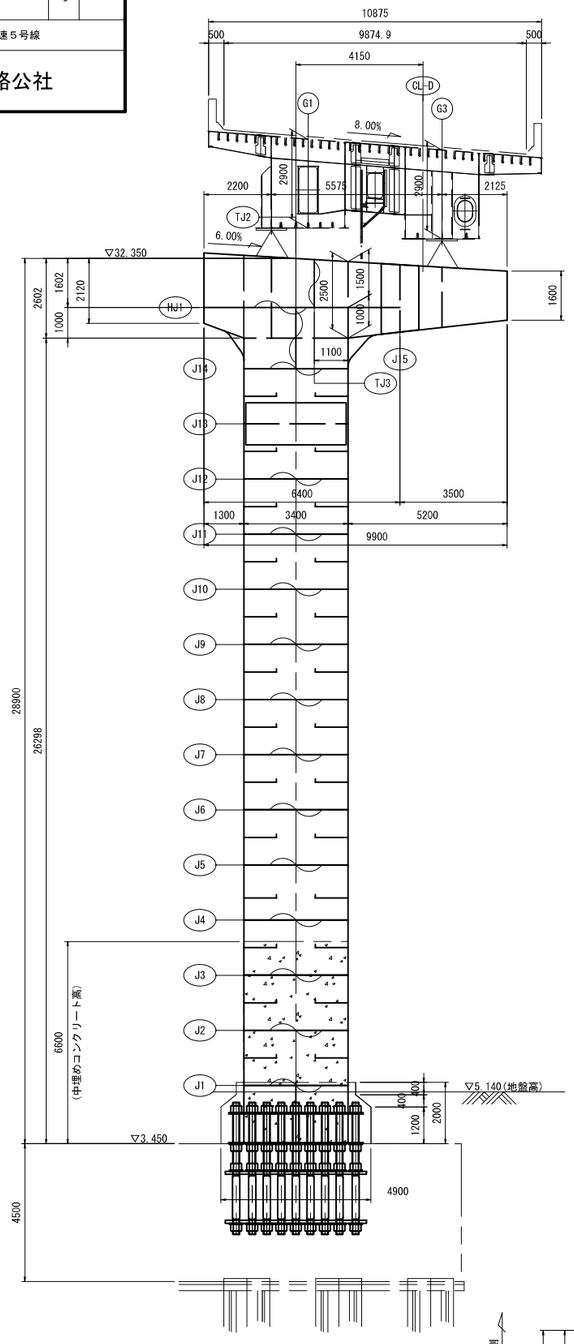


工事名	広島高速５号線温品ＪＣＴ鋼上部工事（２工区）		
図面番号	5 / 87	縮尺	図示
図面名	DP8鋼製橋脚 構造一般図	番号	
路線名	広島高速５号線		

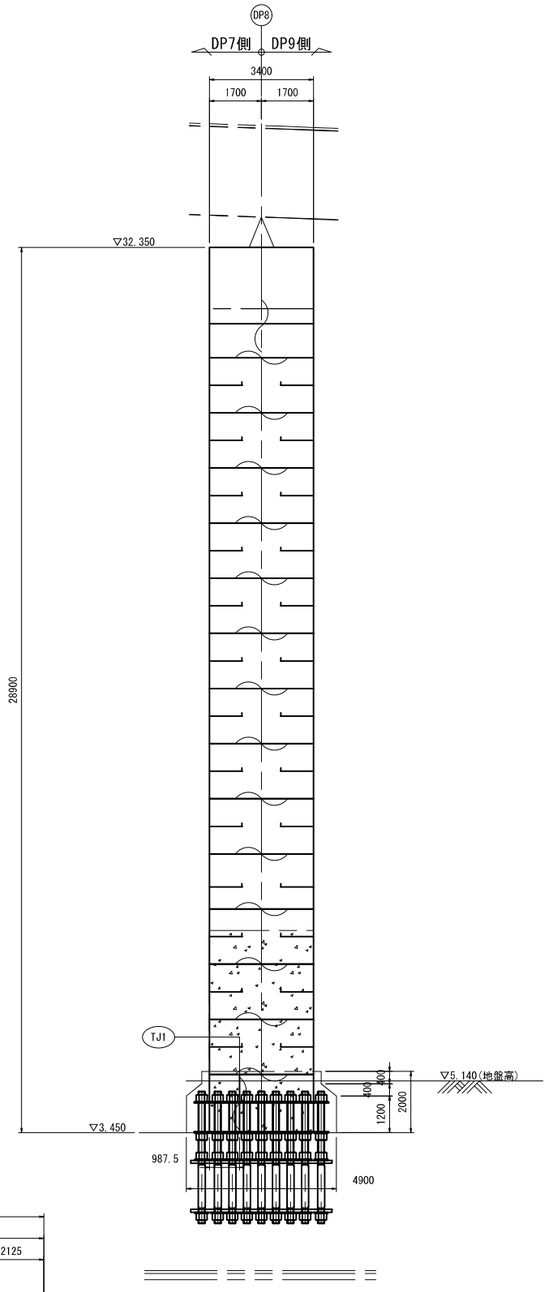
広島高速道路公社

DP8鋼製橋脚 構造一般図 S=1:100

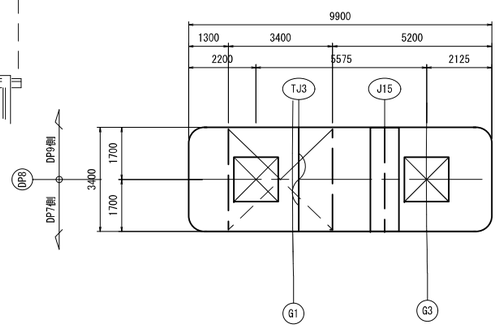
正面図



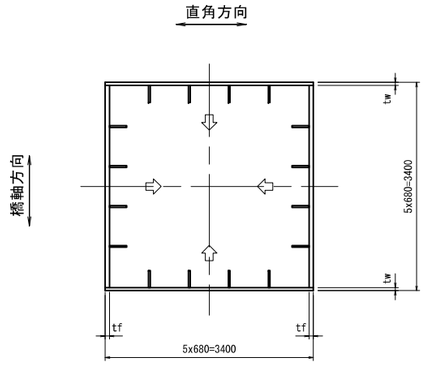
側面図



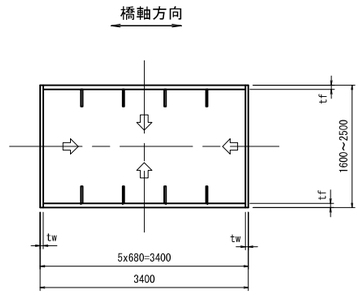
平面図



柱断面 S=1:50



梁断面 S=1:50



設計条件

項目	条件
形式	鋼製Ｔ型橋脚（角柱）
柱高	柱 28.900 m
上部工形式	5径間連続鋼床版箱桁橋
設計震度	Ⅱ種&Ⅲ種地盤混在 B2地域(広島県)
	Kh = 0.26 （レベル1-Ⅲ種地盤）
	Kh = 1.30 （レベル2-タイプⅠ-Ⅱ種地盤）
	Kh = 1.49 （レベル2-タイプⅡ-Ⅱ種地盤）
衝突荷重	考慮しない
温度変化	±30℃
使用鋼材	SBHS500 , SM490Y , SM400 , SS400 , S10T
支承条件	固定支承
継手形式	柱 … 溶接継手 （ただし隅角直下の腹板継手はボルト継手）
	梁 … ボルト継手
適用基準	道路橋示方書・同解説 Ⅰ～Ⅴ （平成29年 11月 日本道路協会）

構造高表

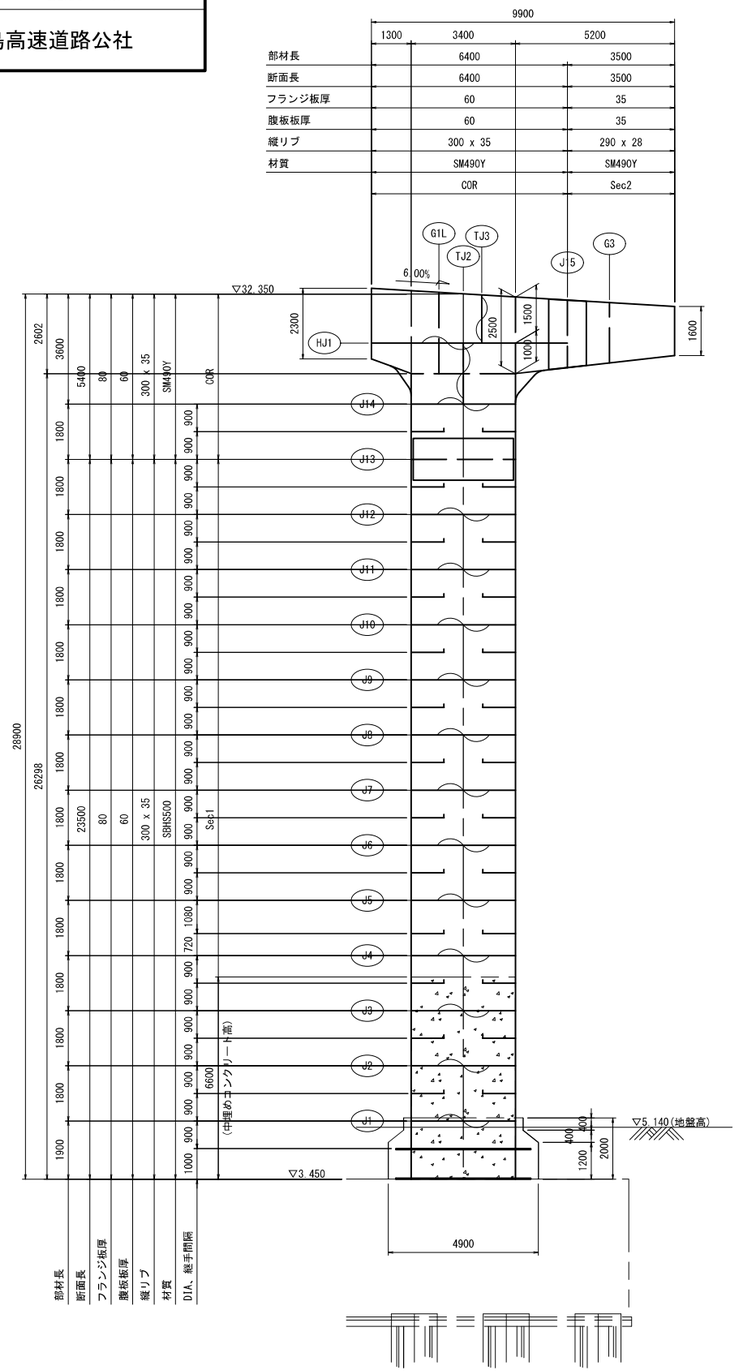
		DP8	
		G1	G3
路面計画高	Z1	36.423	35.977
舗装厚	t1	0.080	0.080
鋼床版厚	t2	0.012	0.012
腹板高	h1	2.996	2.900
主桁下面高	Z2	33.335	32.985
SOLE.PL厚	t3	0.041	0.042
支承高	h2	0.692	0.692
支承下面高	Z3	32.602	32.251
調整モルタル厚	t4	0.032	0.032
台座高	h3	0.172	0.156
下部工天端高	Z4	32.398	32.063

工 事 名	広島高速５号線温品ＪＣＴ鋼上部工事（２工区）		
図面番号	6 / 87	縮 尺	図 示
図 面 名	DP8鋼製橋脚 断面構成図	番号	
路線名	広島高速５号線		

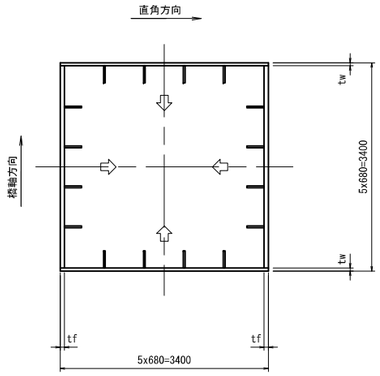
広島高速道路公社

DP8鋼製橋脚 断面構成図

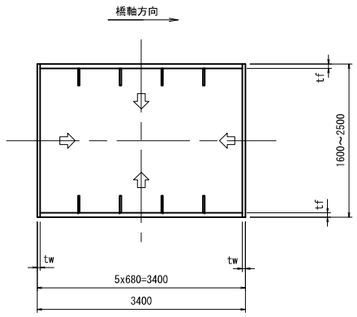
正 面 図 S=1:100



柱断面 S=1:50



梁断面 S=1:50



一般部

			柱				梁	
			Sec1			COR	Sec2	
断面計算位置			基部			J13	J15	SR
照査状況			静的解析	L1動解	L2動解	静的解析	静的解析	静的解析
格点番号			1101	−	−	1131	1206	1207
使用断面(mm)	フランジ	フランジ	3280x80			3280x80	3330x35	
		縦リブ	4-300x35			4-300x35	4-290x28	
	腹板	腹板	3400x60			3400x60	(2206～1600)x35	
		縦リブ	4-300x35			4-300x35	−	
	材質		SBHS500			SM490Y	SM490Y	
垂直応力度 (N/mm2)	フランジ	σ	-83	-72	-388	-96	87	40
		σd	305	428	475	231	272	272
	腹板	σ	-83	-74	-388	-96	87	40
		σd	305	428	475	231	272	272
せん断応力度 (N/mm2)	フランジ	τ	8	5	26	29	66	72
	腹板	τ	9	8	43	31	69	76
	τd		207	244	271	157	157	157
合成応力度		F	0.05	0.03	0.68	0.14	0.22	0.24
		Fd	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20
安定照査	横倒座屈	K	0.24	0.18	0.83	0.36	0.23	0.15
		Kd	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
	局部座屈	C	0.23	0.18	0.83	0.36	0.23	0.15
		Ccal	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
決定ケース			D+EQ2Y			D+EQ2Y	D+EQ2Y	
決定要因			安定照査			Sec1板厚	板厚差	

隅角部

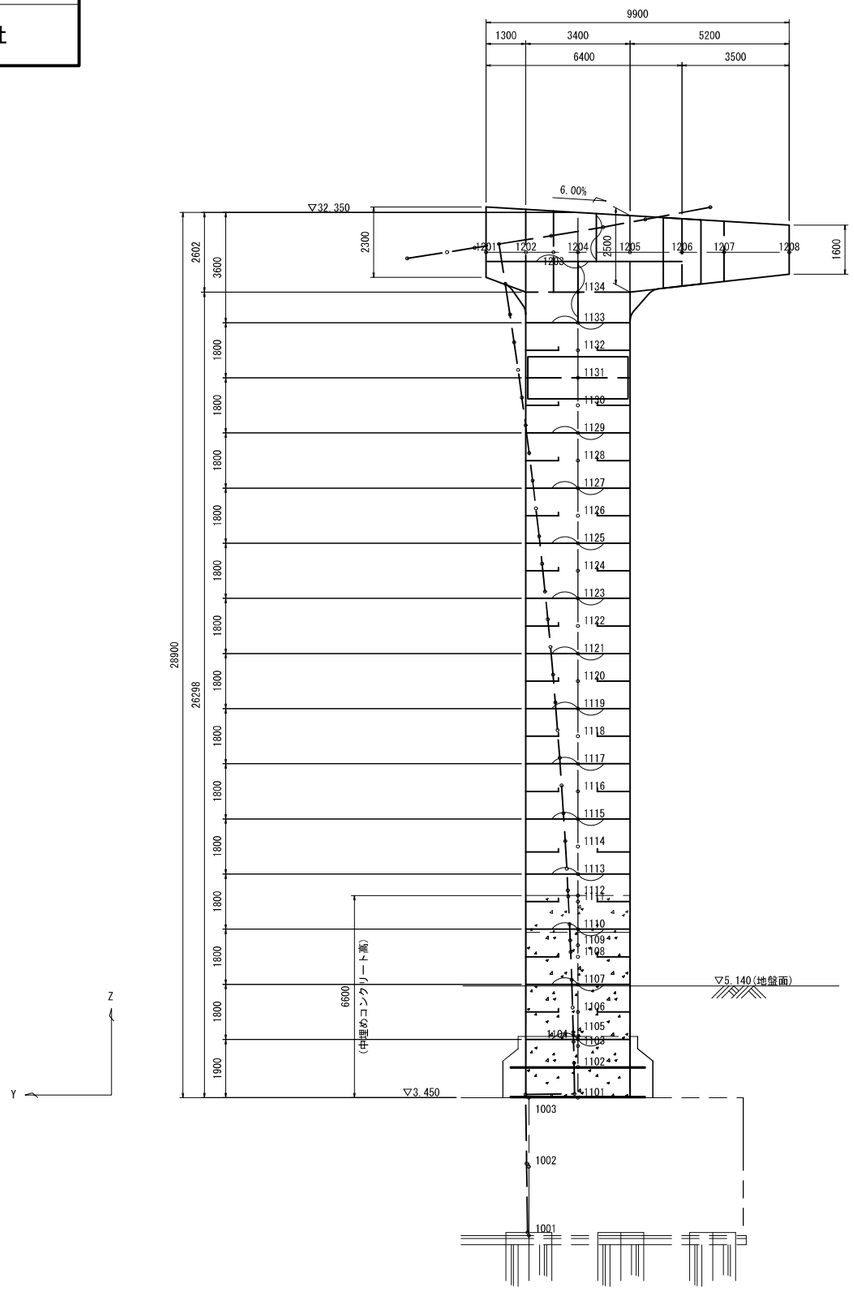
				COR		
				左梁	右梁	下柱
照査点番号				1202	1205	1134
使用断面 (mm)	フランジ厚			60	60	80
	腹板厚			60	60	60
	使用材料			SM490Y		
垂直応力度 (N/mm2)	σ			40	118	89
	σd			272	272	272
せん断応力度 (N/mm2)	フランジ	着目点c	τc	9	32	23
			τd	122	157	122
		着目点e	τe	9	35	23
			τd	122	157	122
	腹板	着目点c	τc	71	55	58
			τd	122	122	122
		着目点e	τe	71	55	58
			τd	122	122	122
合成応力度	フランジ	着目点c	照査値	0.00	0.06	0.08
			許容値	1.00	1.00	1.00
		着目点e	照査値	0.02	0.22	0.12
			許容値	1.00	1.00	1.00
	腹板	着目点c	照査値	0.20	0.12	0.14
			許容値	1.00	1.00	1.00
		着目点e	照査値	0.23	0.31	0.24
			許容値	1.00	1.00	1.00
決定荷重ケース				D+EQ2Y		
決定要因				Sec1板厚		

工事名	広島高速５号線温品ＪＣＴ鋼上部工事（２工区）		
図面番号	7 / 87	縮尺	図示
図面名	DP8鋼製橋脚 キャンバー図	番号	
路線名	広島高速５号線		

広島高速道路公社

DP8鋼製橋脚 キャンバー図 S=1:100

正面図



Y方向 (単位:mm)

格点番号	鋼自重	上部工死荷重反力	変位合計	製作そり
1001	-0.1	-0.2	-0.3	0.3
1002	-0.2	-0.4	-0.5	0.5
1003	-0.2	-0.5	-0.7	0.7
1101	-0.2	-0.5	-0.7	0.7
1102	-0.3	-0.6	-0.9	0.9
1103	-0.3	-0.7	-1.0	1.0
1104	-0.3	-0.7	-1.0	1.0
1105	-0.3	-0.7	-1.0	1.0
1106	-0.3	-0.8	-1.2	1.2
1107	-0.4	-1.0	-1.4	1.4
1108	-0.4	-1.2	-1.6	1.6
1109	-0.4	-1.3	-1.7	1.7
1110	-0.4	-1.4	-1.8	1.8
1111	-0.5	-1.7	-2.1	2.1
1112	-0.5	-1.7	-2.2	2.2
1113	-0.5	-1.9	-2.4	2.4
1114	-0.5	-2.2	-2.8	2.8
1115	-0.6	-2.6	-3.1	3.1
1116	-0.6	-2.9	-3.5	3.5
1117	-0.7	-3.3	-4.0	4.0
1118	-0.7	-3.7	-4.4	4.4
1119	-0.8	-4.2	-4.9	4.9
1120	-0.8	-4.6	-5.4	5.4
1121	-0.9	-5.1	-6.0	6.0
1122	-0.9	-5.6	-6.6	6.6
1123	-1.0	-6.2	-7.2	7.2
1124	-1.0	-6.8	-7.8	7.8
1125	-1.1	-7.4	-8.5	8.5
1126	-1.1	-8.0	-9.1	9.1
1127	-1.2	-8.7	-9.9	9.9
1128	-1.3	-9.4	-10.6	10.6
1129	-1.3	-10.1	-11.4	11.4
1130	-1.4	-10.8	-12.2	12.2
1131	-1.5	-11.6	-13.0	13.0
1132	-1.5	-12.4	-13.9	13.9
1133	-1.6	-13.2	-14.8	14.8
1134	-1.7	-14.1	-15.8	15.8
1201	-1.8	-15.4	-17.2	17.2
1202	-1.8	-15.4	-17.2	17.2
1203	-1.8	-15.4	-17.2	17.2
1204	-1.8	-15.4	-17.2	17.2
1205	-1.8	-15.4	-17.2	17.2
1206	-1.8	-15.4	-17.2	17.2
1207	-1.8	-15.4	-17.2	17.2
1208	-1.8	-15.4	-17.2	17.2

※ たわみは荷重係数を乗じていない特性値

Z方向 (単位:mm)

格点番号	鋼自重	上部工死荷重反力	変位合計	製作そり
1001	-0.3	-0.3	-0.7	0.7
1002	-0.3	-0.3	-0.7	0.7
1003	-0.3	-0.3	-0.7	0.7
1101	-0.4	-0.5	-0.8	0.8
1102	-0.4	-0.5	-0.9	0.9
1103	-0.4	-0.5	-0.9	0.9
1104	-0.4	-0.5	-0.9	0.9
1105	-0.4	-0.5	-0.9	0.9
1106	-0.4	-0.5	-1.0	1.0
1107	-0.5	-0.6	-1.0	1.0
1108	-0.5	-0.6	-1.1	1.1
1109	-0.5	-0.6	-1.1	1.1
1110	-0.5	-0.6	-1.1	1.1
1111	-0.5	-0.6	-1.1	1.1
1112	-0.5	-0.6	-1.1	1.1
1113	-0.5	-0.7	-1.2	1.2
1114	-0.5	-0.7	-1.2	1.2
1115	-0.5	-0.7	-1.2	1.2
1116	-0.5	-0.7	-1.3	1.3
1117	-0.6	-0.7	-1.3	1.3
1118	-0.6	-0.8	-1.3	1.3
1119	-0.6	-0.8	-1.4	1.4
1120	-0.6	-0.8	-1.4	1.4
1121	-0.6	-0.8	-1.4	1.4
1122	-0.6	-0.9	-1.5	1.5
1123	-0.6	-0.9	-1.5	1.5
1124	-0.6	-0.9	-1.5	1.5
1125	-0.6	-0.9	-1.6	1.6
1126	-0.6	-1.0	-1.6	1.6
1127	-0.6	-1.0	-1.6	1.6
1128	-0.6	-1.0	-1.6	1.6
1129	-0.6	-1.0	-1.7	1.7
1130	-0.6	-1.1	-1.7	1.7
1131	-0.6	-1.1	-1.7	1.7
1132	-0.6	-1.1	-1.8	1.8
1133	-0.7	-1.1	-1.8	1.8
1134	-0.7	-1.2	-1.8	1.8
1201	-0.4	1.8	1.3	-1.3
1202	-0.5	0.5	0.0	0.0
1203	-0.6	-0.4	-1.0	1.0
1204	-0.7	-1.2	-1.8	1.8
1205	-0.8	-2.8	-3.6	3.6
1206	-0.9	-4.5	-5.5	5.5
1207	-1.1	-6.1	-7.2	7.2
1208	-1.3	-8.5	-9.8	9.8

工事名	広島高速５号線温品ＪＣＴ鋼上部工事（２工区）		
図面番号	8 / 87	縮尺	図示
図面名	DP8鋼製橋脚 共通詳細図(その1)	番号	
路線名	広島高速５号線		

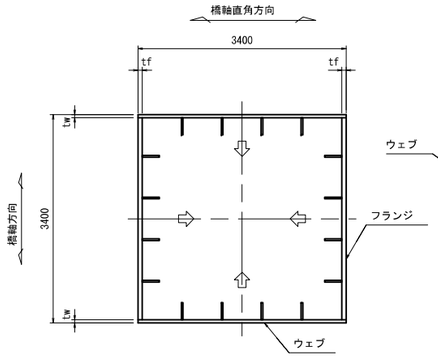
広島高速道路公社

DP8鋼製橋脚 共通詳細図(その1)　S=1:10

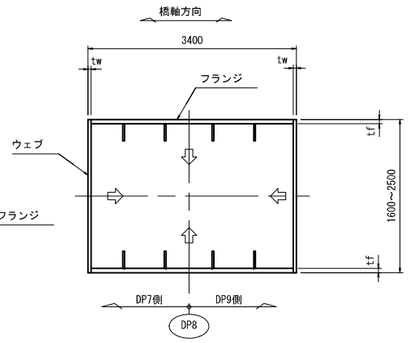
注記
1. 特記なき材質は、全てSM400Aとする。
2. ※印部材は、溶融亜鉛めっきとする。
亜鉛の付着量は、JIS H8641 HDZT77とする。
但し、板厚3.2mm以上6mm未満の鋼材は、HDZT63とし、
ボルト・ナットおよび板厚3.2mm未満の
鋼材は、HDZT49とする。

基本寸法図　S=1:50

柱断面図

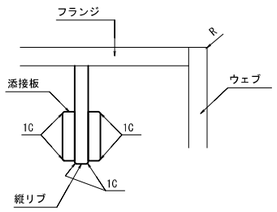


梁断面図



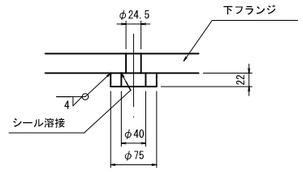
⇦ 印は、板厚変化方向を示す。

角部の面取り詳細



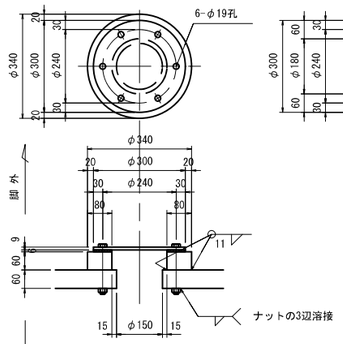
注）1. 柱の根巻きコンクリート部のR仕上げは不要。
2. R仕上げは2mm程度とする。

水抜き詳細　S=1:5



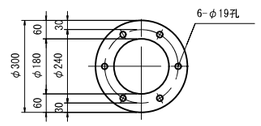
1-PL φ75x22

ハンドホール詳細

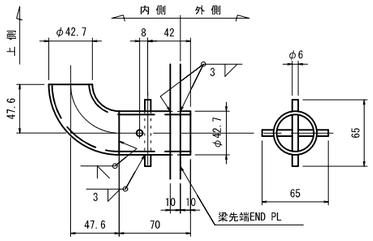


1-COV PL φ300 x 9(SS400)
1-DOUB PL φ340 x 60(SM520C-H)
6-BN M16 x 160(SS400)(亜鉛メッキ)
1-Gum φ300 x 6(クロロプレンゴム)

ゴムパッキン詳細

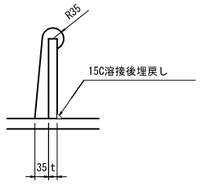


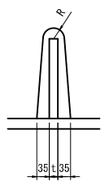
梁先端換気孔詳細　S=1:3
（製作数 2組）



※ 1 - PIPE 32A x 70 (SGP)
※ 1 - PIPE 32A (90° ロングエルボ)
※ 2 - RB φ6 x 65 (SS400)

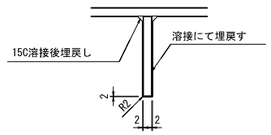
縦リブスカーラップ詳細





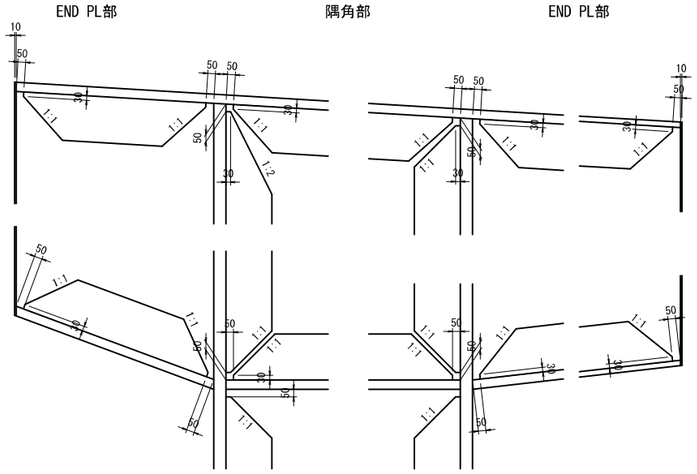
t	R
t≦22	20
23≦t<32	25
33≦t	30

スリット詳細

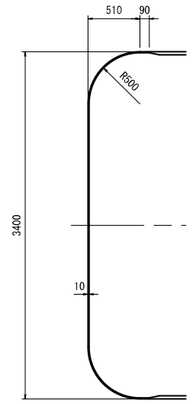


縦リブ端部詳細　S=1:20

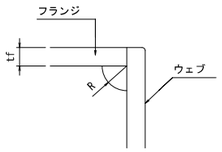
END PL部　隅角部　END PL部



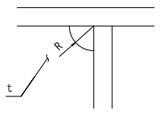
梁先端部詳細　S=1:30



柱及び横梁かど溶接部
スカーラップ詳細



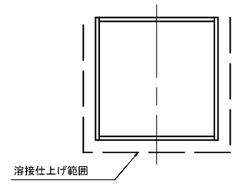
スカーラップ内の溶接ビード同士が
重ならないようにすること。



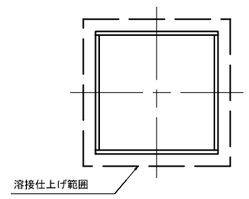
t	R
t≦16	35
16<t<40	40
t≧40	50

溶接仕上げ範囲詳細

梁部

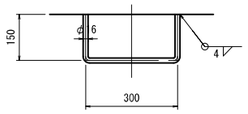


柱部



ステップ詳細図

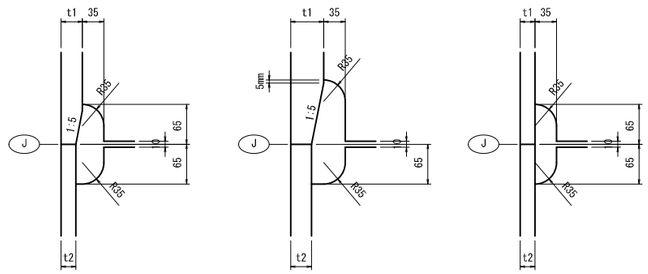
※ 現場継手と干渉する箇所は現場溶接とする。



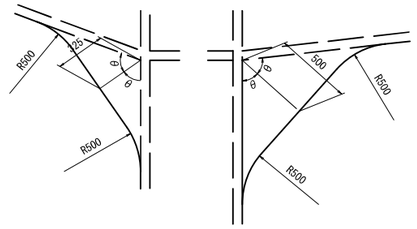
1-RB φ16x600(SS400)

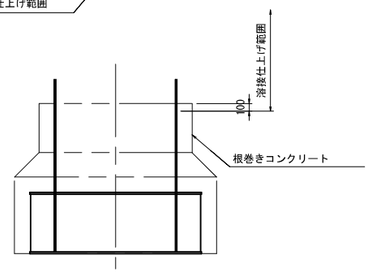
現場溶接部
縦リブスカーラップ詳細　S=1:5

（t1-t2）≦ 11　（t1-t2）> 11　t1 = t2
板厚差がない場合



フイレット詳細　S=1:20



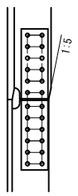


板継ぎ溶接部詳細

注）テーパーは1:5を標準とする。

縦リブテーパー詳細

ボルト継手



注）縦リブが同幅の場合、母材の板厚差分の
テーパーを縦リブにとること。

工事名	広島高速５号線温品ＪＣＴ鋼上部工事（２工区）		
図面番号	9 / 87	縮尺	図示
図面名	DP8鋼製橋脚 共通詳細図(その2)	番号	
路線名	広島高速５号線		

広島高速道路公社

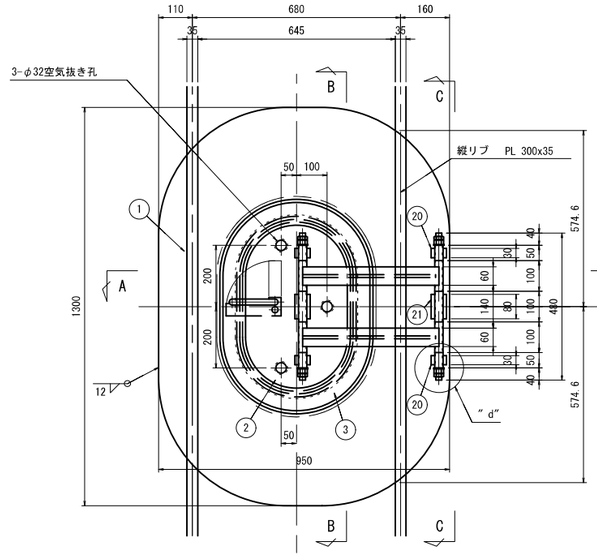
DP8鋼製橋脚 共通詳細図(その2)　S=1:10

注記
1. 特記なき材質は、全てSM400Aとする。
2. ゴムパッキンは、母材側に接着剤にて取付ける。
3. ※印部材は、溶融亜鉛めっきとする。
亜鉛の付着量は、JIS H8641 HDZT77とする。
但し、板厚3.2mm以上6mm未満の鋼材は、HDZT63とし、
ボルト・ナットおよび板厚3.2mm未満の
鋼材は、HDZT49とする。

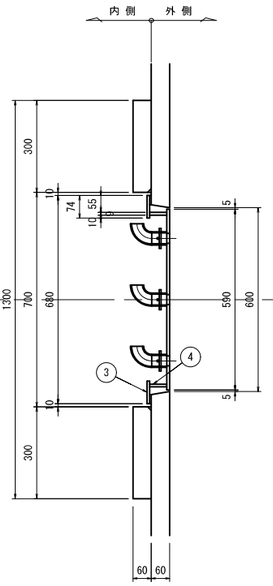
柱部用
M-1

① 1-PL 950 x 60 x 1300 (SBHS500)(本体にて計上)
② 1-PL 390 x 9 x 590
③ 1-PL 420 x 9 x 680
④ 2-PL 56 x 9 x 767
⑤ 2-PL 438 x 9 x 419
⑥ 2-PL 60 x 9 x 1079
⑦ 4-PIPE 20A x 50 (SUS304TP 20S)
⑧ 6-PIPE 20A x 100 (SUS304TP 20S)
⑨ 2-RB φ19 x 480 (SUS304)
⑩ 4-NUT M18 (1種) (SUS304)
4-NUT M18 (3種) (SUS304)
4-座金 M18用 (SUS304)
※ ⑪ 1-PIPE 50A x 50 (SGP)
⑫ 1-PL φ80 x 6 (SUS304)
⑬ 2-PL φ30 x 6 (SUS304)
⑭ 1-PL 60 x 15 x 180 (SUS304)
⑮ 1-PL 30 x 15 x 50 (SUS304) (一面テーパー加工削り代3mm)
⑯ 1-PL 20 x 9 x 30
⑰ 1-RB φ19 x 235 (SUS304)
⑱ 1-RB φ19 x 315 (SUS304)
⑲ 1-ゴムパッキン 480x5x680 (クロロプレンゴム(硬度50°))
⑳ 4-PL 50 x 6 x 30
㉑ 2-PL 50 x 6 x 80
※ ㉒ 3-PIPE 32A x 50 (SGP)
※ 3-90° ロングエルボ 32A(SGP)
※ 6-RB φ6 x 65 (SS400)
㉓ 2-ゴムパッキン 50x5x50 (クロロプレンゴム(硬度50°))

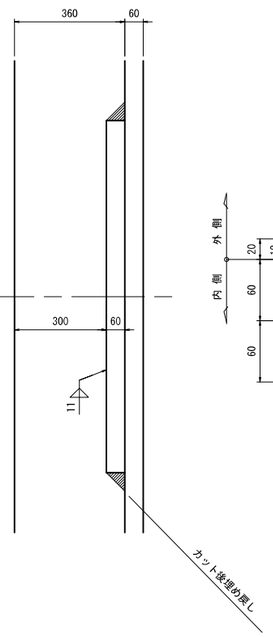
内側正面図



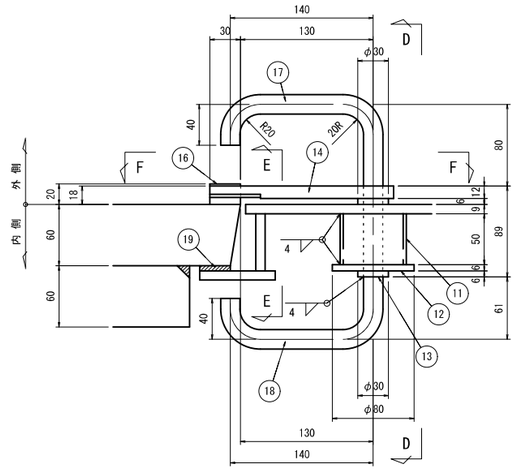
B－B



C－C

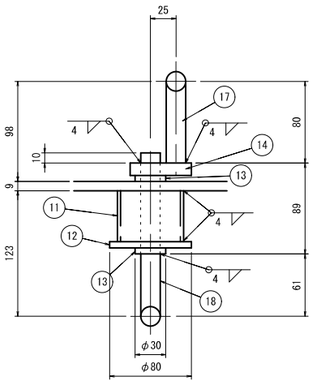


"a" 部詳細図 S=1:3

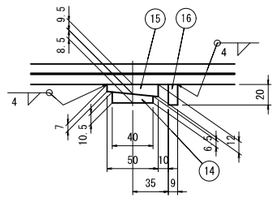


"a" 部詳細の母材については、角落としを10mm設けること。

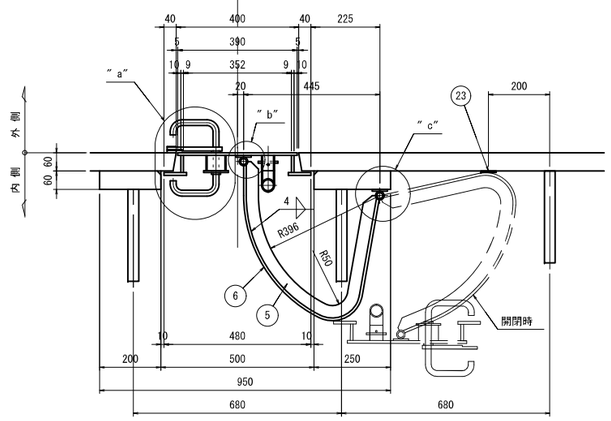
D－D S=1:3



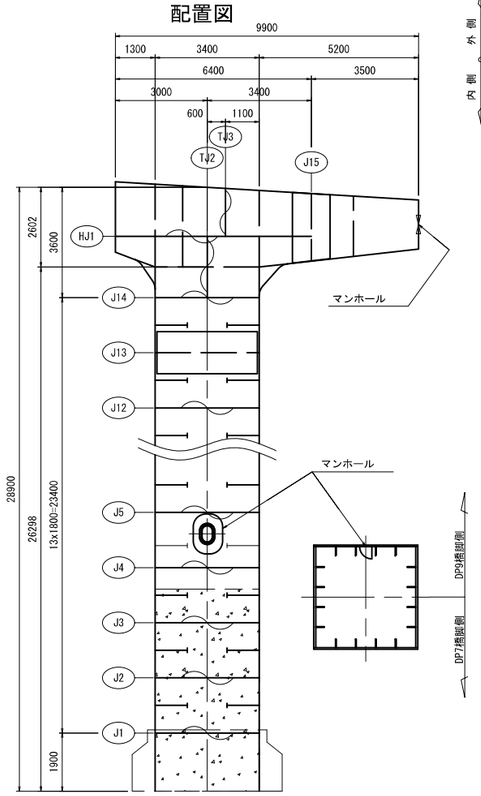
E－E S=1:3



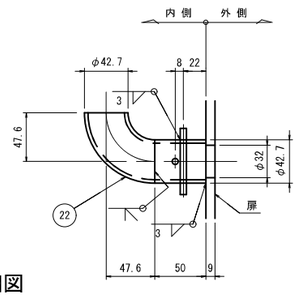
A－A

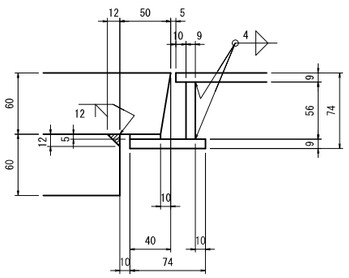


配置図

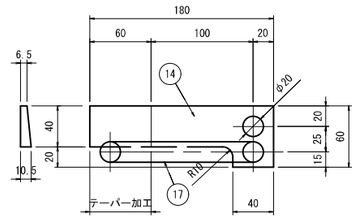


空気抜き孔詳細図 S=1:3

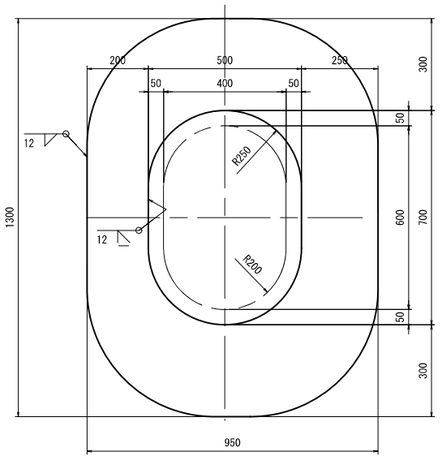




F－F S=1:3

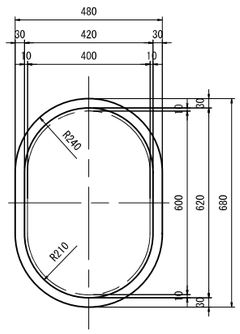


マンホール補強板詳細図

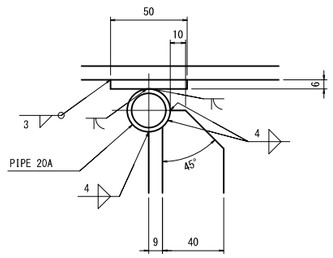


ゴムパッキン詳細図

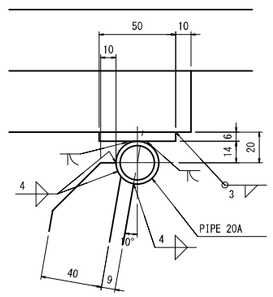
（フタ側に貼付）



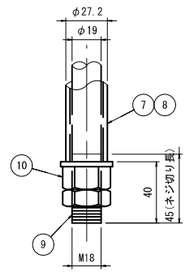
"b" 部詳細図 S=1:2



"c" 部詳細図 S=1:2



"d" 部詳細図 S=1:2



工事名	広島高速5号線温品ＪＣＴ鋼上部工事（2工区）		
図面番号	10 / 87	縮尺	図示
図面名	DP8鋼製橋脚 柱 詳細図(その2)	番号	
路線名	広島高速５号線		

広島高速道路公社

DP8鋼製橋脚 柱 詳細図(その2)

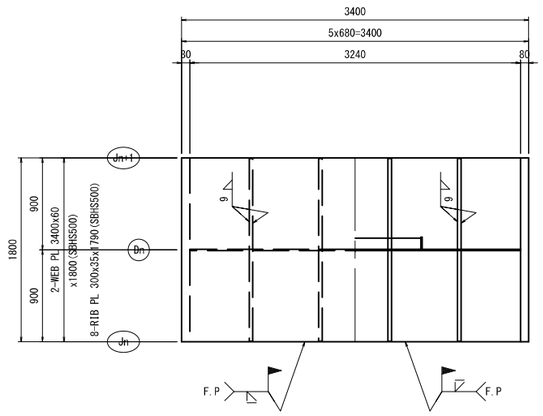
S=1:30

J1～J3, J6～J12

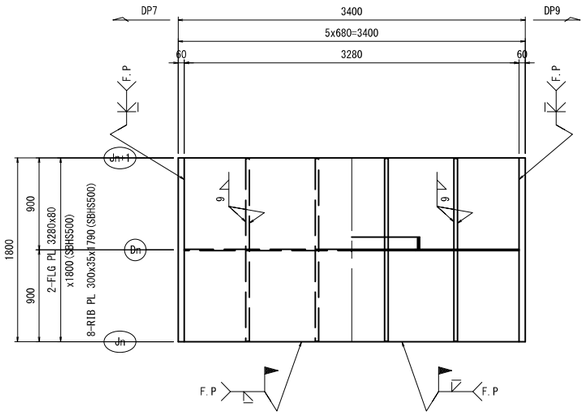
注 記

1. 特記なき材質は、全て SM400A とする。
2. 特記なきスカーラップは、全て R=35 とする。
3. ⊕ 印は、高力ボルト TCB M22 (S10T),
   TCB M24 (S10T)を示す。
   ✳印は、高力ボルト HTB M24 (F10T)を示す。
4. ※印部は、C15溶接後埋戻しとする。

橋軸直角方向（ウェブ面）



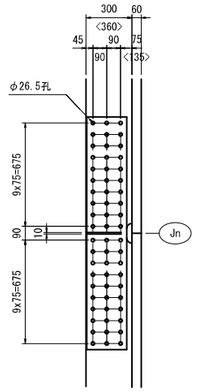
橋軸方向（フランジ面）



縦リブ添接詳細 S=1:20

J1～J3, J5～J12

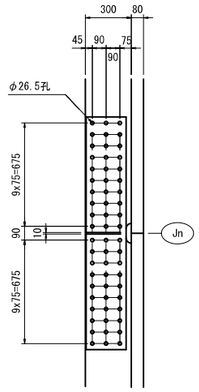
WEB = 8箇所/JOINT
< >内寸法はJ5のWH横の縦リブを示す。



2 - SPL PL 260x22x1520 (SBHS500)

60 - TCB M22 x 115(S10T)

FLG側 = 8箇所/JOINT

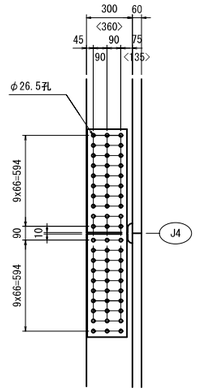


2 - SPL PL 260x22x1520 (SBHS500)

60 - TCB M22 x 115(S10T)

J4

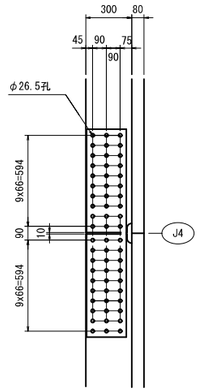
WEB = 8箇所
< >内寸法はWH横の縦リブを示す。



2 - SPL PL 260x22x1358 (SBHS500)

60 - TCB M22 x 115(S10T)

FLG側 = 8箇所

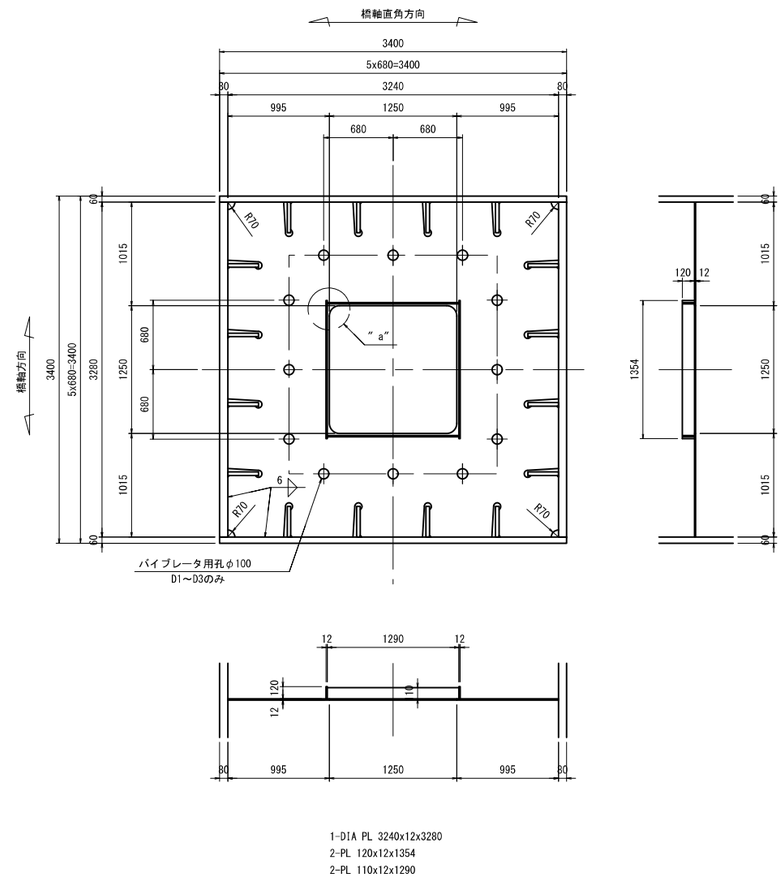


2 - SPL PL 260x22x1358 (SBHS500)

60 - TCB M22 x 115(S10T)

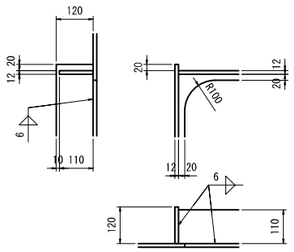
標準ダイアフラム

D1～D3, D5～D13

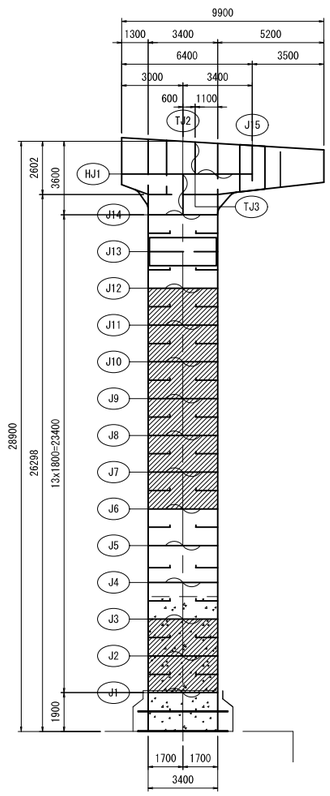


BLOCK	Jn	Jn+1	Dn
2	J1	J2	D1
3	J2	J3	D2
7	J6	J7	D6
8	J7	J8	D7
9	J8	J9	D8
10	J9	J10	D9
11	J10	J11	D10
12	J11	J12	D11

"a" 部詳細 S=1:10



配置図



工事名	広島高速5号線温品ＪＣＴ鋼上部工事（2工区）		
図面番号	11 / 87	縮尺	図示
図面名	DP8鋼製橋脚 柱 詳細図(その3)	番号	
路線名	広島高速５号線		

広島高速道路公社

DP8鋼製橋脚 柱 詳細図(その3)

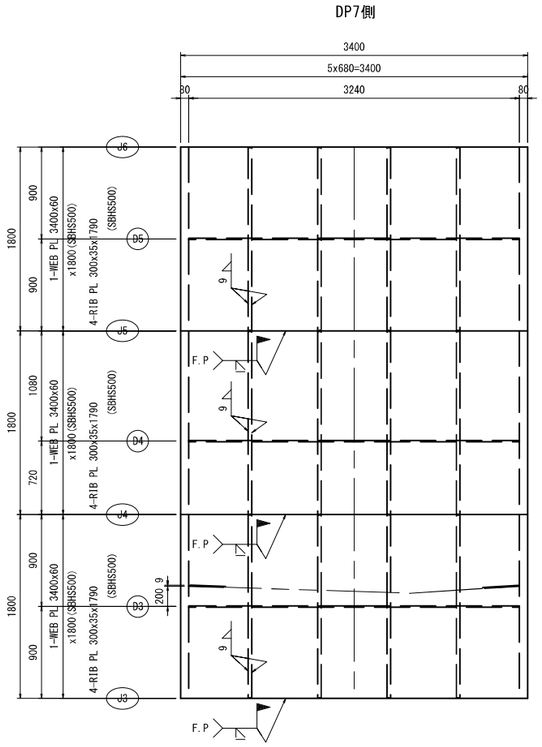
S=1:30

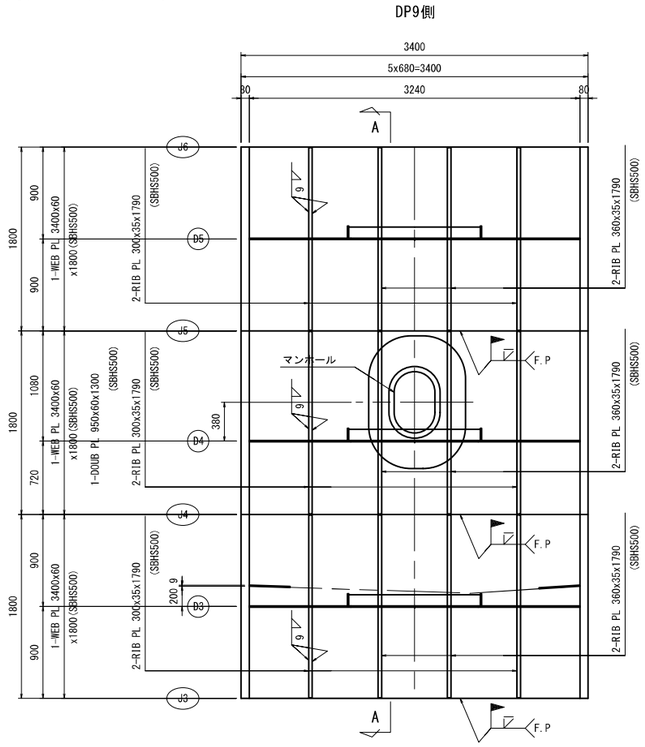
J3～J6

注 記

1. 特記なき材質は、全て SM400A とする。
2. 特記なきスカーラップは、全て R=35 とする。
3. ⊕ 印は、高カボルト TCB M22 (S10T)、
   TCB M24 (S10T)を示す。
   ✳印は、高カボルト HTB M24 (F10T)を示す。
4. ※印部は、C15溶接後埋戻しとする。

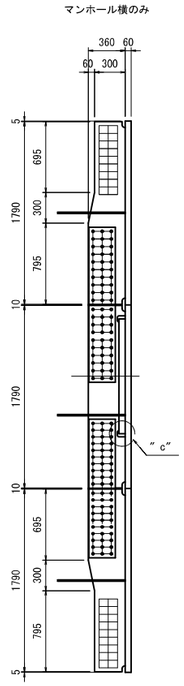
橋軸直角方向（ウェブ面）



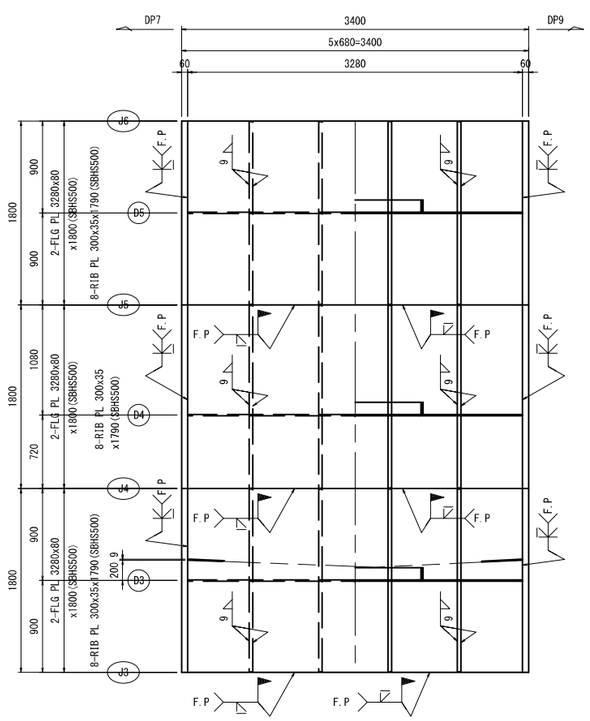


A － A

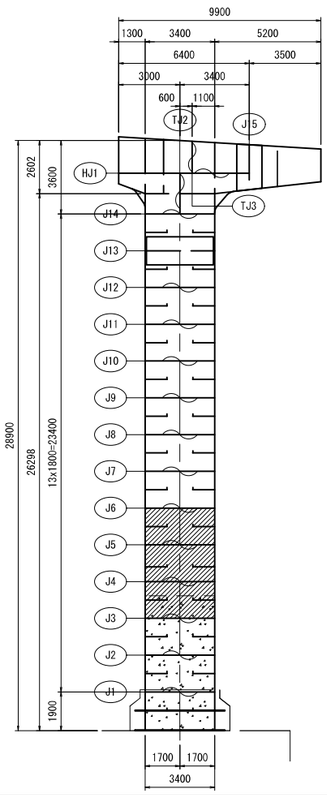
マンホール横のみ



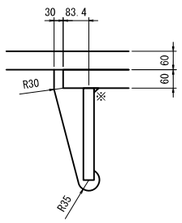
橋軸方向（フランジ面）



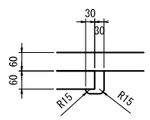
配置図



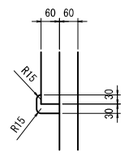
〝a〟部詳細 S=1:10



〝b〟部詳細 S=1:10

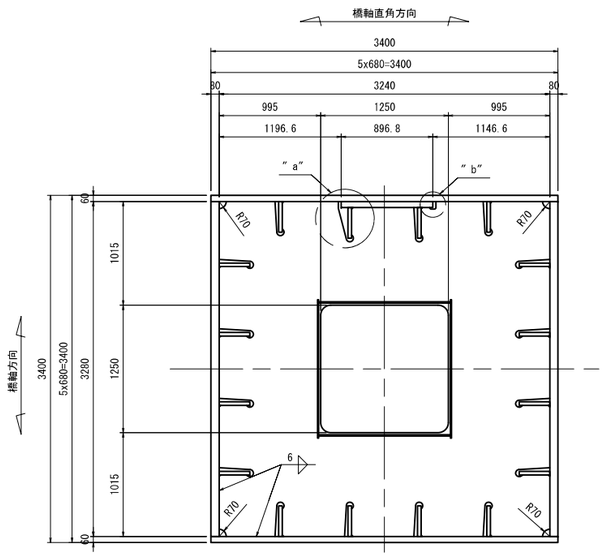


〝c〟部詳細 S=1:10



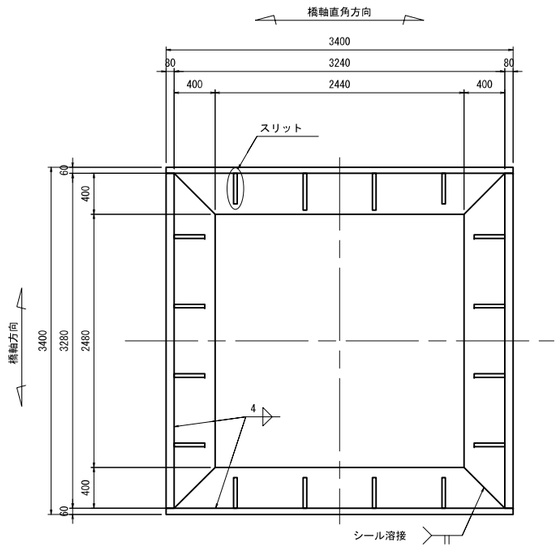
D4

注）特記の他標準ダイアフラムに倣う



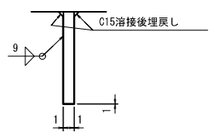
1-DIA PL 3240x12x3280
2-PL 120x12x1354
2-PL 110x12x1290

止水板詳細



2 － PL 400 x 9 x 3240
2 － PL 400 x 9 x 3280

スリット詳細 S=1:10



工事名	広島高速5号線温品ＪＣＴ鋼上部工事（2工区）		
図面番号	12 / 87	縮尺	図示
図面名	DP8鋼製橋脚 柱 詳細図(その4)	番号	
路線名	広島高速５号線		

広島高速道路公社

DP8鋼製橋脚 柱 詳細図(その4)

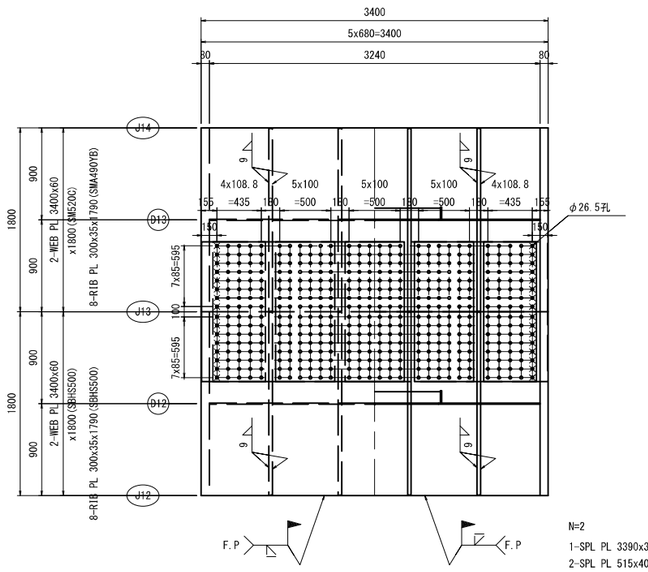
S=1:30

J12～J14

注 記

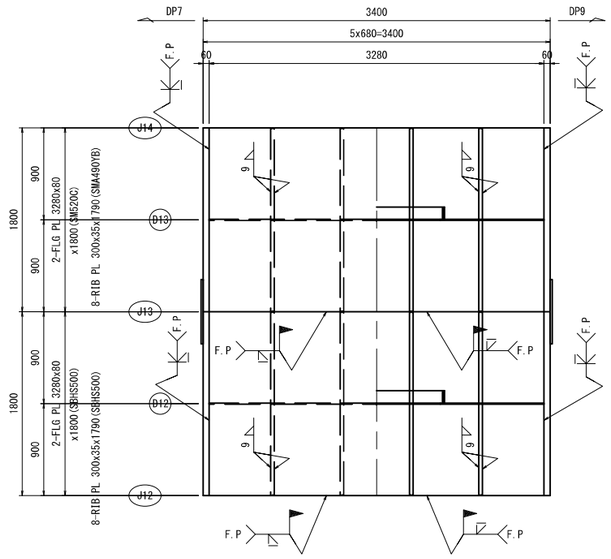
1. 特記なき材質は、全て SM400A とする。
2. 特記なきスカーラップは、全て R=35 とする。
3. ⊕ 印は、高カボルト TCB M22 (S10T),
   TCB M24 (S10T)を示す。
   ✳印は、高カボルト HTB M24 (F10T)を示す。
4. ※印部は、C15溶接後埋戻しとする。

橋軸直角方向（ウェブ面）



N=2
1-SPL PL 3390x31x1370(SM490YB)
2-SPL PL 515x40x1370(SM490YB)
3-SPL PL 580x40x1370(SM490YB)
448-TCB M24x175(S10T)

橋軸方向（フランジ面）

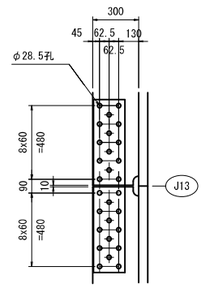


縦リブ添接詳細

S=1:20

J13

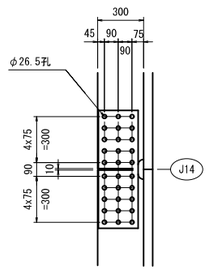
WEB = 8箇所



2 - SPL PL 205 x 29 x 1130(SM490YB)
28 - TCB M24 x 135(S10T)

J14

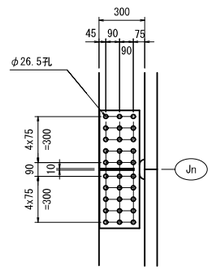
WEB = 8箇所



2 - SPL PL 260 x 22 x 770(SM490YB)
30 - TCB M22 x 115(S10T)

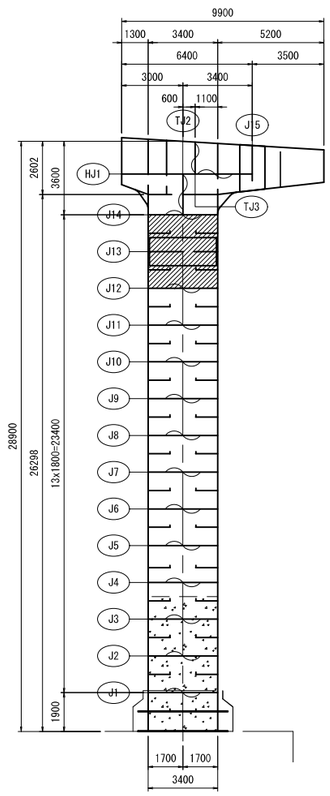
J13, J14

FLG = 8箇所/JOINT



2 - SPL PL 260 x 22 x 770(SM490YB)
30 - TCB M22 x 115(S10T)

配置図



工事名	広島高速５号線温品ＪＣＴ鋼上部工事（２工区）		
図面番号	13 / 87	縮尺	図示
図面名	DP8鋼製橋脚 横梁・隅角部 詳細図(その1)	番号	
路線名	広島高速５号線		

広島高速道路公社

DP8鋼製橋脚 横梁・隅角部 詳細図(その1)

S=1:30

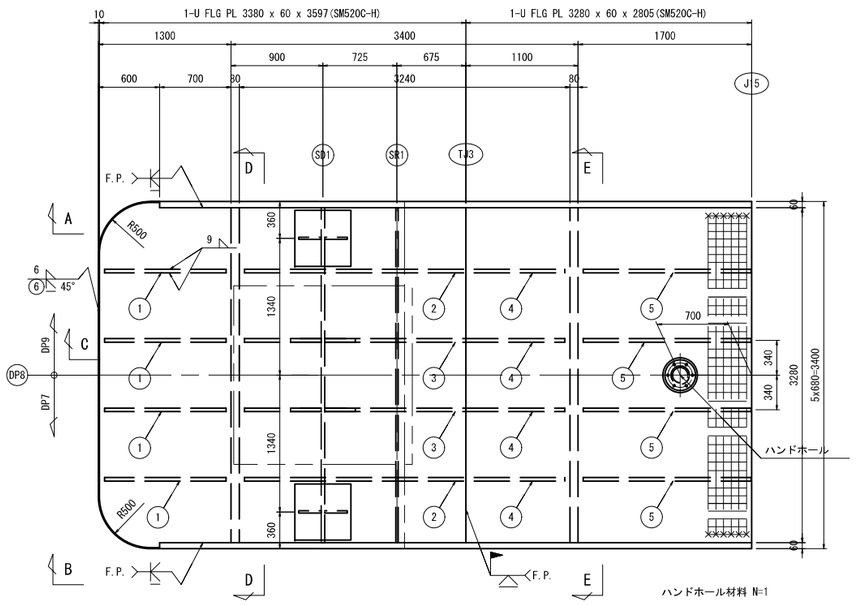
注 記

1. 特記なき材質は、全て SM400A とする。
2. 特記なきスカーラップは、全て R=35 とする。
3. ⊕ 印は、高力ボルト TCB M22 (S10T)、TCB M24 (S10T)を示す。
   ✳印は、高力ボルト HTB M22 (F10T)、HTB M24 (F10T)を示す。
4. ※印部は、C15溶接後埋戻しとする。

L側
① 4-RIB PL 300x35x1192(SM490YB)
② 2-RIB PL 300x35x2172(SM490YB)
③ 2-RIB PL 300x35x 668(SM490YB)
2-BASE PL 550x57x550(SM400C)

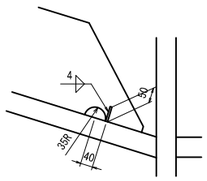
R側
④ 4-RIB PL 300x35x 969(SM490YB)
⑤ 4-RIB PL 300x35x1645(SM490YB)

上フランジ

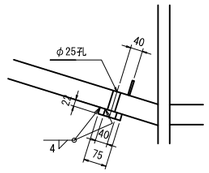


ハンドホール材料 N=1
1-COV PL φ300 x 9(SS400)
1-DOUB PL φ340 x 60(SM520C-H)
6-BN M16 x 160(SS400)(亜鉛メッキ)
1-Gum φ300 x 6(クロロプレンゴム)

a − a S=1:10



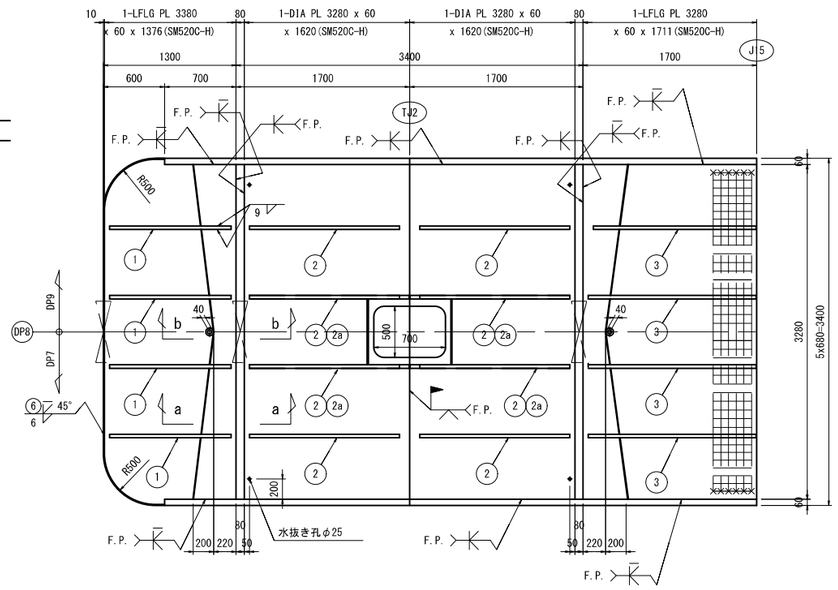
b − b



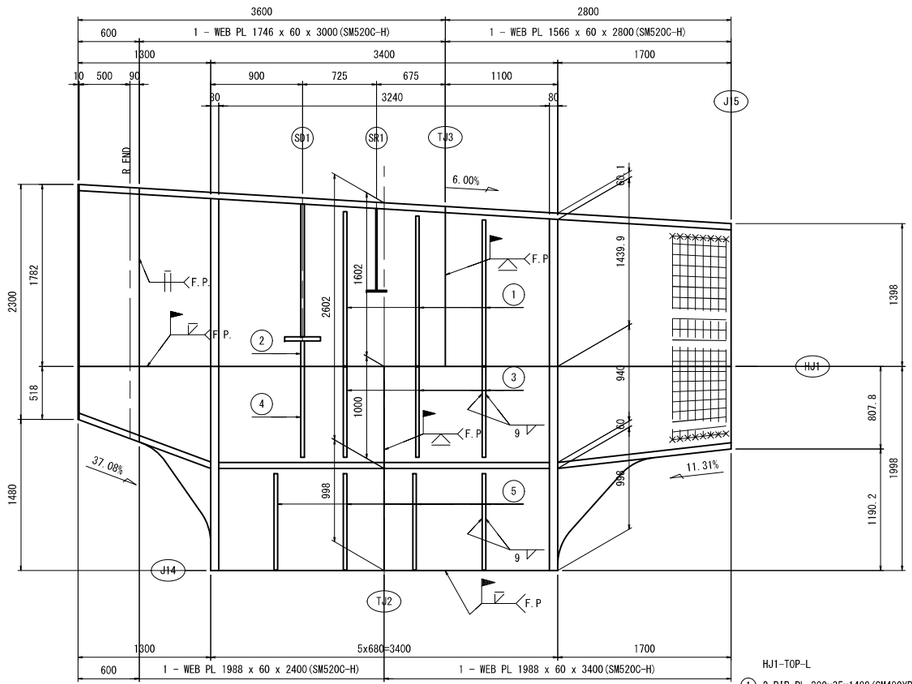
L側
① 4-RIB PL 300x35x1226(SM490YB)
② 4-RIB PL 300x35x1470(SM490YB)
2a 2-RIB PL 300x35x1565(SM490YB)
③ 4-RIB PL 300x35x1599(SM490YB)
2-FB 50x6x607(SS400)
3-FB 50x6x650(SS400)
1-PL φ75x22
1-PL 150x12x645

R側
② 4-RIB PL 300x35x1470(SM490YB)
2a 2-RIB PL 300x35x1565(SM490YB)
③ 4-RIB PL 300x35x1599(SM490YB)
2-FB 50x6x607(SS400)
3-FB 50x6x650(SS400)
1-PL φ75x22
1-PL 150x12x645

下フランジ



A − A



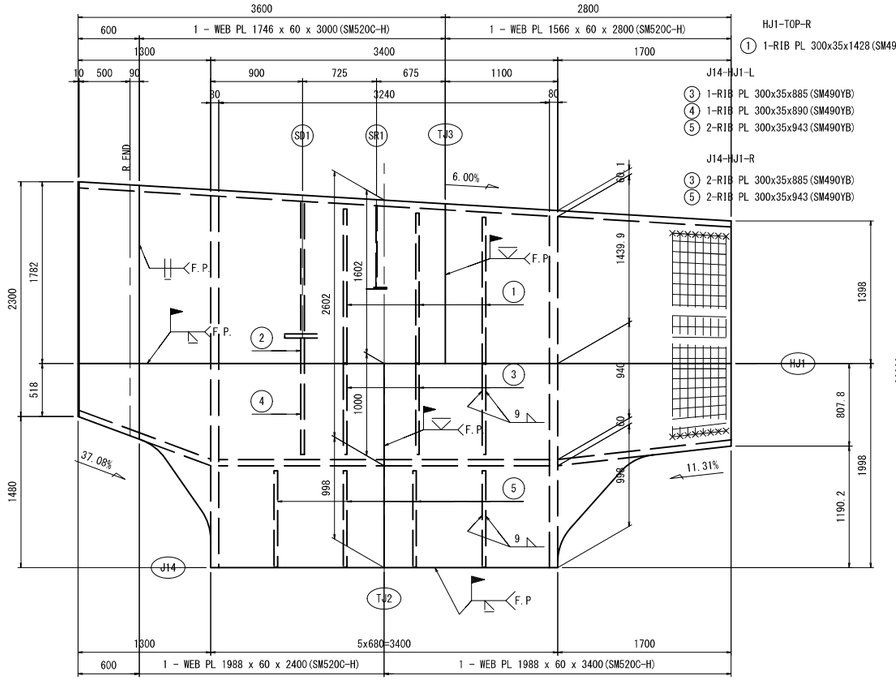
HJ1-TOP-L
① 2-RIB PL 300x35x1489(SM490YB)(平均長)
② 1-RIB PL 300x35x250(SM490YB)

HJ1-TOP-R
① 1-RIB PL 300x35x1428(SM490YB)

J14-HJ1-L
③ 1-RIB PL 300x35x885(SM490YB)
④ 1-RIB PL 300x35x890(SM490YB)
⑤ 2-RIB PL 300x35x943(SM490YB)

J14-HJ1-R
③ 2-RIB PL 300x35x885(SM490YB)
⑤ 2-RIB PL 300x35x943(SM490YB)

B − B



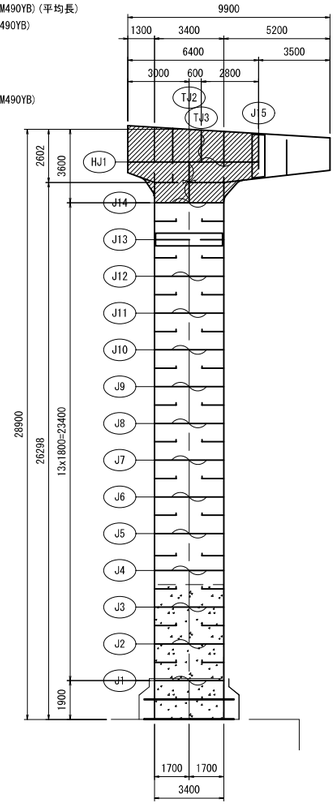
HJ1-TOP-L
① 2-RIB PL 300x35x1489(SM490YB)(平均長)
② 1-RIB PL 300x35x250(SM490YB)

HJ1-TOP-R
① 1-RIB PL 300x35x1428(SM490YB)

J14-HJ1-L
③ 1-RIB PL 300x35x885(SM490YB)
④ 1-RIB PL 300x35x890(SM490YB)
⑤ 2-RIB PL 300x35x943(SM490YB)

J14-HJ1-R
③ 2-RIB PL 300x35x885(SM490YB)
⑤ 2-RIB PL 300x35x943(SM490YB)

配置図



工事名	広島高速５号線温品ＪＣＴ鋼上部工事（２工区）		
図面番号	14 / 87	縮尺	図示
図面名	DP8鋼製橋脚 共通詳細図(その3)	番号	
路線名	広島高速５号線		

広島高速道路公社

Dランプ第2橋　DP8鋼製橋脚 共通詳細図(その3)　S=1:10

梁先端部用

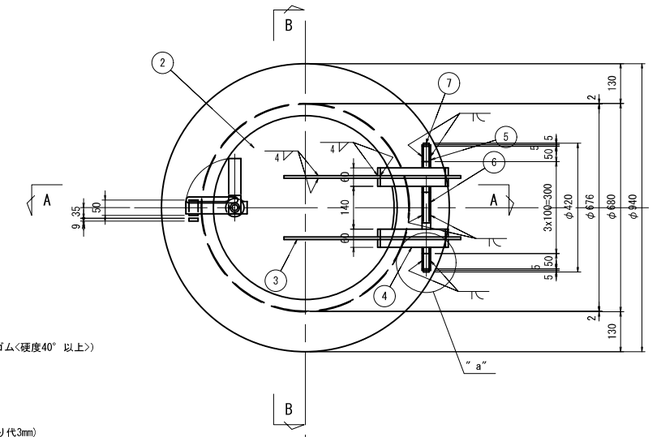
M-2

注記

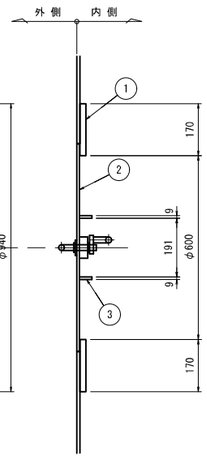
1. 特記なき材質は、全てSM400Aとする。
2. ゴムパッキンは、母材側に接着剤にて取付ける。

①	1 - PL φ940 x 20	・・・本体図計上
②	1 - PL φ676 x 9	
③	2 - PL 236 x 9 x 578	
④	2 - PL 60 x 9 x 491	
⑤	2 - RB φ32 x 50 (SUS304)	
⑥	3 - RB φ32 x 100 (SUS304)	
⑦	1 - RB φ22 x 420 (SUS304)	
⑧	2 - PL φ28 x 5 (SUS304)	
⑨	1 - ゴムパッキン680 x 1	(クロロプレンゴム<硬度40° 以上>)
⑩	2 - PL φ30 x 5 (SUS304)	
⑪	1 - PL φ50 x 21 (SM400A)	
⑫	1 - PL 60 x 12 x 140 (SUS304)	
⑬	1 - PL 30 x 15 x 50 (SUS304)(一面テーパー加工削り代3mm)	
⑭	1 - PL 20 x 9 x 30	
⑮	1 - RB φ19 x 240 (SUS304)	
⑯	1 - RB φ19 x 200 (SUS304)	
⑰	1 - PL φ50 x 5 (SUS304)	
⑱	2 - ゴム板50 x 38 x 50	(クロロプレンゴム<硬度40° 以上>)
⑲	4 - BN M8 x 35 (SUS304)	

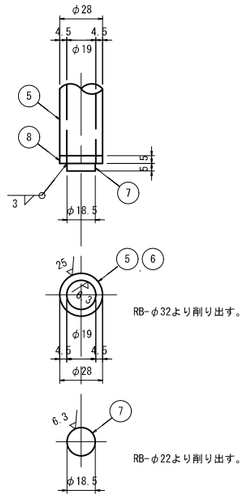
内側正面図



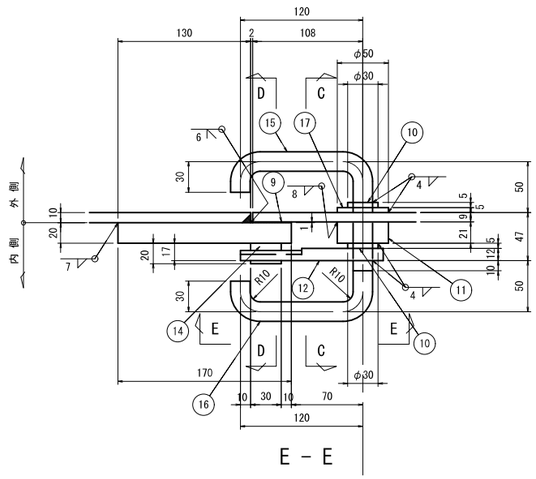
B - B



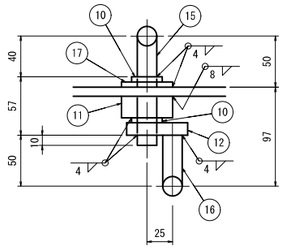
"a" 部詳細図　S=1:2



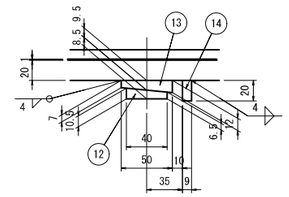
"b" 部詳細図　S=1:3



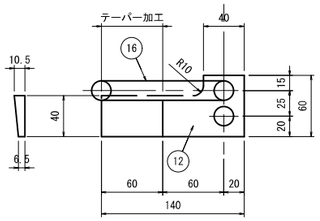
C - C　S=1:3



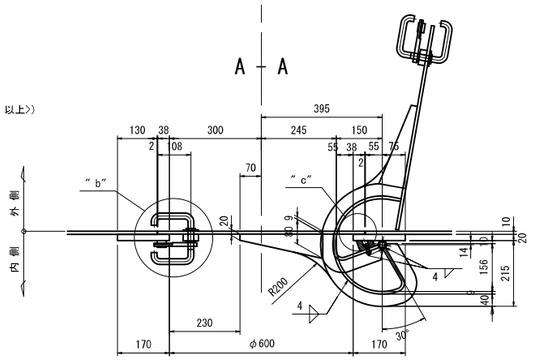
D - D　S=1:3



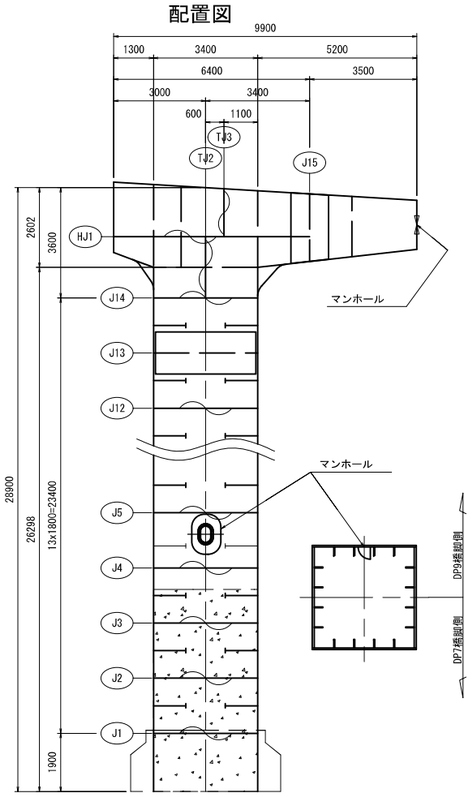
E - E



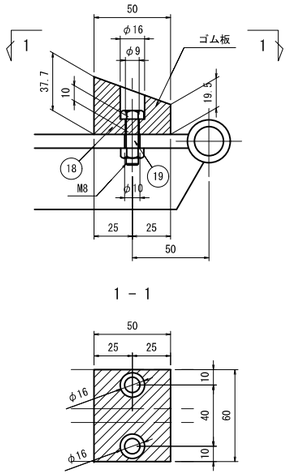
A - A



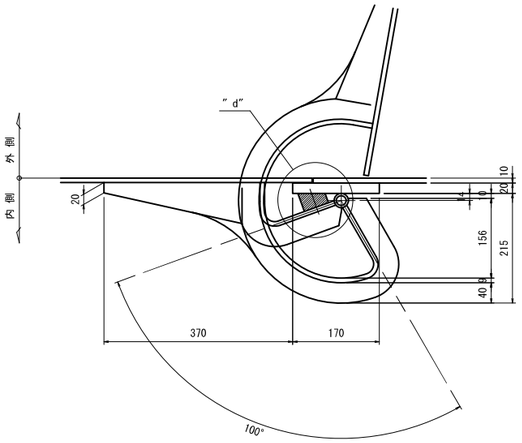
配置図



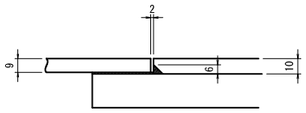
"d" 部詳細図　S=1:2



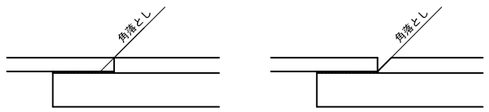
マンホール蓋回転図　S=1:6



"c" 部詳細図　S=1:2



扉の開閉具合を検討して、必要であれば、
"c" 部詳細において、扉または母材を
角落ししてよいものとする。



工事名	広島高速５号線温品ＪＣＴ鋼上部工事（２工区）		
図面番号	15 / 87	縮尺	図示
図面名	DP8鋼製橋脚 横梁・隅角部 詳細図(その2)	番号	
路線名	広島高速５号線		

広島高速道路公社

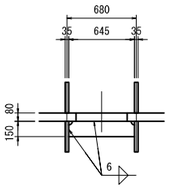
DP8鋼製橋脚 横梁・隅角部 詳細図(その2)

S=1:30

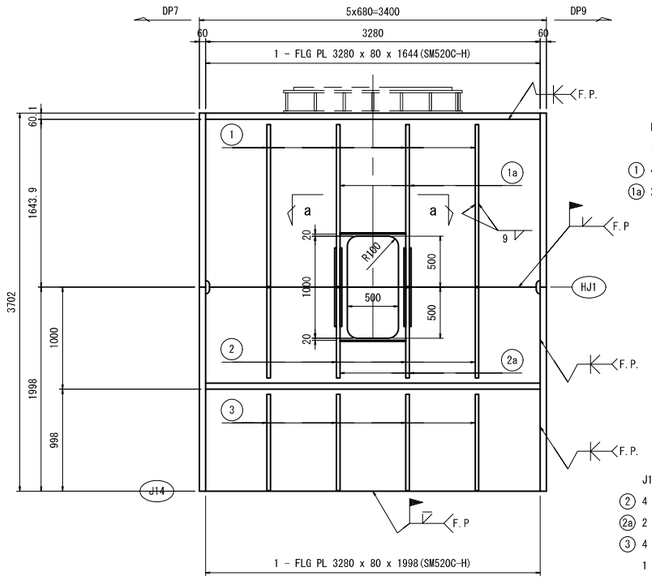
注 記

1. 特記なき材質は、全て SM400A とする。
2. 特記なきスカーラップは、全て R=35 とする。
3. ⊕ 印は、高カボルト TCB M22 (S10T)、
   TCB M24 (S10T)を示す。
   ✳印は、高カボルト HTB M22 (F10T)、
   HTB M24 (F10T)を示す。
4. ※印部は、C15溶接後埋戻しとする。

a － a



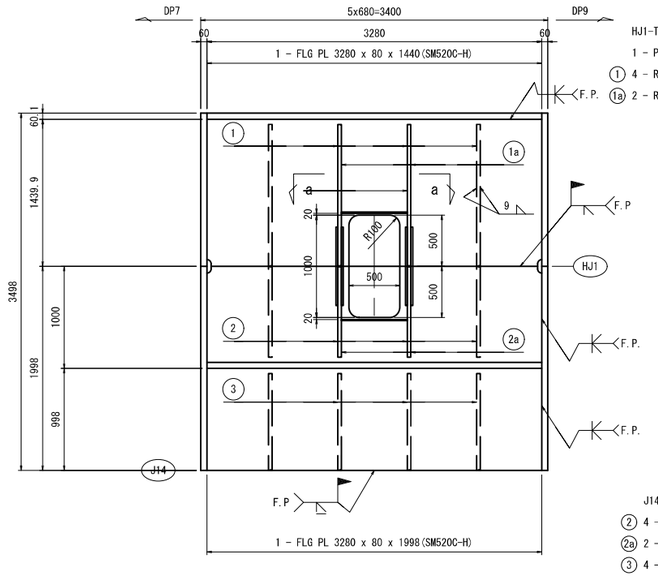
D － D



HJ1-TOP
1 - PL 150 x 12 x 645
① 4 - RIB PL 300 x 35 x 1589(SM490YB)
①a 2 - RIB PL 300 x 35 x 1489(SM490YB)

J14-HJ1
② 4 - RIB PL 300 x 35 x 885(SM490YB)
②a 2 - RIB PL 300 x 35 x 786(SM490YB)
③ 4 - RIB PL 300 x 35 x 943(SM490YB)
1 - PL 150 x 12 x 645

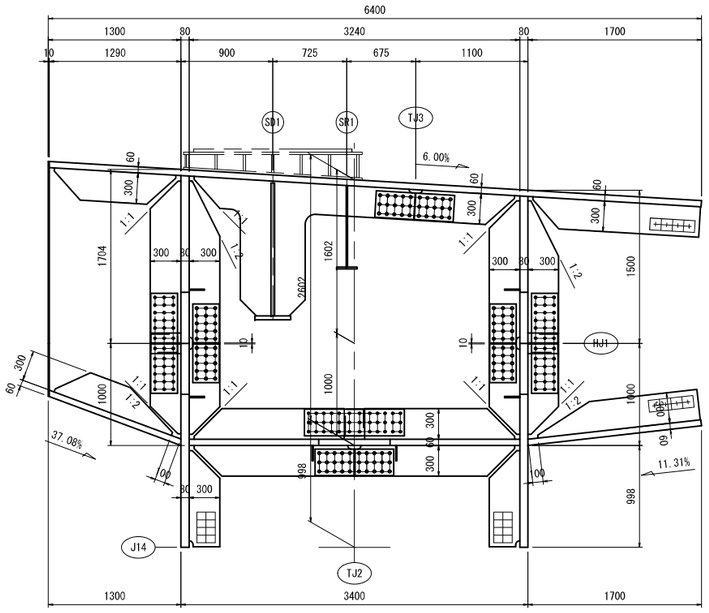
E － E



HJ1-TOP
1 - PL 150 x 12 x 645
① 4 - RIB PL 300 x 35 x 1390(SM490YB)
①a 2 - RIB PL 300 x 35 x 1295(SM490YB)

J14-HJ1
② 4 - RIB PL 300 x 35 x 885(SM490YB)
②a 2 - RIB PL 300 x 35 x 786(SM490YB)
③ 4 - RIB PL 300 x 35 x 943(SM490YB)
1 - PL 150 x 12 x 645

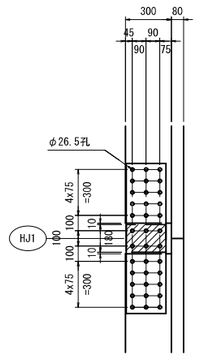
C － C



縦リブ添接詳細

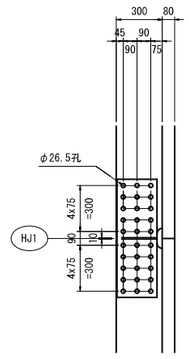
S=1:20

HJ1(開口部)
4箇所



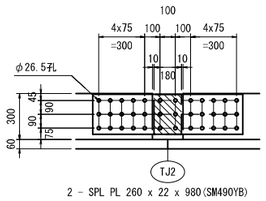
2 - SPL PL 260 x 22 x 980(SM490YB)
1 - FILL PL 260 x 35 x 180(SS400)
36 - TCB M22 x 115(S10T)

HJ1
14箇所



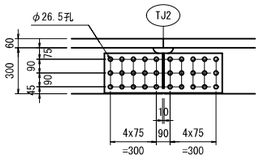
2 - SPL PL 260 x 22 x 770(SM490YB)
30 - TCB M22 x 115(S10T)

TJ2
LFLG 4箇所



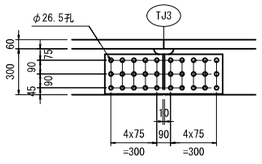
2 - SPL PL 260 x 22 x 980(SM490YB)
1 - FILL PL 260 x 35 x 180(SS400)
36 - TCB M22 x 115(S10T)

TJ2(開口部)
LFLG 2箇所



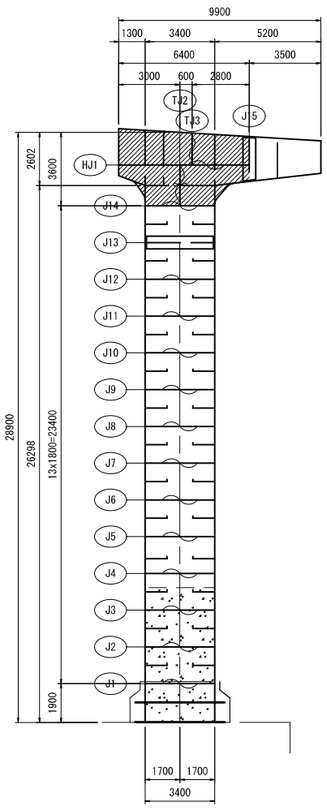
2 - SPL PL 260 x 22 x 770(SM490YB)
30 - TCB M22 x 115(S10T)

TJ3
UFLG 4箇所



2 - SPL PL 260 x 22 x 770(SM490YB)
30 - TCB M22 x 115(S10T)

配置図



工事名	広島高速5号線温品ＪＣＴ鋼上部工事（2工区）		
図面番号	16 / 87	縮尺	図示
図面名	DP8鋼製橋脚 柱 詳細図(その1)	番号	
路線名	広島高速５号線		

広島高速道路公社

DP8鋼製橋脚 柱 詳細図(その1)

S=1:30

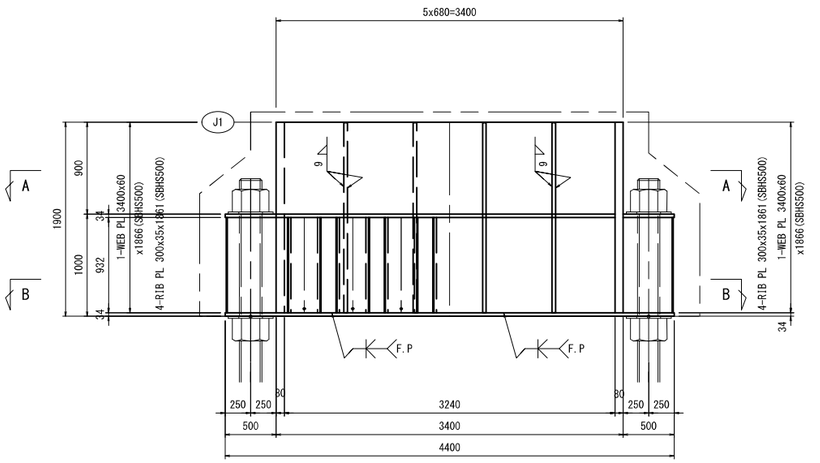
基部～J1

注 記

1. 特記なき材質は、全て SM400A とする。
2. 特記なきスカーラップは、全て R=35 とする。
3. ⊕ 印は、高カボルト TCB M22 (S10T),
   TCB M24 (S10T)を示す。
   ✳印は、高カボルト HTB M24 (F10T)を示す。
4. ※印部は、C15溶接後埋戻しとする。

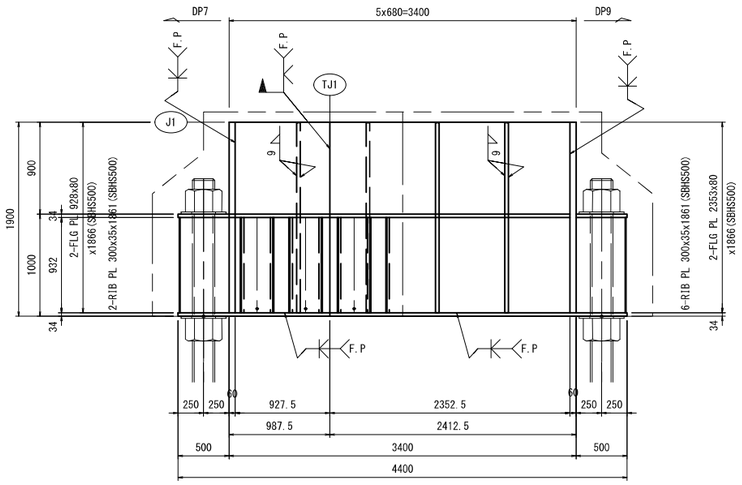
C － C　　D － D

橋軸直角方向（ウェブ面）



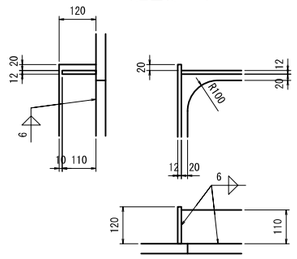
E － E　　F － F

橋軸方向（フランジ面）

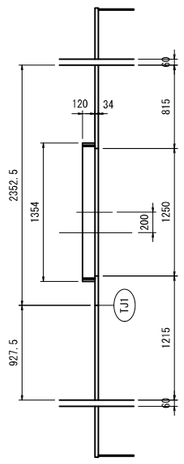


開口部詳細　S=1:10

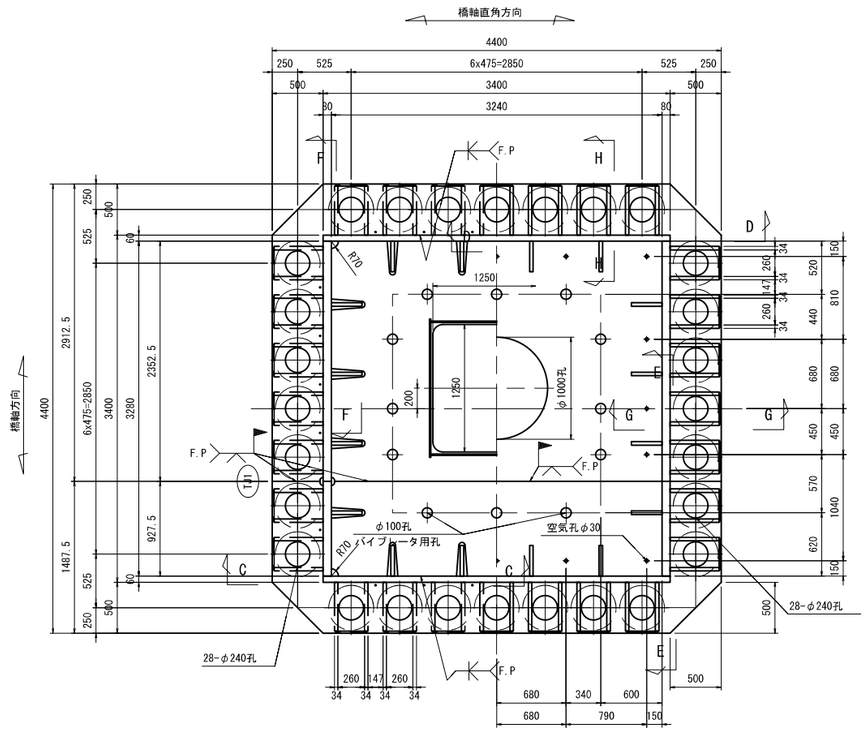
（柱基部DIA）



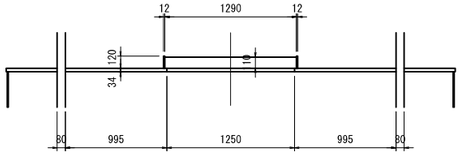
1 - FLG PL 4400 x 34 x 2913(SBHS500)
1 - DIA PL 3240 x 34 x 2353(SBHS500)
2 - PL 120 x 12 x 1354
2 - PL 110 x 12 x 1290
34 - RIB PL 480 x 34 x 932(SBHS500)
17 - COV PL 308 x 9 x 932
1 - BASE PL 4400 x 34 x 2913(SBHS500)



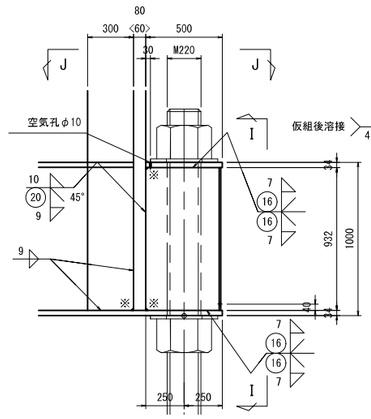
A － A　　B － B



1 - FLG PL 4400 x 34 x 1488(SBHS500)
1 - DIA PL 3240 x 34 x 928(SBHS500)
22 - RIB PL 480 x 34 x 932(SBHS500)
11 - COV PL 308 x 9 x 932
1 - BASE PL 4400 x 34 x 1488(SBHS500)

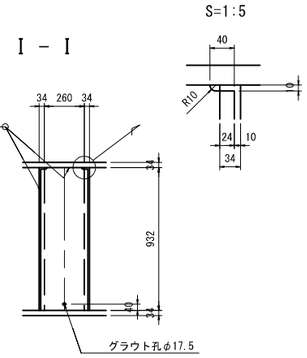


G － G <H － H>　S=1:20

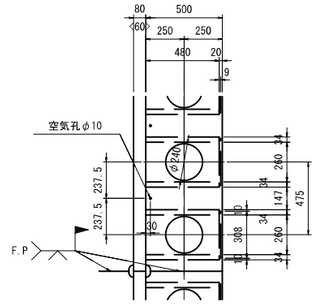


I － I

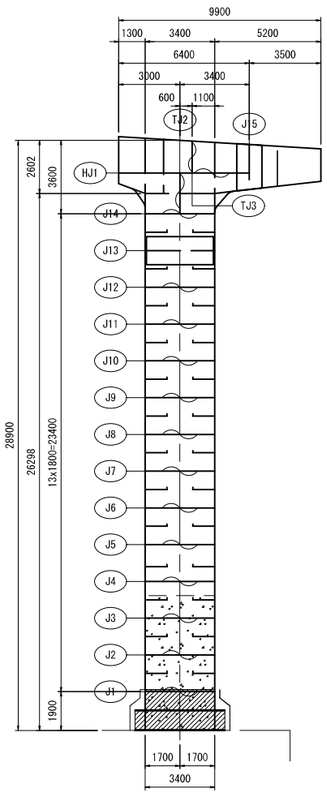
S=1:5



J － J



配置図



工事名	広島高速５号線温品ＪＣＴ鋼上部工事（２工区）		
図面番号	17 / 87	縮尺	図示
図面名	DP8鋼製橋脚 横梁・隅角部 詳細図(その3)	番号	
路線名	広島高速５号線		

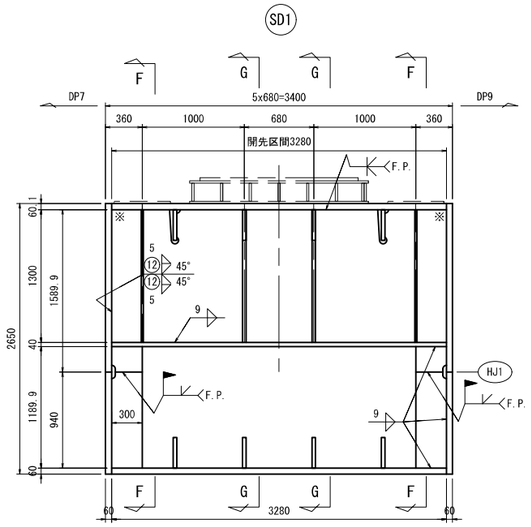
広島高速道路公社

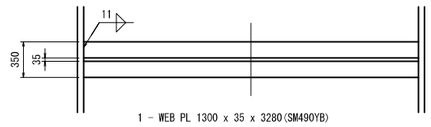
DP8鋼製橋脚 横梁・隅角部 詳細図(その3)

S=1:30

注 記

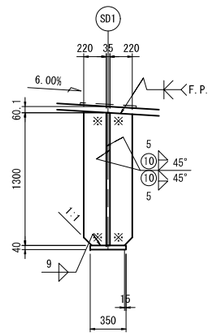
1. 特記なき材質は、全て SM400A とする。
2. 特記なきスカーラップは、全て R=35 とする。
3. ⊕ 印は、高カボルト TCB M22 (S10T)、
   TCB M24 (S10T)を示す。
   ✳印は、高カボルト HTB M22 (F10T)、
   HTB M24 (F10T)を示す。
4. ※印部は、C15溶接後埋戻しとする。





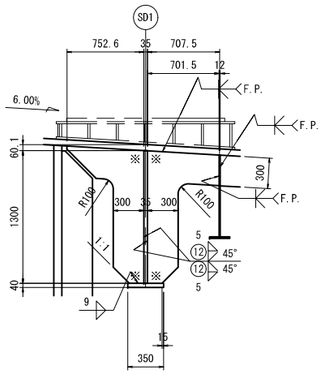
1 - WEB PL 1300 x 35 x 3280(SM490YB)
1 - FLG PL 350 x 40 x 3280(SM490YB)

F - F

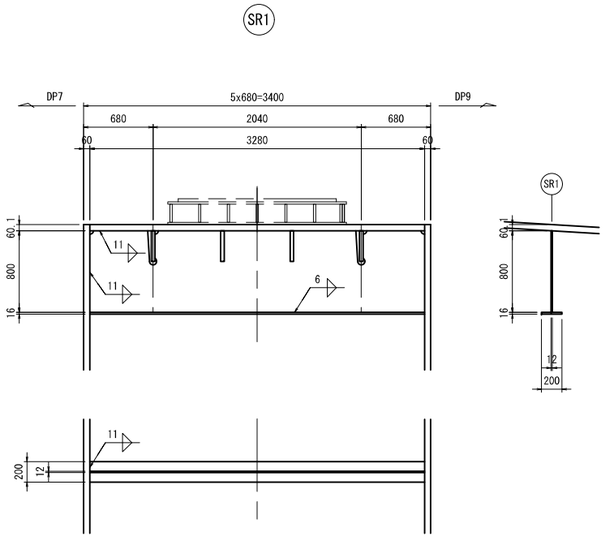


N=2
1 - PL 220 x 22 x 1314(SM490YB)
1 - PL 220 x 22 x 1299(SM490YB)

G - G

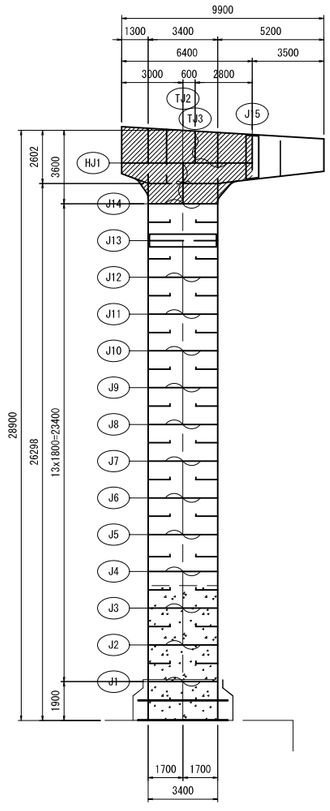


N=2
1 - PL 753 x 22 x 1346(SM490YB)
1 - PL 702 x 22 x 1293(SM490YB)



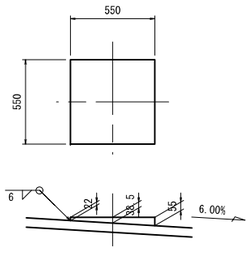
1 - WEB PL 800 x 12 x 3280(SM490YA)
1 - FLG PL 200 x 16 x 3280(SM490YA)

配置図



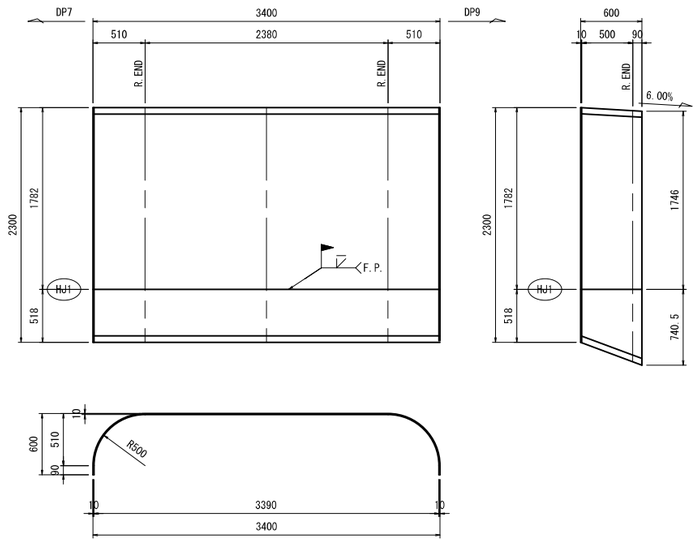
ジャッキアップ用
ベースプレート詳細

S=1:20



N=2
1-BASE PL 550x57x550(SM400C)

END PL



HJ1-TOP
1 - PL 1782 x 10 x 4162

J14-HJ1
1 - PL 741 x 10 x 4162

工事名	広島高速５号線温品ＪＣＴ鋼上部工事（２工区）		
図面番号	18 / 87	縮尺	図示
図面名	DP8鋼製橋脚 横梁・隅角部 詳細図(その4)	番号	
路線名	広島高速５号線		

広島高速道路公社

DP8鋼製橋脚 横梁・隅角部 詳細図(その4)

S=1:30

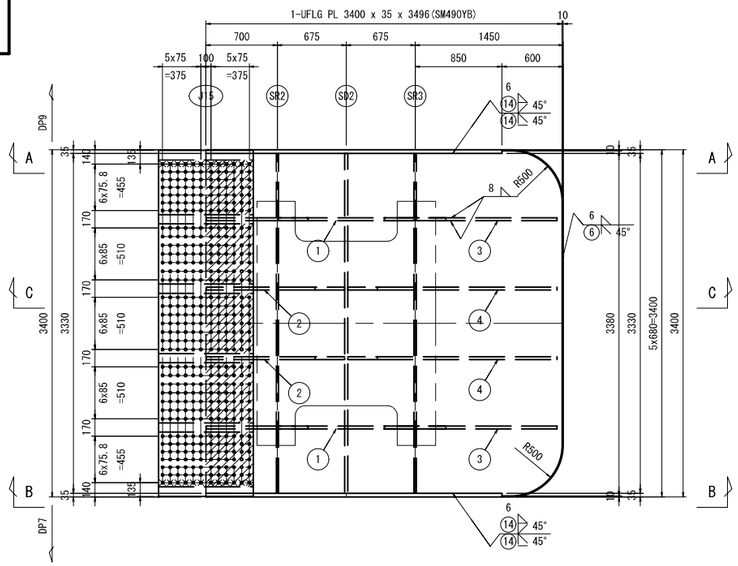
注 記

1. 特記なき材質は、全て SM400A とする。
2. 特記なきスカーラップは、全て R=35 とする。
3. ⊕ 印は、高カボルト TCB M22 (S10T)、
   TCB M24 (S10T)を示す。
   ✳印は、高カボルト HTB M22 (F10T)、
   HTB M24 (F10T)を示す。
4. ※印部は、C15溶接後埋戻しとする。

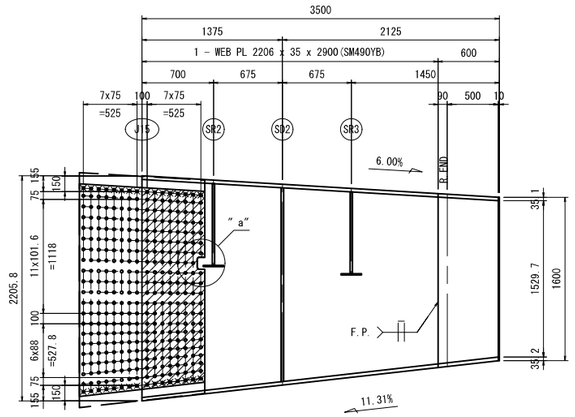
① 2-RIB PL 290x28x1027(SM490YB)
② 2-RIB PL 290x28x705(SM490YB)
③ 2-RIB PL 290x28x1221(SM490YB)
④ 2-RIB PL 290x28x1382(SM490YB)

1 - SPL PL 3390 x 18 x 930(SM490YB)
2 - SPL PL 535 x 22 x 930(SM490YB)
3 - SPL PL 590 x 22 x 930(SM490YB)
2 - FILL PL 535 x 25 x 465(SS400)
3 - FILL PL 590 x 25 x 465(SS400)
396 - TCB M22 x 135(S10T)
24 - HTB M22 x 140(F10T)

上フランジ

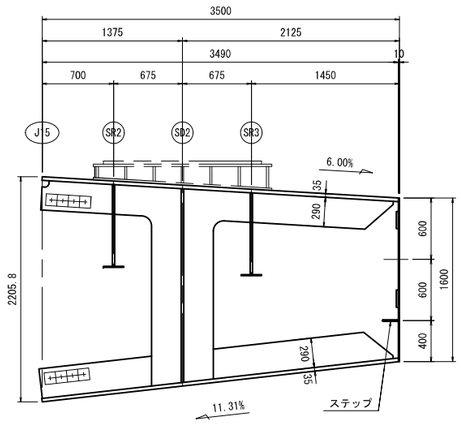


A - A

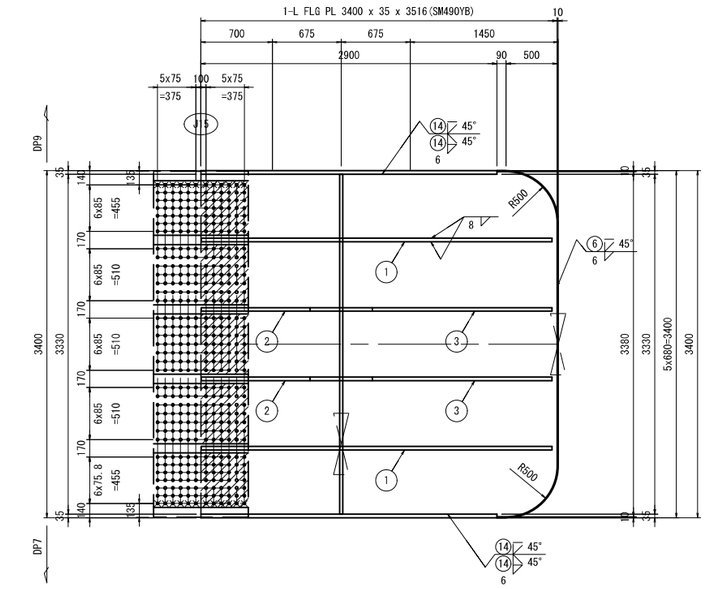


1 - SPL PL 2302 x 24 x 1230(SM490YB)
1 - SPL PL 2083 x 24 x 1230(SM490YB)
2 - FILL PL 1976 x 25 x 615(SS400)
303 - TCB M24 x 150(S10T)
32 - HTB M24 x 155(F10T)

C - C



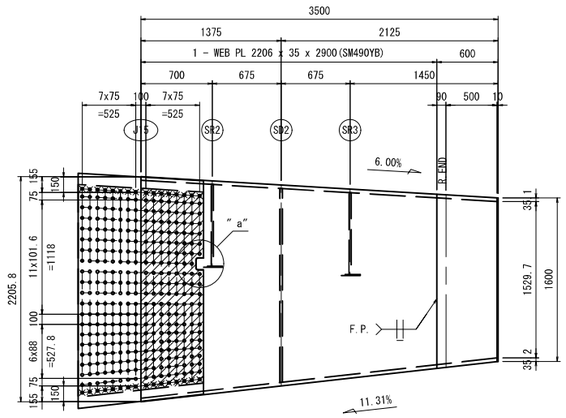
下フランジ



① 2-RIB PL 290x28x3461(SM490YB)
② 2-RIB PL 290x28x1111(SM490YB)
③ 2-RIB PL 290x28x1741(SM490YB)

1 - SPL PL 3390 x 18 x 930(SM490YB)
2 - SPL PL 535 x 22 x 930(SM490YB)
3 - SPL PL 590 x 22 x 930(SM490YB)
2 - FILL PL 535 x 25 x 465(SS400)
3 - FILL PL 590 x 25 x 465(SS400)
396 - TCB M22 x 135(S10T)
24 - HTB M22 x 140(F10T)

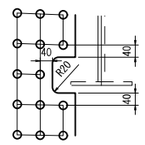
B - B



1 - SPL PL 2302 x 24 x 1230(SM490YB)
1 - SPL PL 2083 x 24 x 1230(SM490YB)
2 - FILL PL 1976 x 25 x 615(SS400)
303 - TCB M24 x 150(S10T)
32 - HTB M24 x 155(F10T)

"a" 部詳細

S=1:10

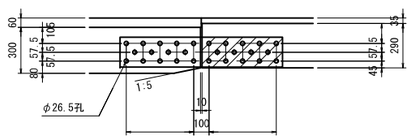


縦リブ継手詳細

S=1:20

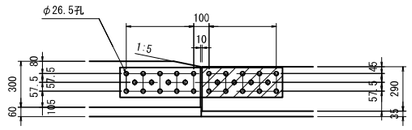
J15

U.FLG = 4箇所

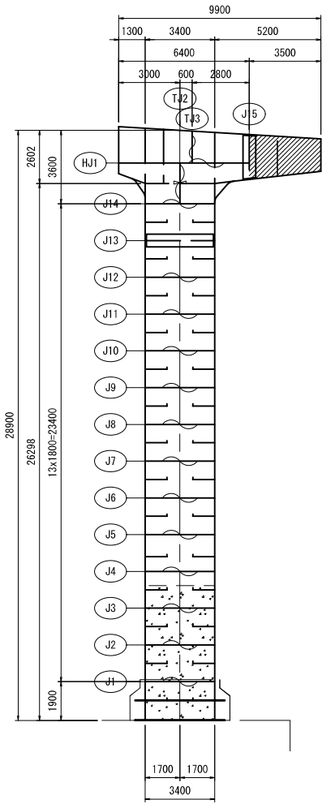


2 - SPL PL 195 x 24 x 1060(SM490YB)
2 - FILL PL 195 x 3.2 x 525(SS400)
28 - TCB M22 x 120(S10T)

L.FLG = 4箇所



2 - SPL PL 195 x 24 x 1060(SM490YB)
2 - FILL PL 195 x 3.2 x 525(SS400)
28 - TCB M22 x 120(S10T)



工事名	広島高速５号線温品ＪＣＴ鋼上部工事（２工区）		
図面番号	19 / 87	縮尺	図示
図面名	DP8鋼製橋脚 横梁・隅角部 詳細図(その5)	番号	
路線名	広島高速５号線		

広島高速道路公社

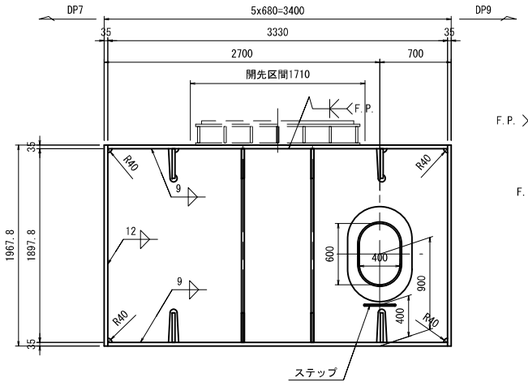
DP8鋼製橋脚 横梁・隅角部 詳細図(その5)

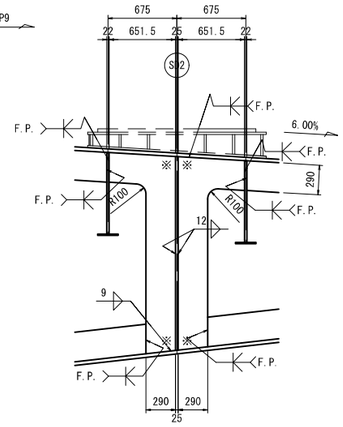
S=1:30

注 記

1. 特記なき材質は、全て SM400A とする。
2. 特記なきスカーラップは、全て R=35 とする。
3. ⊕ 印は、高カボルト TCB M22 (S10T)、
   TCB M24 (S10T)を示す。
   ✳印は、高カボルト HTB M22 (F10T)、
   HTB M24 (F10T)を示す。
4. ※印部は、C15溶接後埋戻しとする。

SD2

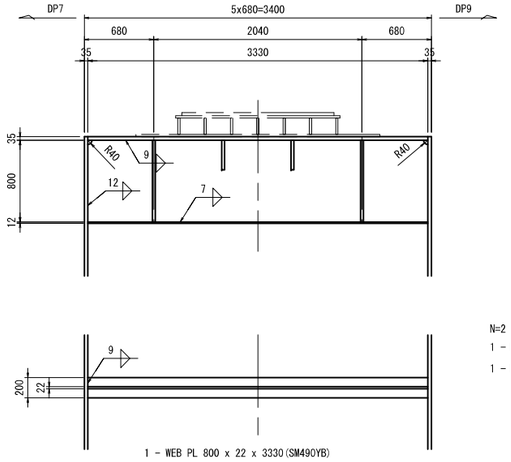


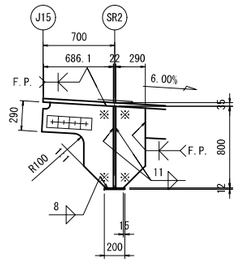


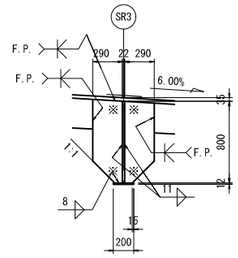
1 - DIA PL 1898 x 25 x 3330(SM490YB)
2 - DOUB PL 930 x 25 x 630(SM490YB)
2 - RB φ16 x 600(SS400)

2 - PL 652 x 28 x 1972(SM490YB)
2 - PL 652 x 28 x 1895(SM490YB)

SR2, SR3





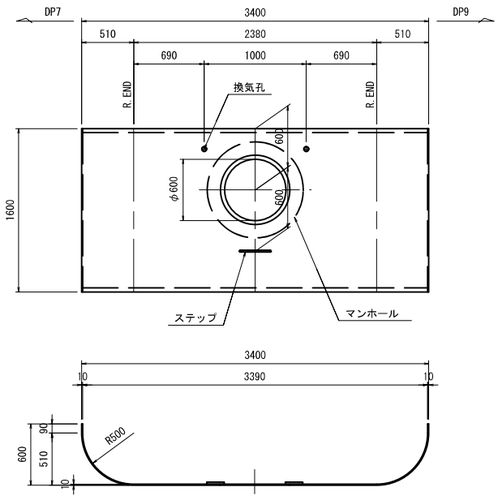


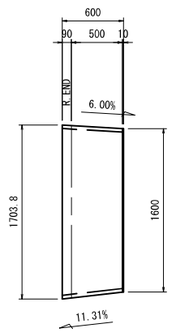
1 - WEB PL 800 x 22 x 3330(SM490YB)
1 - FLG PL 200 x 12 x 3330(SM490YA)

N=2
1 - PL 704 x 28 x 842(SM490YB)
1 - PL 290 x 28 x 799(SM490YB)

N=2
1 - PL 290 x 28 x 818(SM490YB)
1 - PL 290 x 28 x 799(SM490YB)

END PL

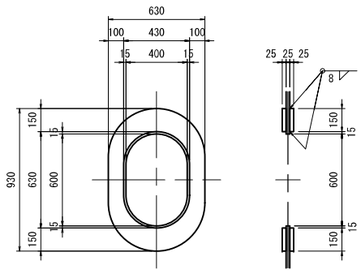




1 - PL 1704 x 10 x 4162
1 - DOUB PL φ940 x 20
1 - RB φ16 x 600(SS400)

開口補強詳細

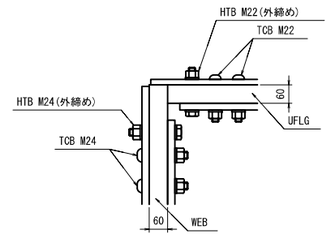
S=1:20



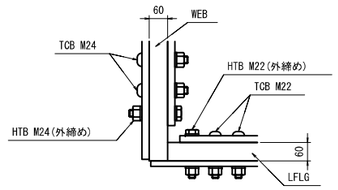
ボルト締め付け要領

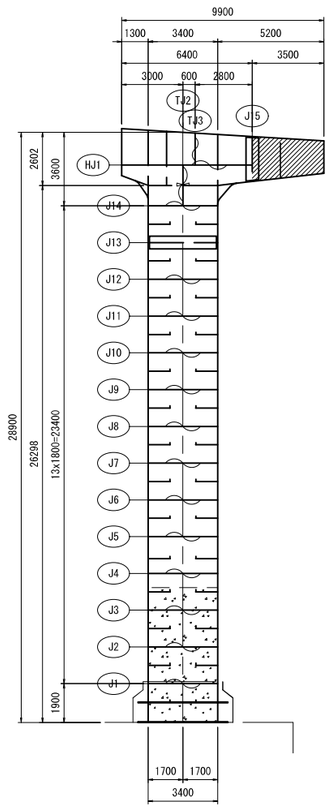
S=1:10

上フランジ側



下フランジ側





工 事 名	広島高速５号線温品ＪＣＴ鋼上部工事（２工区）		
図面番号	20 / 87	縮　尺	図 示
図 面 名	DP8鋼製橋脚 沓座詳細図	番 号	
路線名	広島高速５号線		

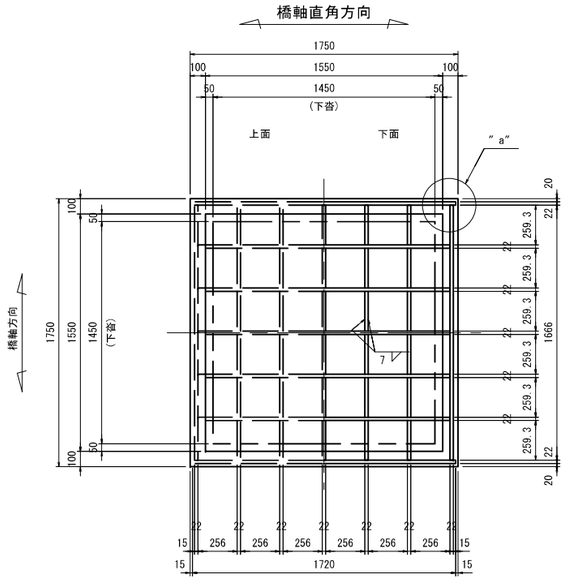
広島高速道路公社

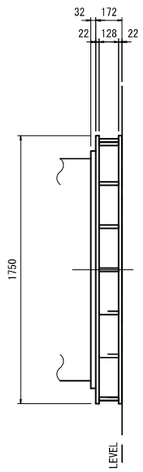
DP8鋼製橋脚 沓座詳細図　S=1:20

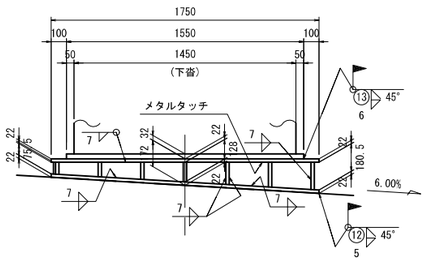
注 記

1. 特記なき材質は、全て SM400A とする。
2. ※印部ベースプレート板厚は、支承設置高を現場実測後決定のこと。
   また、※印部ベースプレートは、上部工施工範囲とする。

G1L

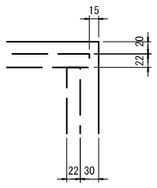




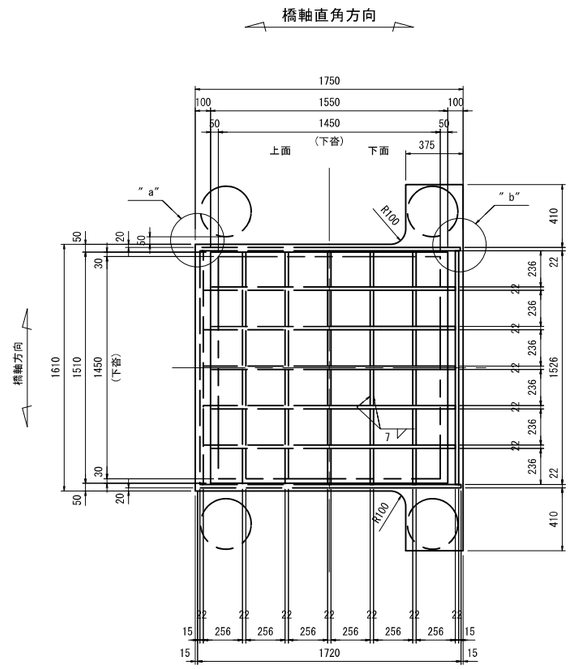


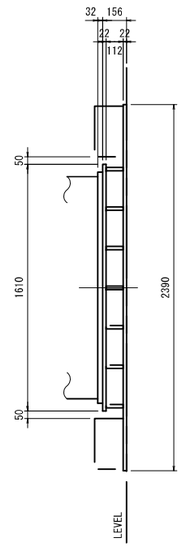
※ 1-BASE PL 1550x32x1550
2-FLG PL 1750x22x1750
2-RIB 180x22x1720
5-RIB 177x22x1646
1-RIB 78x22x1666
6-RIB 95x22x259
6-RIB 111x22x259
6-RIB 127x22x259
6-RIB 145x22x259
6-RIB 161x22x259
1-RIB 178x22x1666

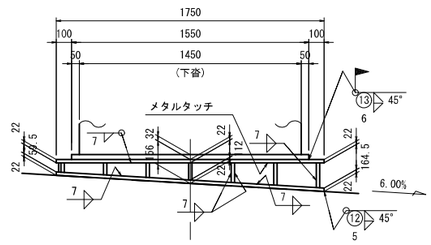
"a" 部詳細　S=1:5



G3

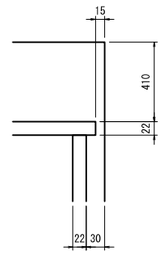






※ 1-BASE PL 1510x32x1550
1-FLG PL 2390x22x1750
1-FLG PL 1610x22x1750
2-RIB 164x22x1720
5-RIB 161x22x1646
1-RIB 62x22x1526
6-RIB 79x22x236
6-RIB 95x22x236
6-RIB 111x22x236
6-RIB 129x22x236
6-RIB 145x22x236
1-RIB 162x22x1526

"b" 部詳細　S=1:5



工事名	広島高速5号線温品ＪＣＴ鎖上部工事（2工区）		
図面番号	21 / 87	縮尺	図示
図面名	DP8鋼製橋脚 アンカーフレーム図(その1)	番号	
路線名	広島高速５号線		

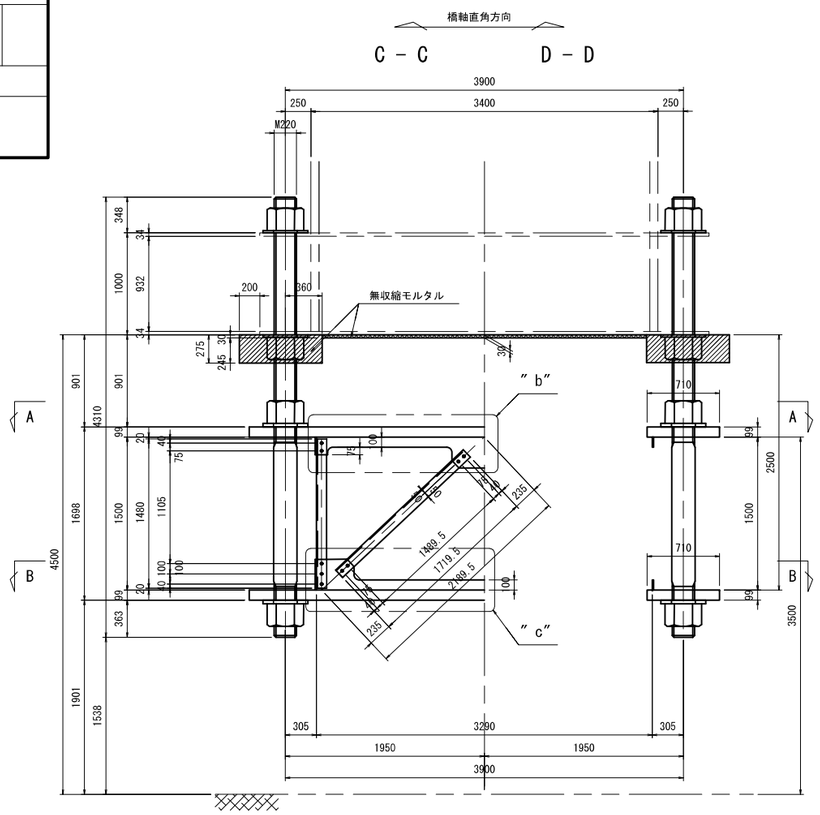
広島高速道路公社

DP8鋼製橋脚 アンカーフレーム図(その1)

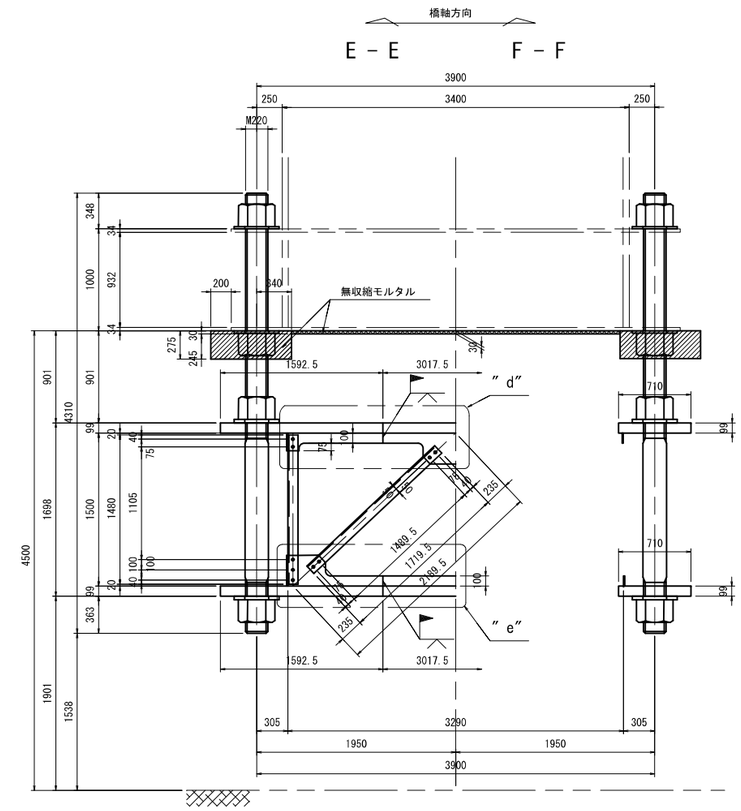
S=1:30

注 記

1. 特記なき材質は、全て SM400A とする。
2. 特記なきスカーラップは、全て R=35 とする。
3. ⊕ 印は、高力ボルト TCB M22 (S10T) を示す。

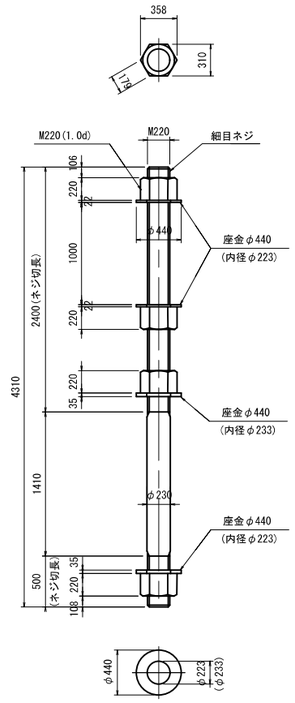


4-L 100 x 100 x10 x 1480(SS400)
4-L 100 x 100 x10 x 1720(SS400)
56-TCB M22 x 60(S10T)

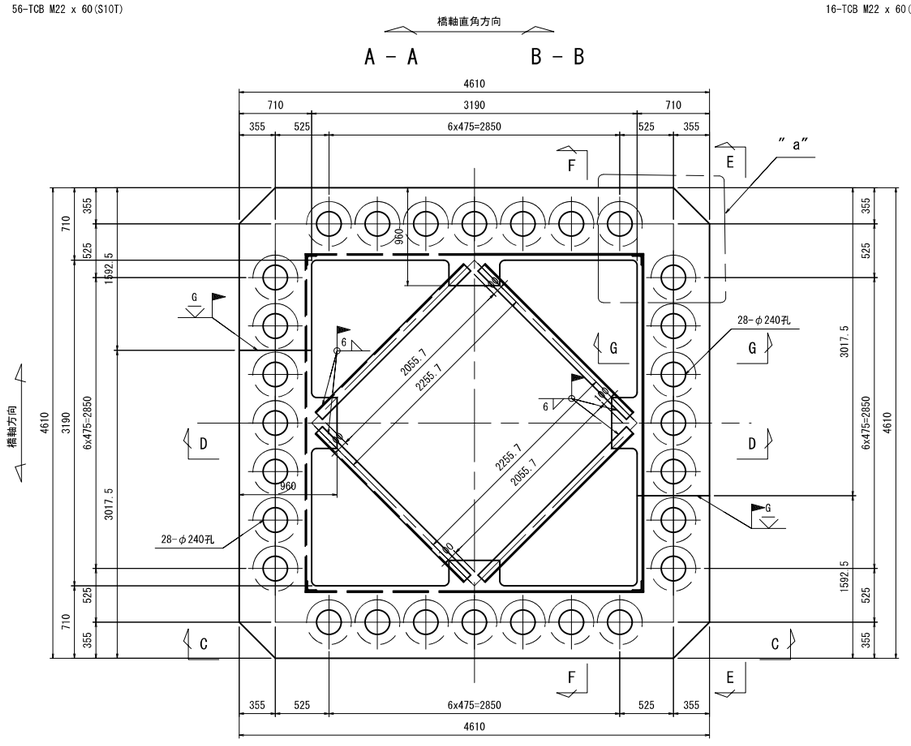


4-L 100 x 100 x10 x 1720(SS400)
16-TCB M22 x 60(S10T)

アンカーボルト詳細



製作数 28
1-ANC.BOLT φ230x4310(S450N)
4-NUT M220(1種)(SS400)
1-WASHER PL φ440x35(SS400)(内径φ223)
2-WASHER PL φ440x22(SS400)(内径φ223)
1-WASHER PL φ440x35(SS400)(内径φ233)

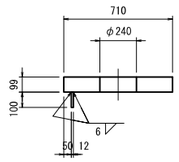


上段材料
2 - PL 3018 x 99 x 4610(SM520C)
2 - RIB PL 304 x 12 x 3314
2 - RIB PL 304 x 12 x 2358
2 - RIB PL 175 x 12 x 933
4-L 100 x 100 x10 x 2056(SS400)

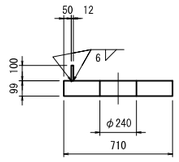
下段材料
2 - PL 3018 x 99 x 4610(SM520C)
2 - RIB PL 304 x 12 x 3314
2 - RIB PL 304 x 12 x 2358
2 - RIB PL 304 x 12 x 933
4-L 100 x 100 x10 x 2056(SS400)

G － G　S=1:20

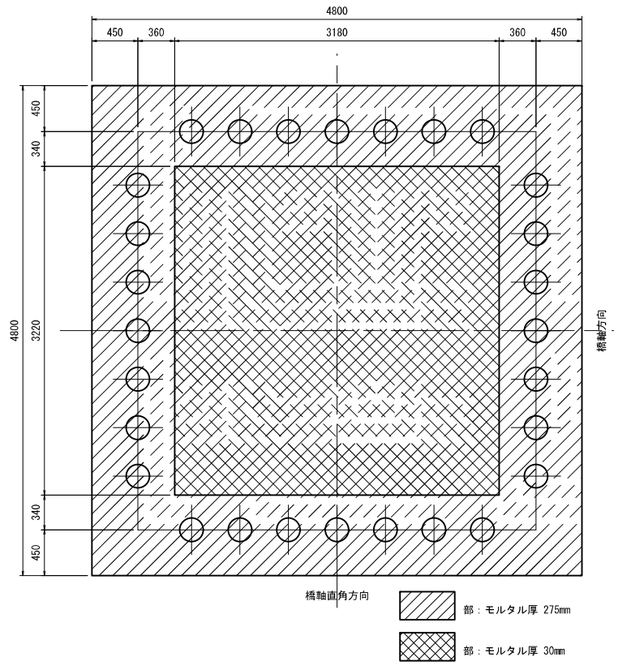
上段支圧板



下段支圧板



無収縮モルタル平面図



工事名	広島高速5号線温品ＪＣＴ鎖上部工事（2工区）		
図面番号	22 / 87	縮尺	図示
図面名	DP8鋼製橋脚 アンカーフレーム図(その2)	番号	
路線名	広島高速５号線		

広島高速道路公社

DP8鋼製橋脚 アンカーフレーム図(その2)

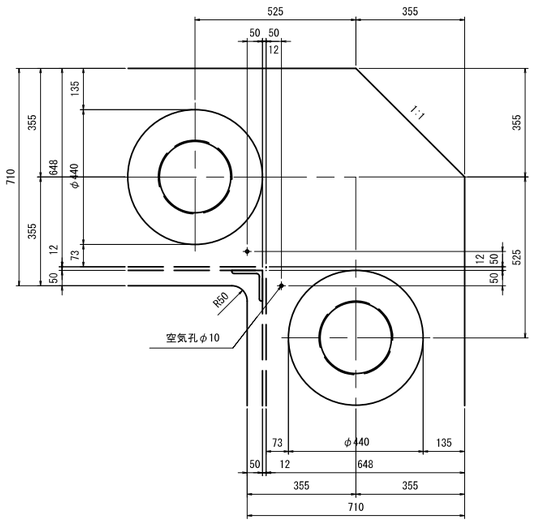
S=1:10

注 記

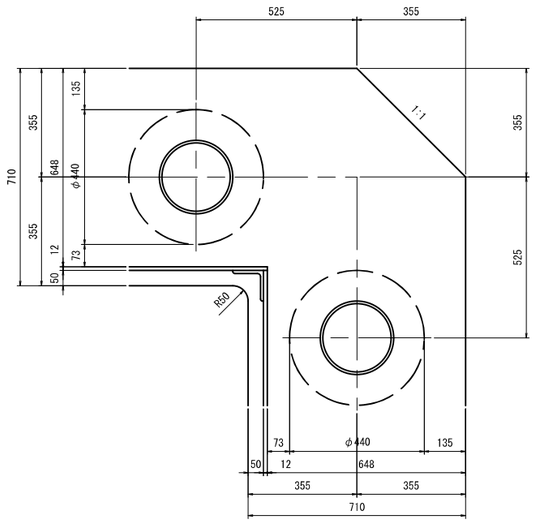
1. 特記なき材質は、全て SM400A とする。
2. 特記なきスカーラップは、全て R=35 とする。
3. ⊕ 印は、高力ボルト TCB M22 (S10T) を示す。

″a″部詳細

上段

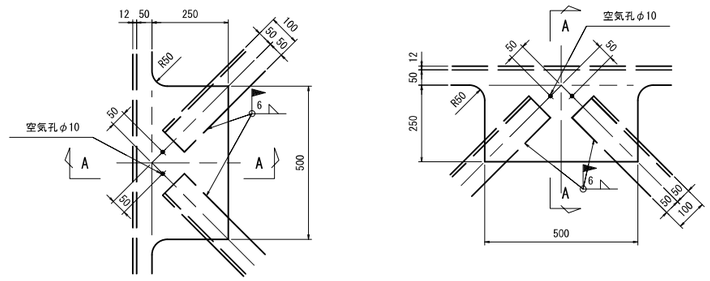


下段

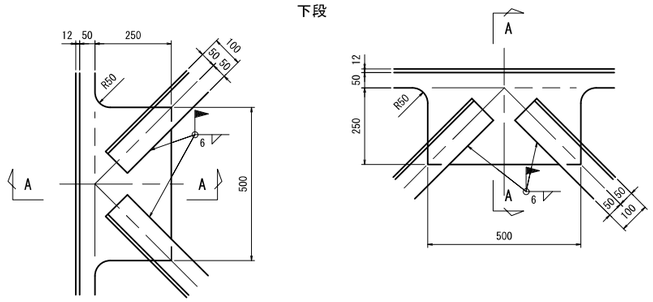


平面ガセット詳細

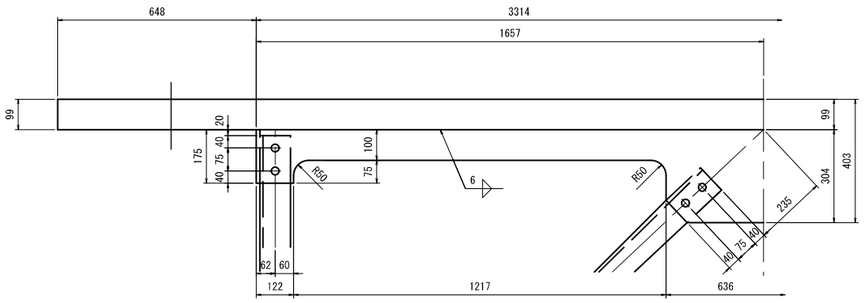
上段



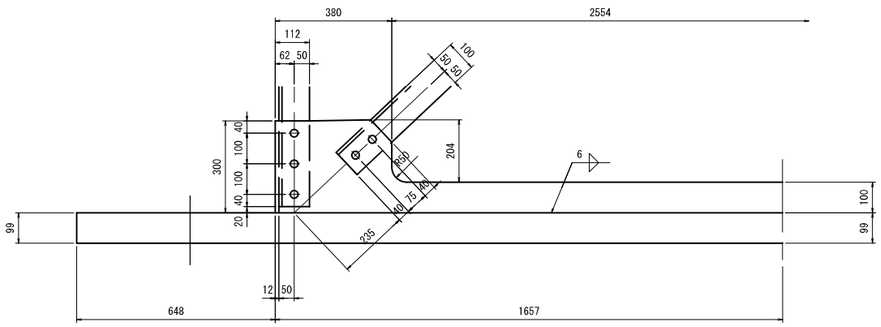
下段



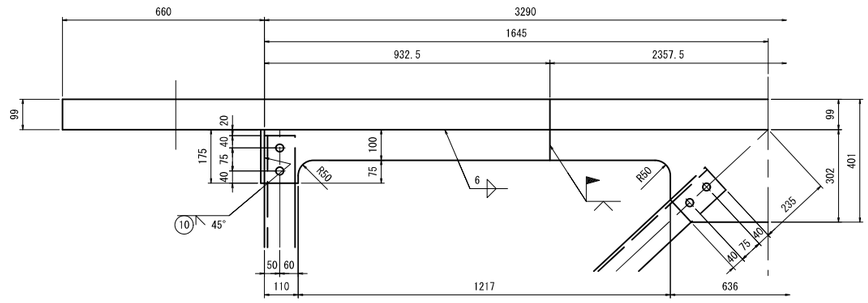
″b″部詳細



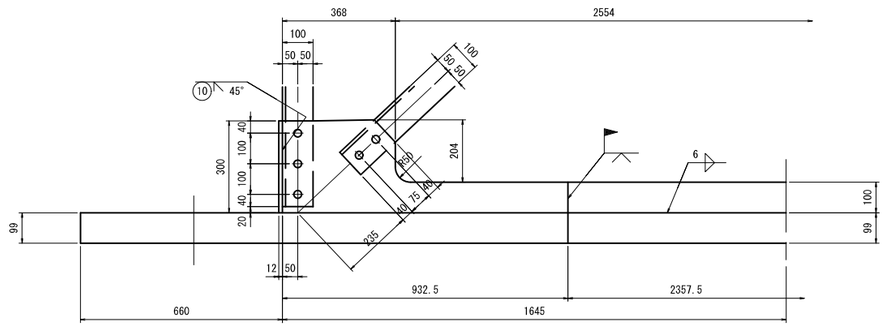
″c″部詳細



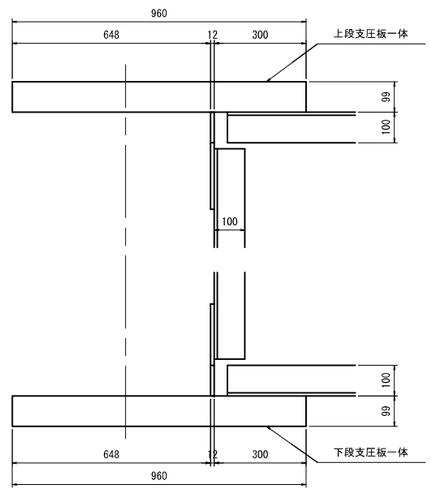
″d″部詳細



″e″部詳細



A－A



工 事 名	広島高速5号線温品ＪＣＴ鋼上部工事（２工区）		
図面番号	23 / 87	縮 尺	図 示
図 面 名	DP8鋼製橋脚 根巻きコンクリート図(その1)	番号	
路線名	広島高速５号線		

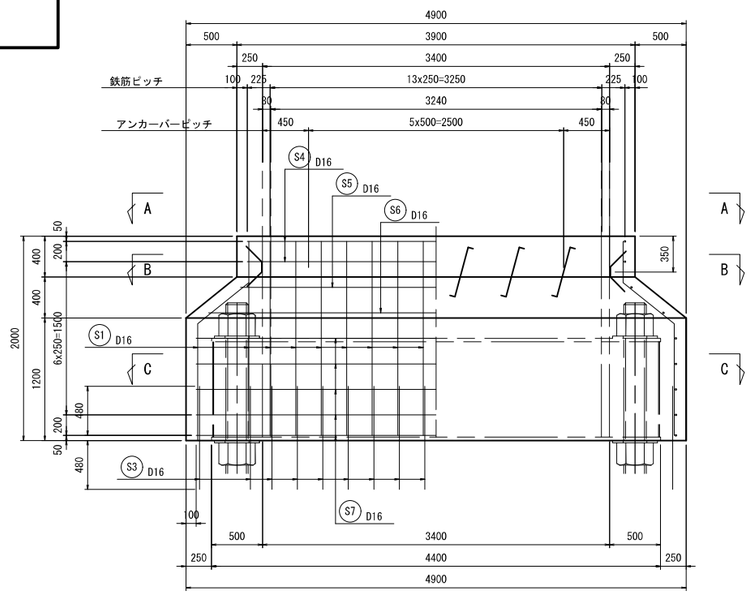
広島高速道路公社

DP8鋼製橋脚 根巻きコンクリート図(その1)

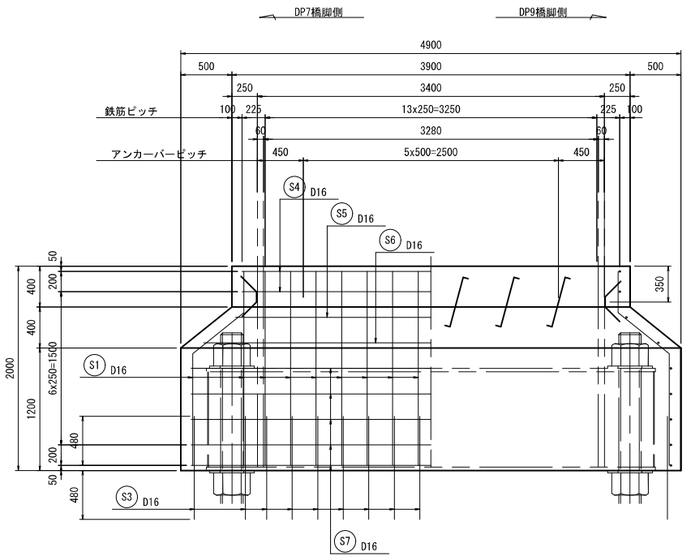
S=1:30

注記
1. 鉄筋の材質は、全てSD345とする。

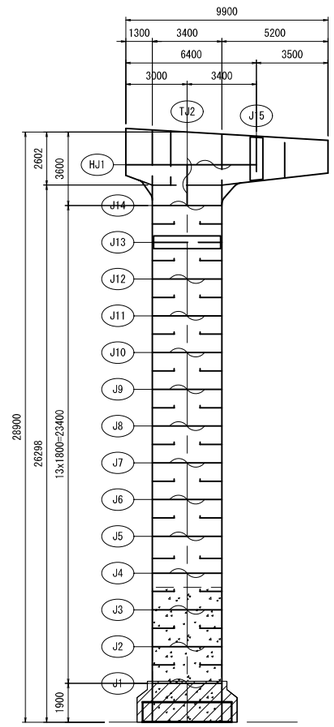
橋軸直角方向（ウェブ面）



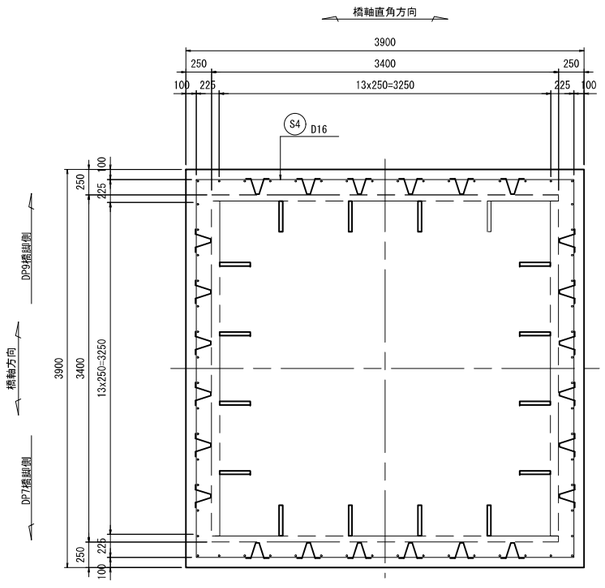
橋軸方向（フランジ面）



配置図

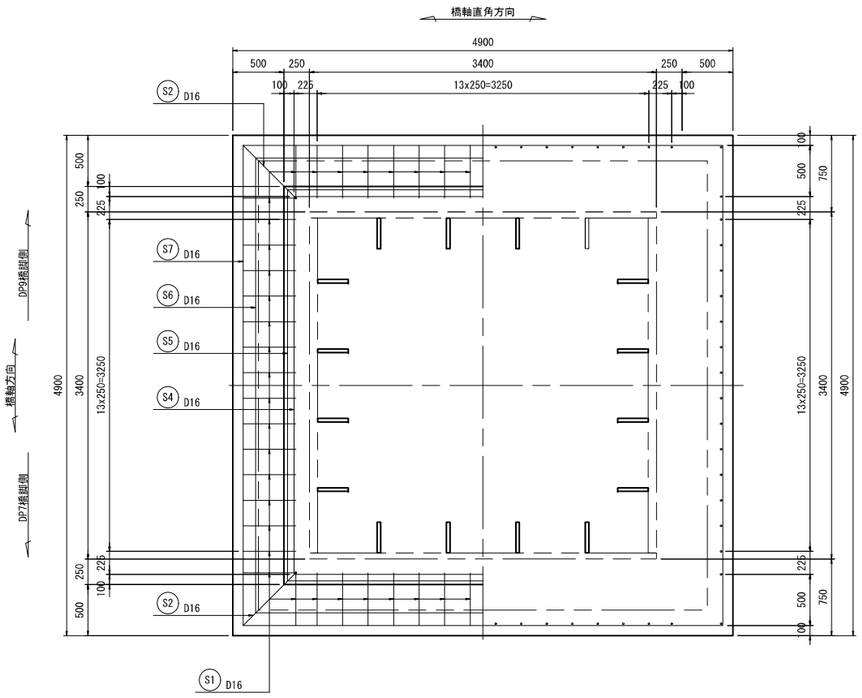


A － A



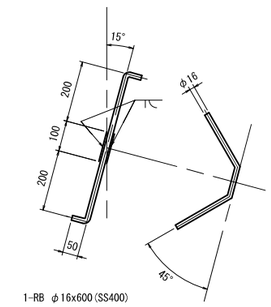
24-RB φ16x600(SS400)

B － B　　C － C



アンカーバー詳細図

S=1:10



1-RB φ16x600(SS400)
(現場にて曲げ上げる)

工事名	広島高速5号線温品ＪＣＴ鋼上部工事（２工区）		
図面番号	24 / 87	縮尺	図示
図面名	DP8鋼製橋脚 根巻きコンクリート図(その2)	番号	
路線名	広島高速５号線		

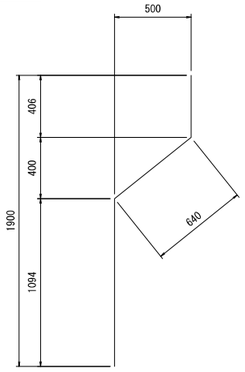
広島高速道路公社

DP8鋼製橋脚 根巻きコンクリート図(その2)

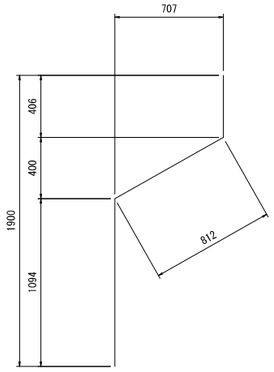
S=1:20

鉄筋加工図

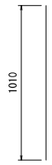
注記
1.鉄筋の材質は、全てSD345とする。



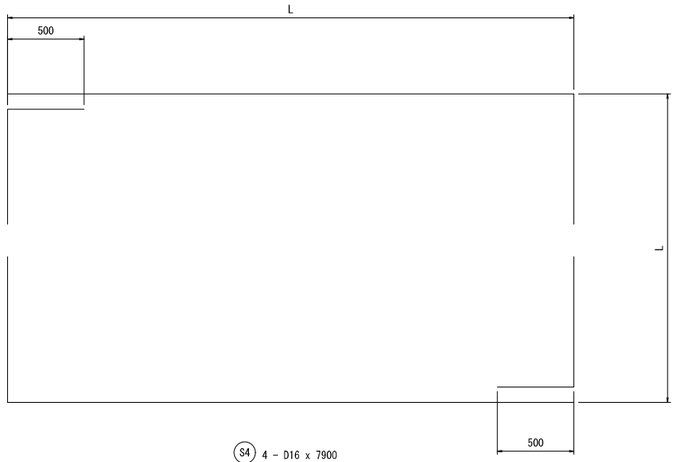
(S1) 64 - D16 x 2140



(S2) 4 - D16 x 2310



(S3) 68 - D16 x 1010



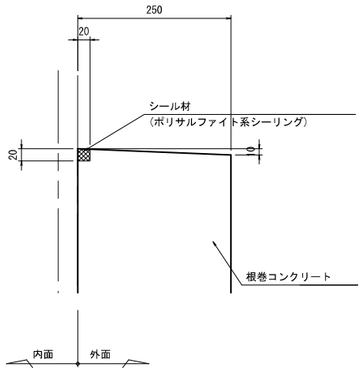
(S4) 4 - D16 x 7900
(S5) 2 - D16 x 8160
(S6) 2 - D16 x 9410
(S7) 10 - D16 x 9900

符号	L
S4	3700
S5	3830
S6	4455
S7	4700

鉄筋質量表

記号	材質	径	長さ	本数	単質	質量／本	質量	摘要
S1	SD345	D16	2140	64	1.56	3.34	214	
S2	SD345	D16	2310	4	1.56	3.60	14	
S3	SD345	D16	1010	68	1.56	1.58	107	
S4	SD345	D16	7900	4	1.56	12.32	49	
S5	SD345	D16	8160	2	1.56	12.73	25	
S6	SD345	D16	9410	2	1.56	14.68	29	
S7	SD345	D16	9900	10	1.56	15.44	154	
						小計	592 kg	
		鉄筋質量合計		D16	(SD345)		592 kg	
		根巻コンクリート体積			(σck = 21 N／mm2)		14.24 m3	
		型枠面積					39.72 m2	
		シール材体積			(ポリサルファイド系)		0.006 m3	
		中埋めコンクリート体積			(σck = 13.5 N／mm2)		68.43 m3	
		無収縮モルタル体積					3.19 m3	

根巻コンクリート上部詳細 S=1:5



工事名	広島高速5号線温品ＪＣＴ鋼上部工事（２工区）		
図面番号	25 / 87	縮尺	図示
図面名	DP8鋼製橋脚 中埋めコンクリート図	番号	
路線名	広島高速５号線		

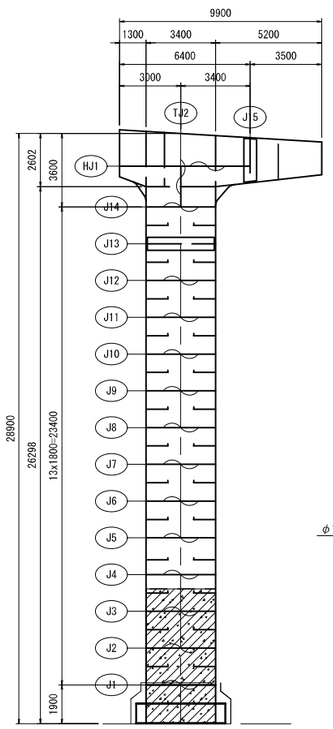
広島高速道路公社

DP8鋼製橋脚 中埋めコンクリート図　S=1:30

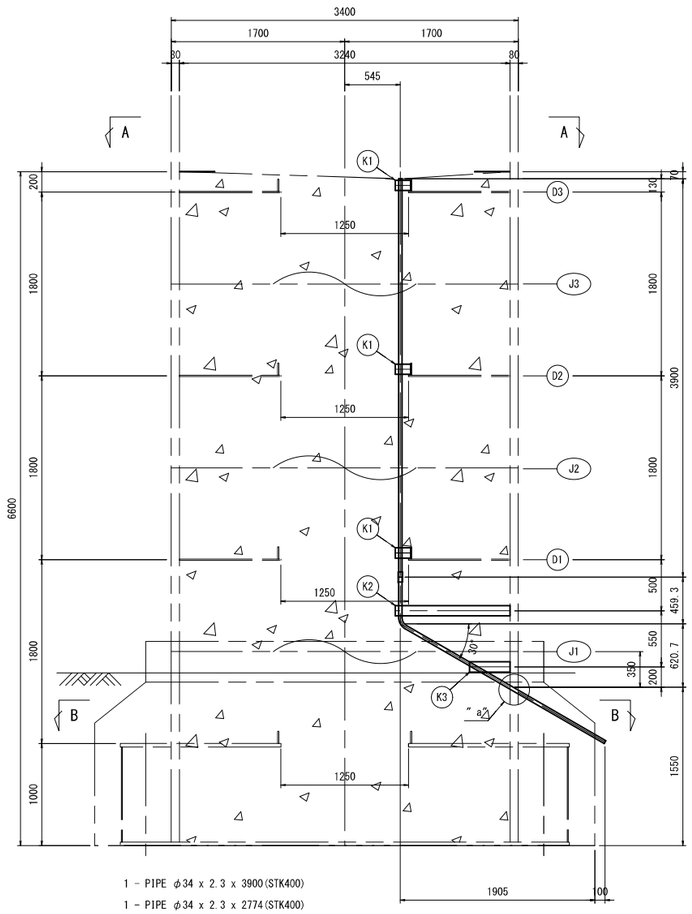
注記

1. 特記なき材質は、全てSM400Aとする。
2. 鋼管、Uボルト、ナットは、全て溶融亜鉛めっきとし、規格は全てJIS 8641 HDZT49とする。
3. ナットは、ゆるみ止めナットを使用する。

配置図

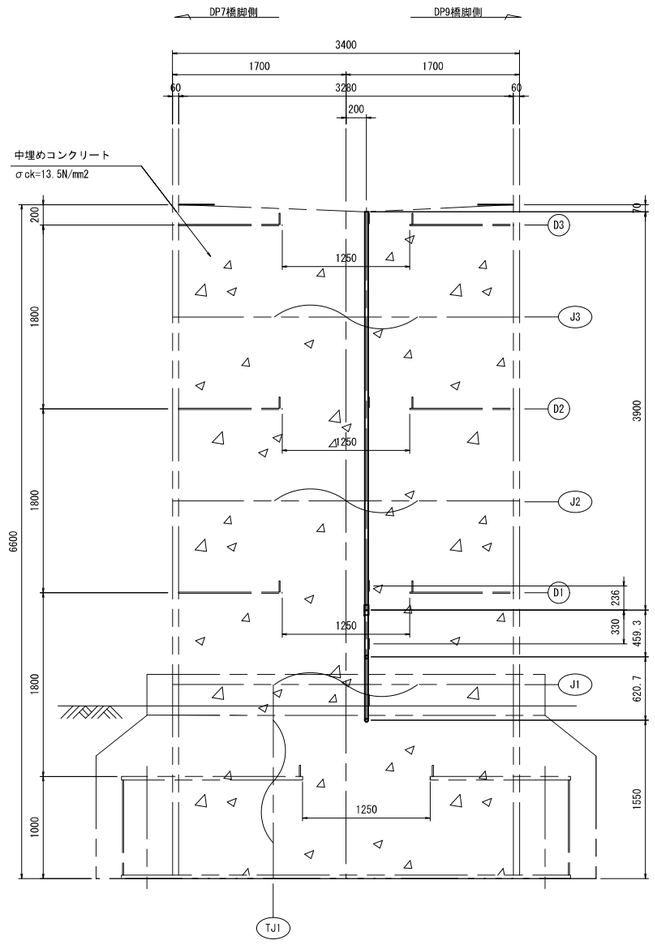


橋軸直角方向（ウェブ面）



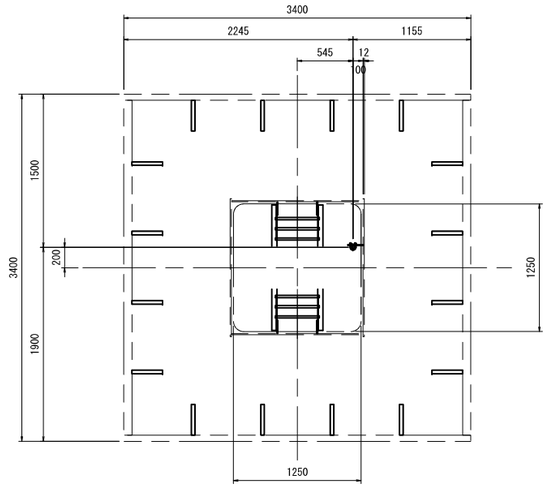
1 - PIPE φ34 x 2.3 x 3900(STK400)
1 - PIPE φ34 x 2.3 x 2774(STK400)

橋軸方向（フランジ面）

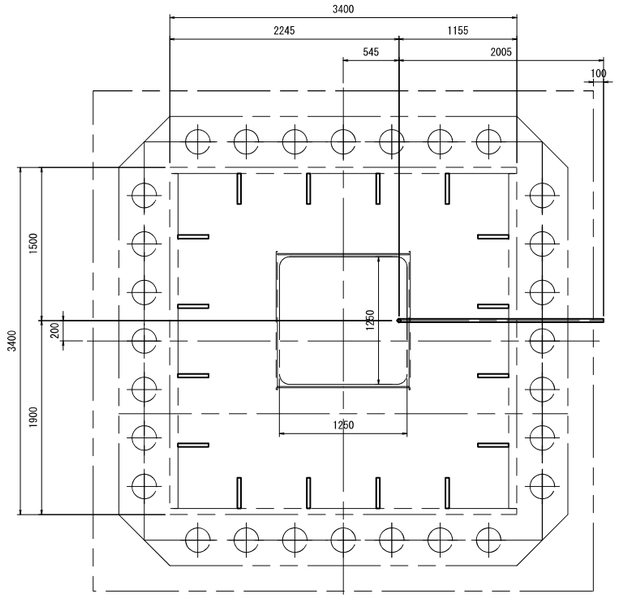


A - A

D1 ～ D3



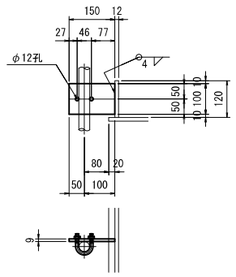
B - B



支持金具詳細図　S=1:10

K1

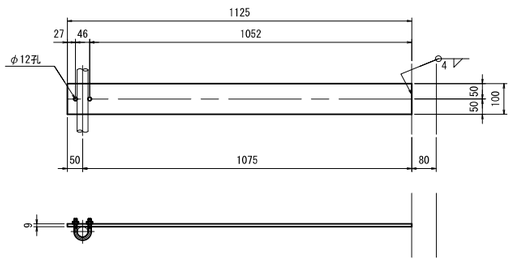
製作数 : 3



1 - PL 100 x 9 x 150
1 - U.BOLT 25(C形)(SS400)

K2

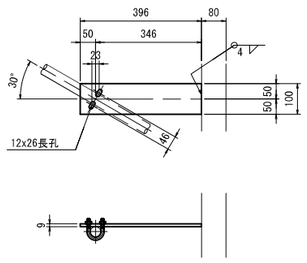
製作数 : 1



1 - PL 100 x 9 x 1125
1 - U.BOLT 25(C形)(SS400)

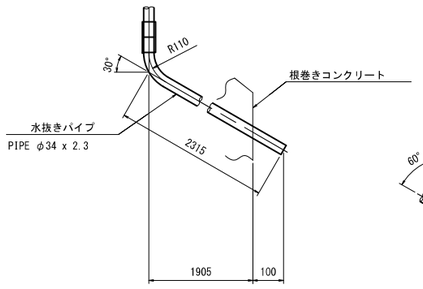
K3

製作数 : 1

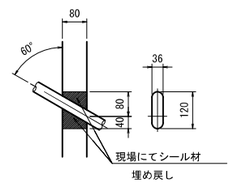


1 - PL 100 x 9 x 396
1 - U.BOLT 25(C形)(SS400)

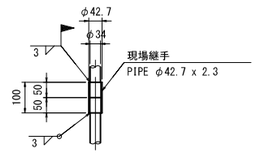
"a" 部詳細　S=1:10



本体孔明け形状



水抜きパイプ継手詳細



製作数 : 1
1 - PIPE φ42.7 x 2.3 x 100(STK400)

工事名	広島高速5号線温品ＪＣＴ鋼上部工事（２工区）		
図面番号	26 / 87	縮尺	図示
図面名	DP8鋼製橋脚 脚内梯子(その1)	番号	
路線名	広島高速５号線		

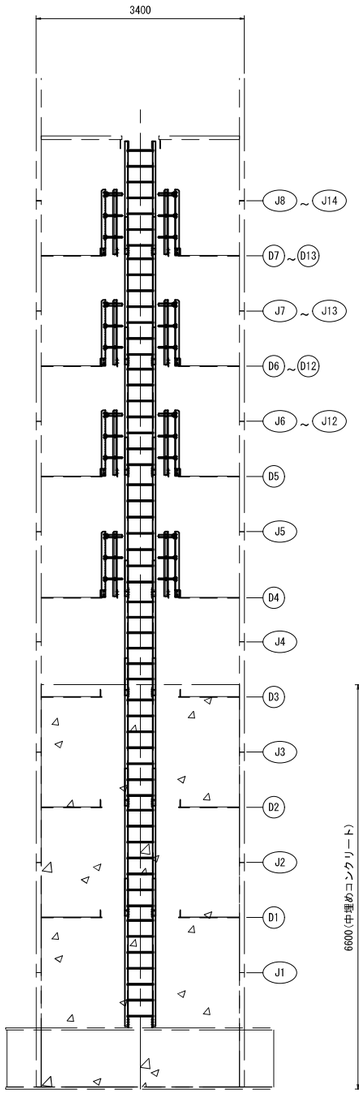
広島高速道路公社

DP8鋼製橋脚 脚内梯子(その1) S=1:30

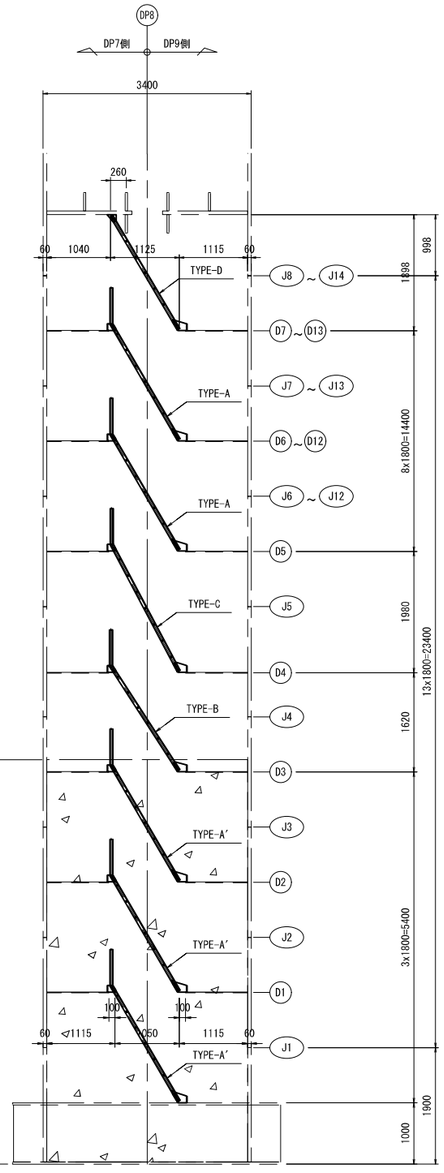
注記
1. 特記なき材質は、全てSM400Aとする。
2. 特記なきスカーラップは、全てR35とする。
3. 本体付き(※印)以外は、全て溶融亜鉛めっきとする。
   規格は、梯子及び手摺支柱は、JIS H8641 HDZT77とする。
   手摺パイプ、ボルトナット及び座金は、HDZT49とする。
4. ナットは、ゆるみ止めナットを使用する。
5. TYPE-A′は、架設時のみに使用するため、設計数量に含めない。
6. 各部詳細は、脚内梯子(その2)を参照のこと。

配置図 S=1:50

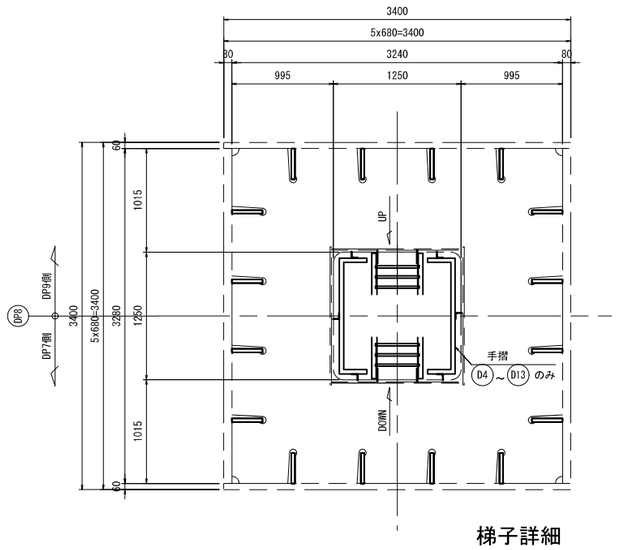
橋軸直角方向



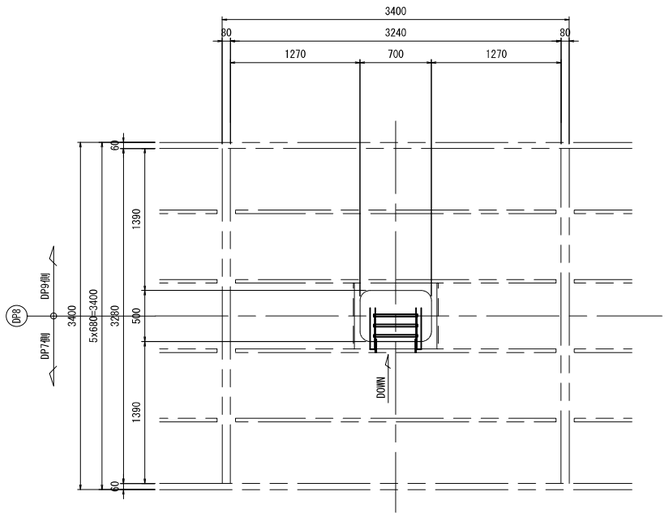
橋軸方向



ダイアフラム部平面図

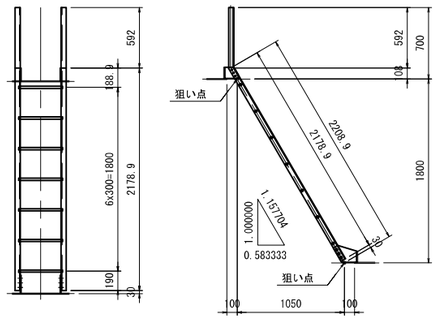


隅角部平面図



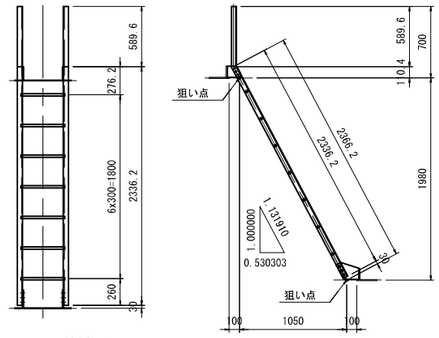
梯子詳細

TYPE-A <TYPE-A′>



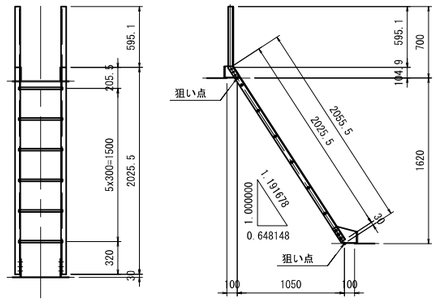
製作数：8<3>
※ 2 - PL 110 x 9 x 130
※ 2 - PL 165 x 9 x 228
2 - L 50 x 50 x 6 x 597(SS400)
2 - L 50 x 50 x 6 x 2184(SS400)
7 - RB φ22 x 430(SS400)
12 - BN M10 x 35(2-W付)

TYPE-B



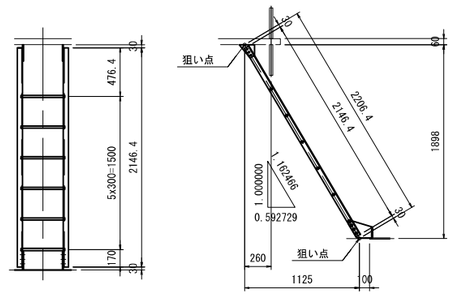
製作数：1
※ 2 - PL 110 x 9 x 130
※ 2 - PL 167 x 9 x 222
2 - L 50 x 50 x 6 x 595(SS400)
2 - L 50 x 50 x 6 x 2341(SS400)
7 - RB φ22 x 430(SS400)
12 - BN M10 x 35(2-W付)

TYPE-C



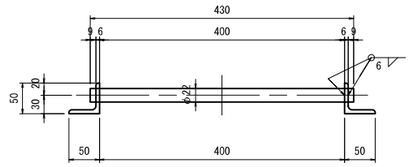
製作数：1
※ 2 - PL 110 x 9 x 130
※ 2 - PL 161 x 9 x 235
2 - L 50 x 50 x 6 x 601(SS400)
2 - L 50 x 50 x 6 x 2031(SS400)
6 - RB φ22 x 430(SS400)
12 - BN M10 x 35(2-W付)

TYPE-D



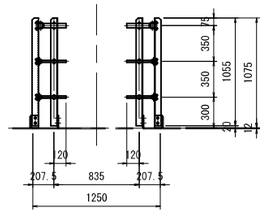
製作数：1
※ 2 - PL 131 x 9 x 150
※ 2 - PL 164 x 9 x 229
2 - L 50 x 50 x 6 x 2146(SS400)
6 - RB φ22 x 430(SS400)
12 - BN M10 x 35(2-W付)

ステップ詳細 S=1:5

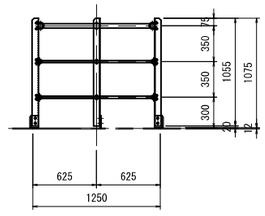


手摺詳細

橋軸直角方向



橋軸方向



製作数：10
※ 6 - PL 78 x 9 x 120
6 - L 65 x 65 x 6 x 1055(SS400)
2 - PIPE φ42.7 x 2.3 x 1135(STK400)
4 - PIPE φ42.7 x 2.3 x 270(STK400)
4 - PIPE φ21.7 x 1.9 x 1135(STK400)
8 - PIPE φ21.7 x 1.9 x 270(STK400)
12 - BN M16 x 45(2-W付)
6 - Uボルト 呼び 32C形(2-W付)
12 - Uボルト 呼び 15C形(2-W付)

工 事 名	広島高速5号線温品ＪＣＴ鋼上部工事（２工区）		
図面番号	27 ／ 87	縮　尺	図 示
図 面 名	DP8鋼製橋脚 脚内梯子(その2)	番号	
路線名	広島高速５号線		

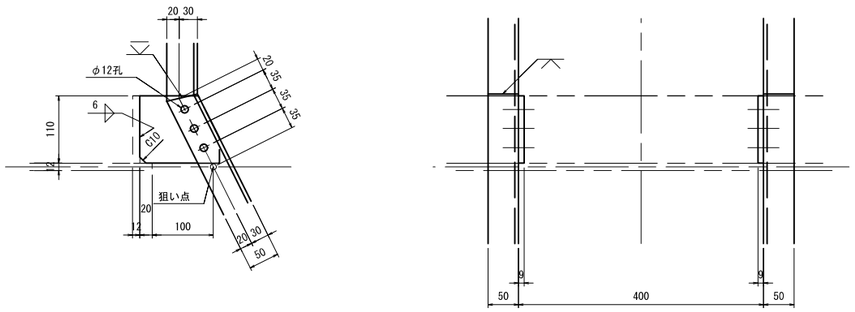
広島高速道路公社

DP8鋼製橋脚 脚内梯子(その2)　S=1:5

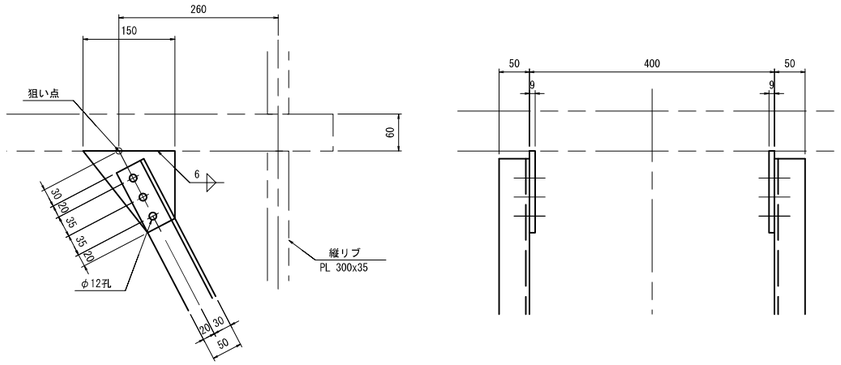
注記
1. 特記なき材質は、全てSM400Aとする。
2. 特記なきスカーラップは、全てR35とする。
3. 本体付き(※印)以外は、全て溶融亜鉛めっきとする。
   規格は、梯子及び手摺支柱は、JIS H8641 HDZT77とする。
   手摺パイプ、ボルトナット及び座金は、HDZT49とする。
4. ナットは、ゆるみ止めナットを使用する。
5. TYPE-A′は、架設時のみに使用するため、設計数量に
   含めない。

梯子取付部詳細

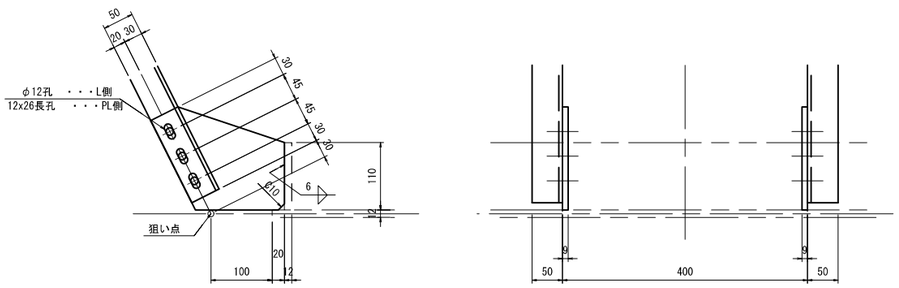
上部
(TYPE-Dを除く)



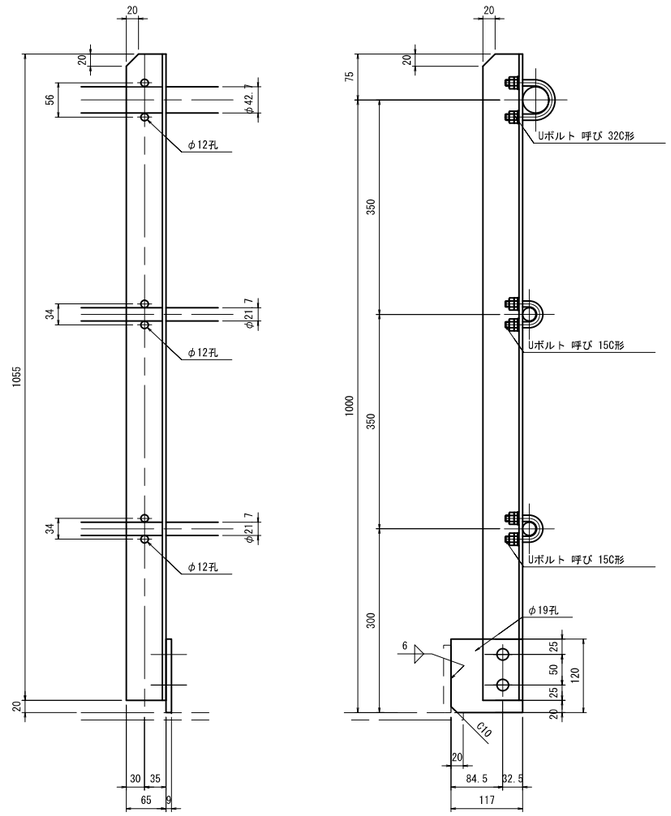
上部
(TYPE-Dのみ)



下部



手摺支柱詳細



工事名	広島高速5号線温品ＪＣＴ鋼上部工事（２工区）		
図面番号	28 / 87	縮　尺	図示
図面名	DP8鋼製橋脚 下部工排水装置図(その1)	番号	
路線名	広島高速５号線		

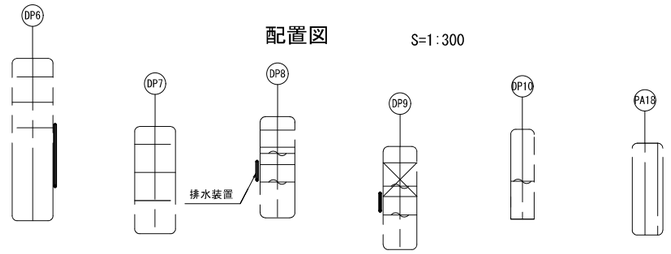
広島高速道路公社

DP8鋼製橋脚 下部工排水装置図(その1)　S=1:60

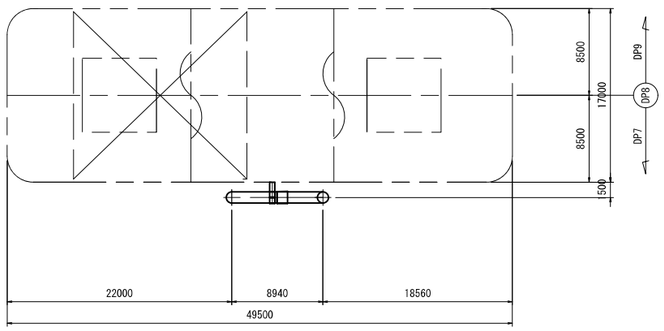
注記)

1. 特記なき材質は、全てSS400とする。
2. Uボルト付き以外のナットは、全て弛み止め
   ナットを使用すること。
3. ※印以外の鋼材は、全て溶融亜鉛めっきとする。
   亜鉛の付着量は、JIS H8641 HDZT77とする。
   但し、板厚3.2mm以上6mm未満の鋼材は、HDZT63とし、
   ボルト・ナットおよび板厚3.2mm未満の
   鋼材は、HDZT49とする。

配置図　S=1:300



平面図



直　管

(1) 1 - VP 200A x 4000(スリーブ付)
(2) 1 - VP 200A x 3600(スリーブ付)
(3) 4 - VP 200A x 3800(スリーブ付)

加工管

各1 - (LA1), (LA2)
1 - (M1)

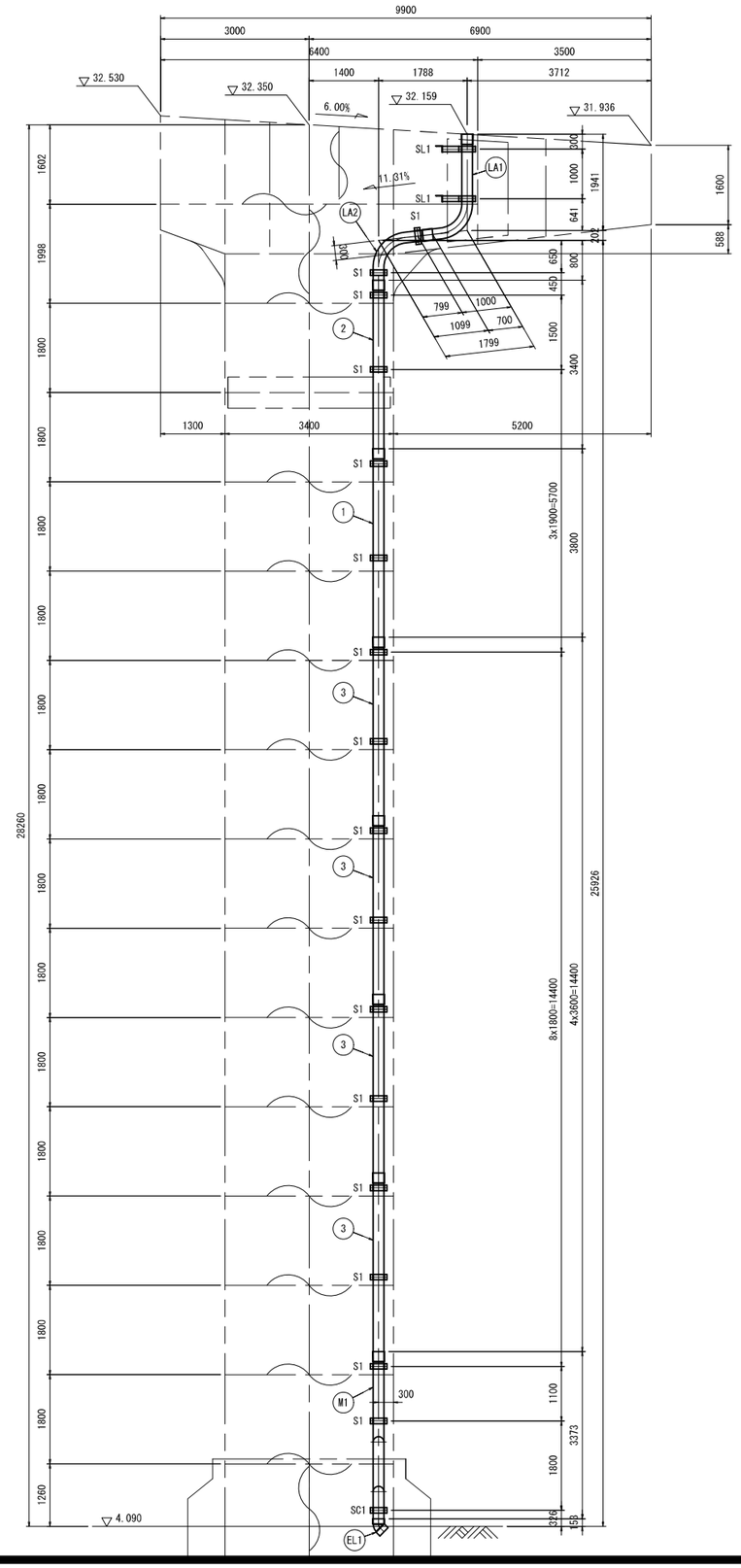
支持金具

16 - (S1)
2 - (SL1)
1 - (SC1)

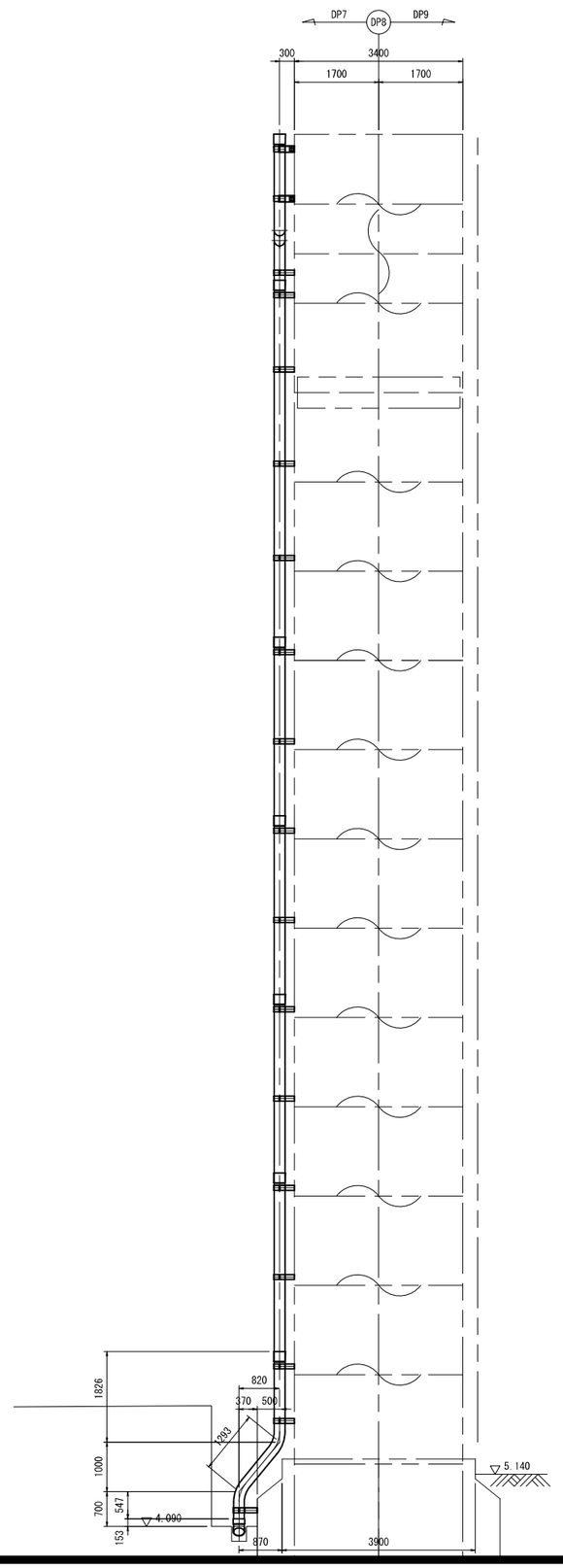
エルボ管

1 - (EL1)

正面図



側面図



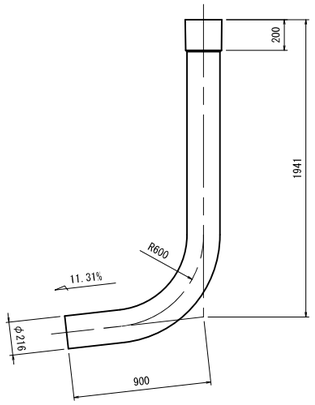
工 事 名	広島高速5号線温品ＪＣＴ鋼上部工事（２工区）		
図面番号	29 ／ 87	縮　尺	図 示
図 面 名	DP8鋼製橋脚 下部工排水装置図(その2)	番号	
路線名	広島高速５号線		
広島高速道路公社			

DP8鋼製橋脚 下部工排水装置図(その2)　S=1:20

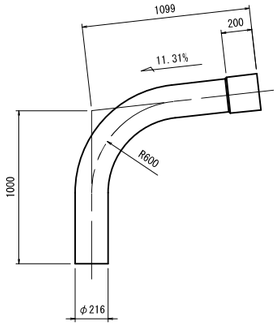
注記)
1. 特記なき材質は、全てSS400とする。
2. Uボルト付き以外のナットは、全て弛み止めナットを使用すること。
3. ※印以外の鋼材は、全て溶融亜鉛めっきとする。
亜鉛の付着量は、JIS H8641 HDZT77とする。
但し、板厚3.2mm以上6mm未満の鋼材は、HDZT63とし、
ボルト・ナットおよび板厚3.2mm未満の
鋼材は、HDZT49とする。

加工管詳細

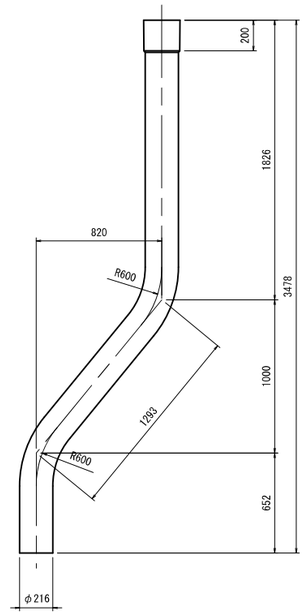
LA1
製作数:1



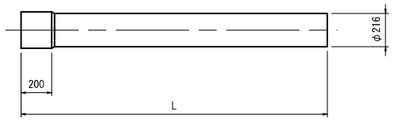
LA2
製作数:1



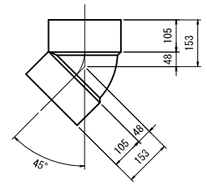
M1
製作数:1



直管詳細
VP200A
(直管の寸法および個数は各図面参照のこと。)

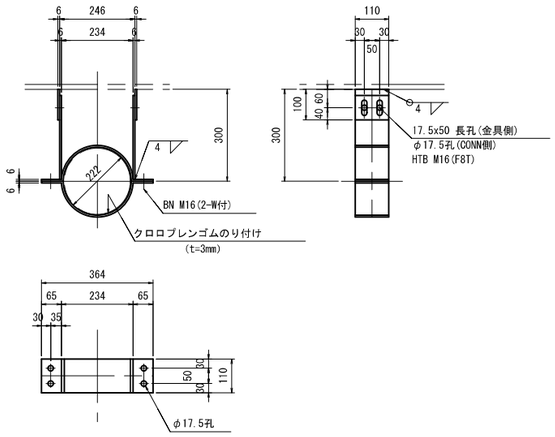


45° エルボ管　S=1:10
EL1(200A用)
製作数:1



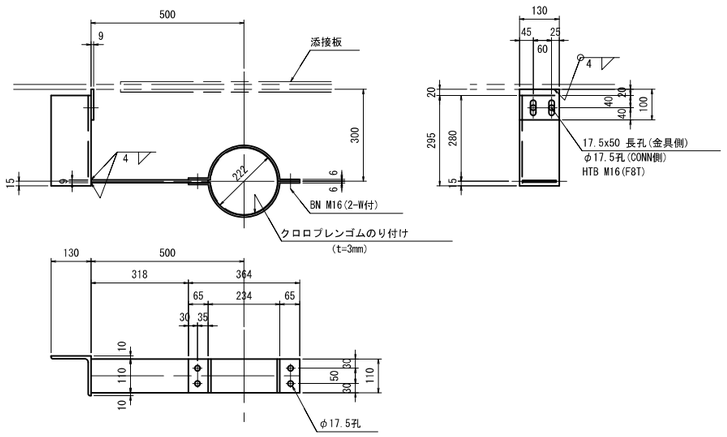
支持金具詳細　S=1:10

S1
製作数:16



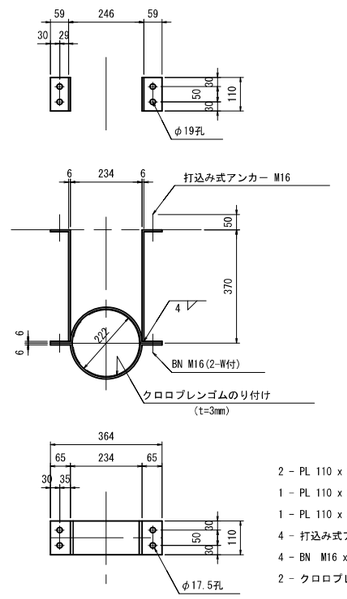
※ 2 - PL 110 x 6 x 100(SM400A)
2 - PL 110 x 6 x 274(SM400A)
1 - PL 110 x 6 x 488(SM400A)
1 - PL 110 x 6 x 488
4 - BN M16 x 40(2-W付)
4 - HTB M16 x 45(F8T)
2 - クロロプレンゴム 110 x 3 x 338

SL1
製作数:2



※ 1 - PL 100 x 9 x 130(SM400A)
1 - L 130 x 130 x 9 x 295
1 - PL 110 x 9 x 383(SM400A)
2 - PL 110 x 6 x 483
2 - BN M16 x 50(2-W付)
2 - BN M16 x 40(2-W付)
2 - HTB M16 x 45(F8T)
2 - クロロプレンゴム 110 x 3 x 333

SC1
製作数:1



2 - PL 110 x 6 x 423(SM400A)
1 - PL 110 x 6 x 488(SM400A)
1 - PL 110 x 6 x 488
4 - 打込み式アンカー M16 x 100
4 - BN M16 x 40(2-W付)
2 - クロロプレンゴム 110 x 3 x 338

工事名	広島高速5号線温品ＪＣＴ鋼上部工事（２工区）		
図面番号	30 / 87	縮尺	図示
図面名	DP8鋼製橋脚 下部工検査路図(その1)	番号	
路線名	広島高速５号線		

広島高速道路公社

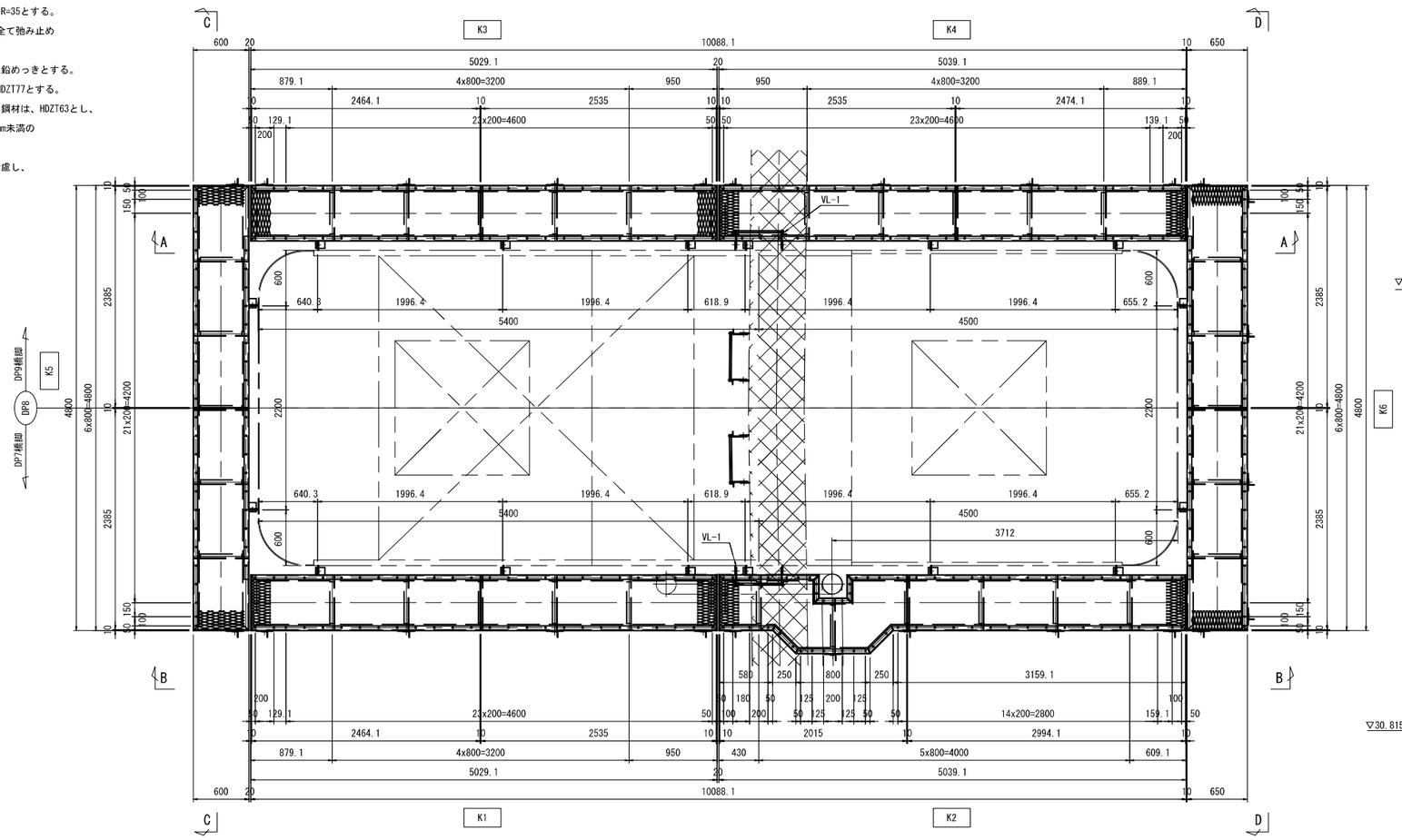
DP8鋼製橋脚 下部工検査路図(その1)

S=1:30

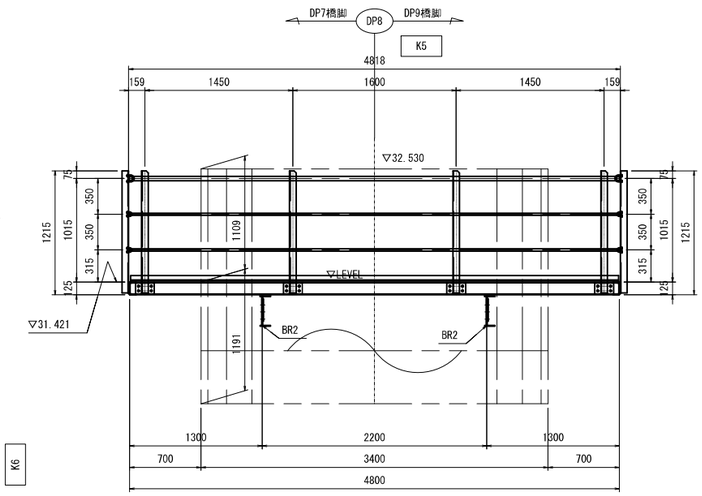
注 記

1. 特記なき材質は、全てSS400とする。
2. 特記なきスカーラップは、全てR=35とする。
3. Uボルト付き以外のナットは、全て弛み止めナットを使用すること。
4. ※印以外の鋼材は、全て溶融亜鉛めっきとする。
   亜鉛の付着量は、JIS H8641 HDZT77とする。
   但し、板厚3.2mm以上6mm未満の鋼材は、HDZT63とし、
   ボルト・ナットおよび板厚3.2mm未満の
   鋼材は、HDZT49とする。
5. ボルト孔は、めっき付着量を考慮し、
   ボルト径+3mmを標準とする。

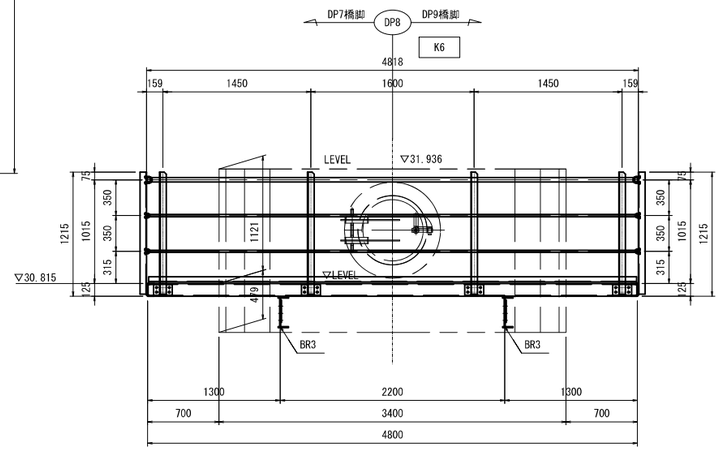
平 面 図



C － C



D － D



K1,K3,<K4>製作数:各1(?廊)

2 - CH 125 x 65 x 6 x 8 x 5029<5039>
2 - CH 125 x 65 x 6 x 8 x 600
5 - L 50 x 50 x 6 x 588
2 - L 50 x 50 x 6 x 5009<5019>
1 - エキスパンドメタル 590 x 2464<2474>(XG11)
1 - エキスパンドメタル 590 x 2535(XG11)
52 - BN M12 x 50(1-W,1-TW付)
3 - PL 100 x 9 x 580(SM400A)
6 - BN M16 x 45(2-W付)

K2製作数:1(?廊)

2 - CH 125 x 65 x 6 x 8 x 600
1 - CH 125 x 65 x 6 x 8 x 1080
2 - CH 125 x 65 x 6 x 8 x 315
1 - CH 125 x 65 x 6 x 8 x 430
1 - CH 125 x 65 x 6 x 8 x 3659
1 - CH 125 x 65 x 6 x 8 x 607
2 - CH 125 x 65 x 6 x 8 x 381
1 - CH 125 x 65 x 6 x 8 x 800
1 - CH 125 x 65 x 6 x 8 x 3186
6 - L 50 x 50 x 6 x 588
1 - L 50 x 50 x 6 x 1063
2 - L 50 x 50 x 6 x 286
1 - L 50 x 50 x 6 x 386
1 - L 50 x 50 x 6 x 3642
1 - L 50 x 50 x 6 x 585
2 - L 50 x 50 x 6 x 363
1 - L 50 x 50 x 6 x 789
1 - L 50 x 50 x 6 x 3164
1 - エキスパンドメタル 840 x 2015(XG11)
1 - エキスパンドメタル 590 x 2994(XG11)
64 - BN M12 x 50(1-W,1-TW付)
3 - PL 100 x 9 x 580(SM400A)
6 - BN M16 x 45(2-W付)

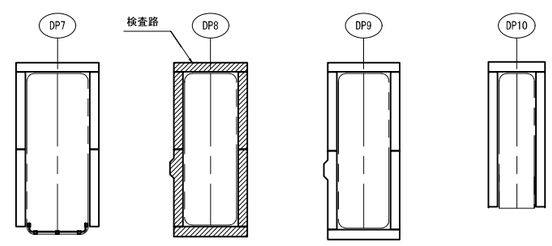
K5製作数:1(?廊)

2 - CH 125 x 65 x 6 x 8 x 4800
2 - CH 125 x 65 x 6 x 8 x 600
5 - L 50 x 50 x 6 x 588
1 - L 50 x 50 x 6 x 3700
1 - L 50 x 50 x 6 x 4780
2 - エキスパンドメタル 590 x 2385(XG11)
44 - BN M12 x 50(1-W,1-TW付)
2 - PL 100 x 9 x 580(SM400A)
4 - BN M16 x 45(2-W付)

K6製作数:1(?廊)

2 - CH 125 x 65 x 6 x 8 x 4800
2 - CH 125 x 65 x 6 x 8 x 650
5 - L 50 x 50 x 6 x 638
1 - L 50 x 50 x 6 x 3700
1 - L 50 x 50 x 6 x 4780
2 - エキスパンドメタル 640 x 2385(XG11)
44 - BN M12 x 50(1-W,1-TW付)
2 - PL 100 x 9 x 630(SM400A)
4 - BN M16 x 45(2-W付)

配 置 図



工事名	広島高速5号線温品ＪＣＴ鋼上部工事（２工区）		
図面番号	31 / 87	縮　尺	図示
図面名	DP8鋼製橋脚 下部工検査路図(その2)	番号	
路線名	広島高速５号線		

広島高速道路公社

DP8鋼製橋脚 下部工検査路図(その2)　S=1:30

注 記

1. 特記なき材質は、全てSS400とする。
2. 特記なきスカーラップは、全てR=35とする。
3. Uボルト付き以外のナットは、全て弛み止め
   ナットを使用すること。
4. ※印以外の鋼材は、全て溶融亜鉛めっきとする。
   亜鉛の付着量は、JIS H8641 HDZT77とする。
   但し、板厚3.2mm以上6mm未満の鋼材は、HDZT63とし、
   ボルト・ナットおよび板厚3.2mm未満の
   鋼材は、HDZT49とする。
5. ボルト孔は、めっき付着量を考慮し、
   ボルト径+3mmを標準とする。

K1,K3<K4>製作数:各1(手すり)

1 - PIPE φ42.7 x 2.3 x 5029<4979>(STK400)
2 - PIPE φ21.7 x 1.9 x 5029<4979>(STK400)
4 - L 65 x 65 x 6 x 1195
4 - PL 105 x 9 x 185(SM400A)
16 - BN M16 x 45(2-W付)
4 - Uボルト 呼び径 32C(2-W付)
8 - Uボルト 呼び径 15C(2-W付)

K2製作数:1(手すり)

1 - PIPE φ42.7 x 2.3 x 594(STK400)
2 - PIPE φ42.7 x 2.3 x 371(STK400)
1 - PIPE φ42.7 x 2.3 x 808(STK400)
1 - PIPE φ42.7 x 2.3 x 3173(STK400)
2 - PIPE φ21.7 x 1.9 x 585(STK400)
4 - PIPE φ21.7 x 1.9 x 363(STK400)
2 - PIPE φ21.7 x 1.9 x 808(STK400)
2 - PIPE φ21.7 x 1.9 x 3164(STK400)
5 - L 65 x 65 x 6 x 1195
5 - PL 105 x 9 x 185(SM400A)
20 - BN M16 x 45(2-W付)
5 - Uボルト 呼び径 32C(2-W付)
10 - Uボルト 呼び径 15C(2-W付)

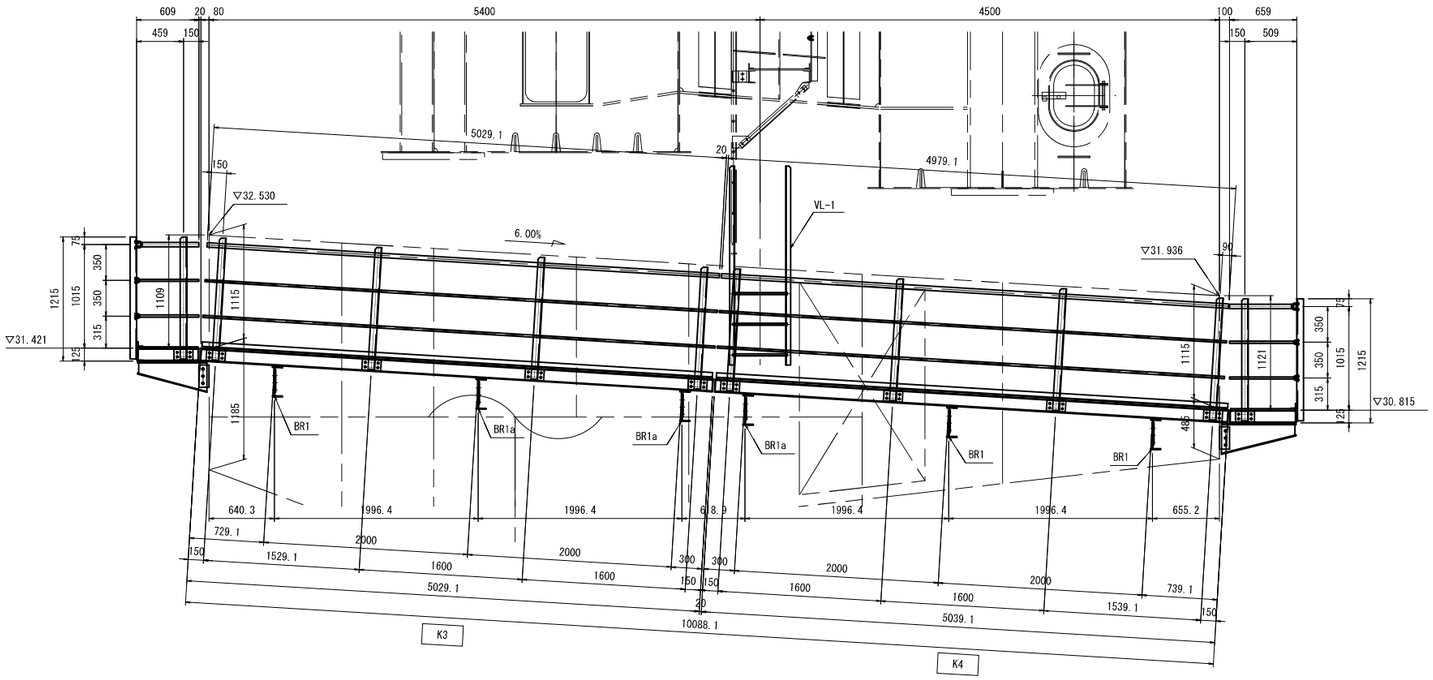
K5製作数:1(手すり)

1 - PIPE φ42.7 x 2.3 x 4818(STK400)
2 - PIPE φ42.7 x 2.3 x 609(STK400)
2 - PIPE φ21.7 x 1.9 x 4818(STK400)
4 - PIPE φ21.7 x 1.9 x 609(STK400)
6 - L 65 x 65 x 6 x 1195
6 - PL 105 x 9 x 185(SM400A)
24 - BN M16 x 45(2-W付)
6 - Uボルト 呼び径 32C(2-W付)
12 - Uボルト 呼び径 15C(2-W付)

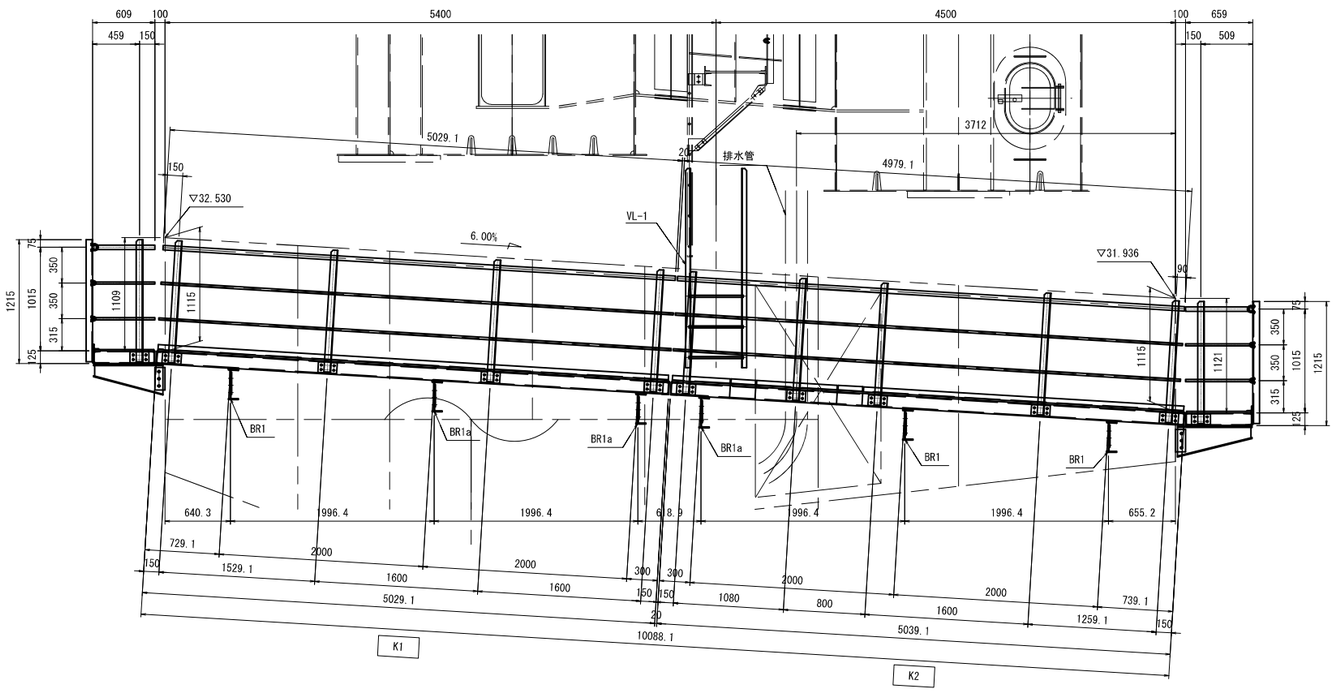
K6製作数:1(手すり)

1 - PIPE φ42.7 x 2.3 x 4818(STK400)
2 - PIPE φ42.7 x 2.3 x 659(STK400)
2 - PIPE φ21.7 x 1.9 x 4818(STK400)
4 - PIPE φ21.7 x 1.9 x 659(STK400)
6 - L 65 x 65 x 6 x 1195
6 - PL 105 x 9 x 185(SM400A)
24 - BN M16 x 45(2-W付)
6 - Uボルト 呼び径 32C(2-W付)
12 - Uボルト 呼び径 15C(2-W付)

A － A

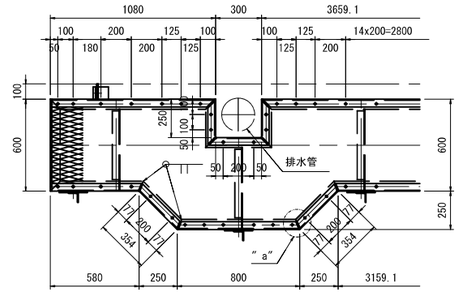


B － B



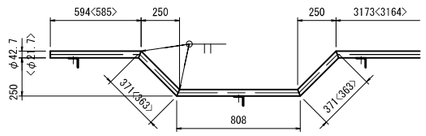
排水切欠き部　S=1:20

歩廊平面

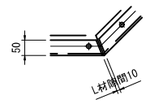


手摺平面

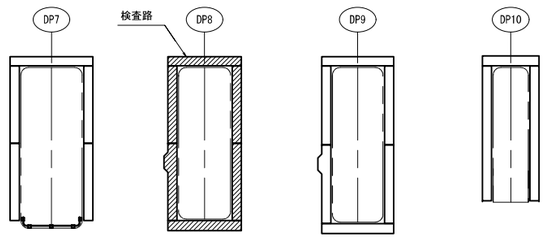
上段・<中段・下段>



"a" 部詳細　S=1:10



配 置 図



工事名	広島高速5号線温品ＪＣＴ鋼上部工事（２工区）		
図面番号	32 / 87	縮尺	図示
図面名	DP8鋼製橋脚 下部工検査路図(その3)	番号	
路線名	広島高速５号線		

広島高速道路公社

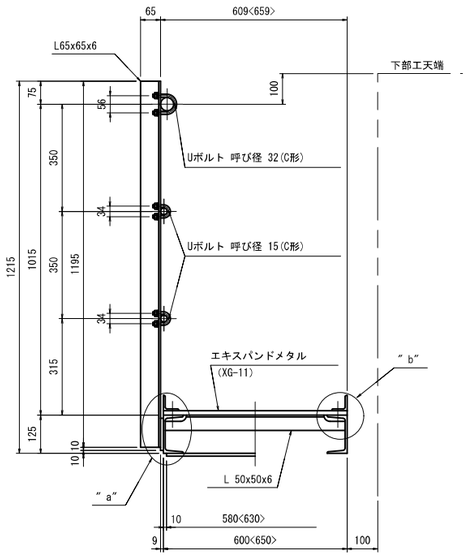
注 記

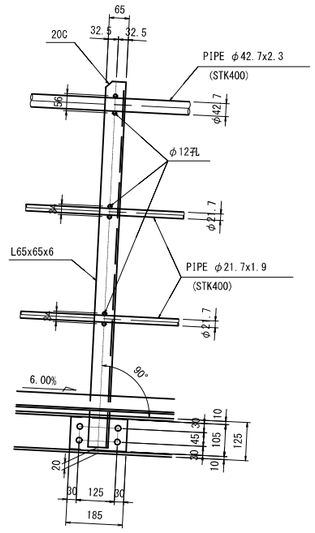
1. 特記なき材質は、全てSS400とする。
2. 特記なきスカーラップは、全てR=35とする。
3. Uボルト付き以外のナットは、全て弛み止め
   ナットを使用すること。
4. ※印以外の鋼材は、全て溶融亜鉛めっきとする。
   亜鉛の付着量は、JIS H8641 HDZT77とする。
   但し、板厚3.2mm以上6mm未満の鋼材は、HDZT63とし、
   ボルト・ナットおよび板厚3.2mm未満の
   鋼材は、HDZT49とする。
5. ボルト孔は、めっき付着量を考慮し、
   ボルト径+3mmを標準とする。

DP8鋼製橋脚 下部工検査路図(その3)　S=1:10

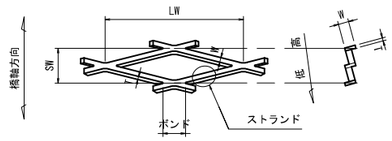
共通詳細(1/2)

手すり詳細

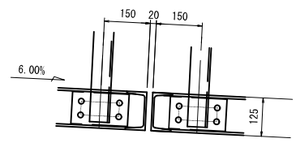




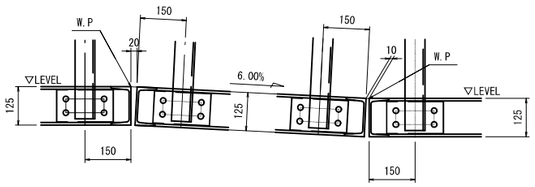
エキスパンドメタル取付方向



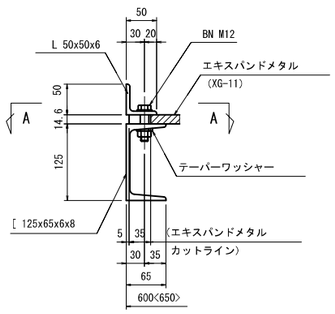
掛違い部



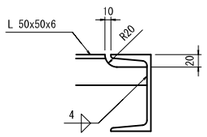
端 部



″a″部詳細　S=1:5

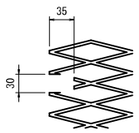


″b″部詳細　S=1:5



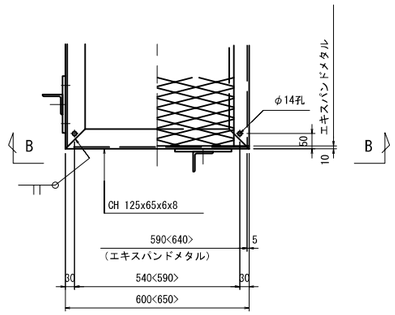
A － A

(ボルトとエキスパンドメタルが
干渉する場合の切欠き)



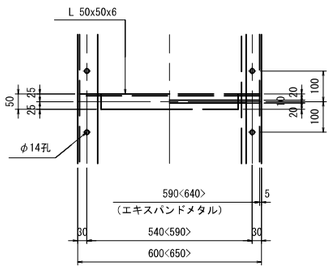
歩廊詳細

端 部

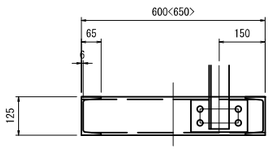


床材分割部

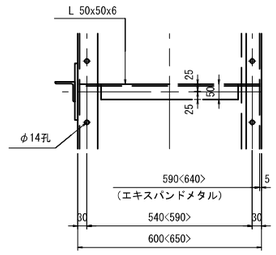
下 面　　上 面



B － B

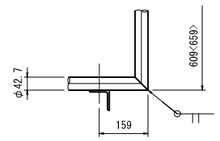


中 間 部

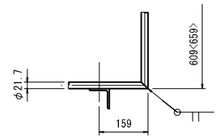


手摺コーナー部詳細

上段

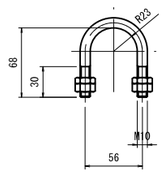


中段・下段

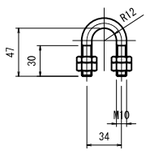


手摺取付ボルト詳細　S=1:3

Uボルト 32C型
φ42.7用



Uボルト 15C型
φ21.7用



工事名	広島高速5号線温品ＪＣＴ鋼上部工事（２工区）		
図面番号	33 / 87	縮　尺	図 示
図面名	DP8鋼製橋脚 下部工検査路図(その4)	番号	
路線名	広島高速５号線		

広島高速道路公社

注 記

1. 特記なき材質は、全てSS400とする。
2. 特記なきスカーラップは、全てR=35とする。
3. Uボルト付き以外のナットは、全て弛み止め
   ナットを使用すること。
4. ※印以外の鋼材は、全て溶融亜鉛めっきとする。
   亜鉛の付着量は、JIS H8641 HDZT77とする。
   但し、板厚3.2mm以上6mm未満の鋼材は、HDZT63とし、
   ボルト・ナットおよび板厚3.2mm未満の
   鋼材は、HDZT49とする。
5. ボルト孔は、めっき付着量を考慮し、
   ボルト径+3mmを標準とする。

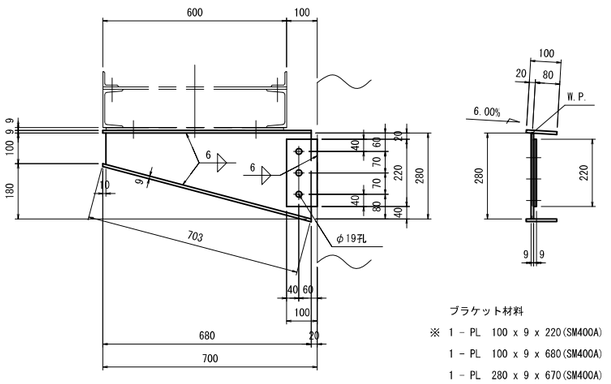
DP8鋼製橋脚 下部工検査路図(その4)　S=1:10

共通詳細(2/2)

ブラケット詳細

BR1

製作数:6

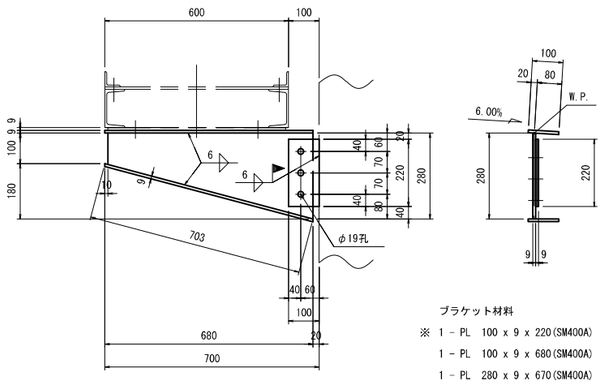


ブラケット材料

※ 1 - PL 100 x 9 x 220(SM400A)
1 - PL 100 x 9 x 680(SM400A)
1 - PL 280 x 9 x 670(SM400A)
1 - PL 100 x 9 x 703(SM400A)
3 - HTB M16 x 50(F8T)

BR1a

製作数:6

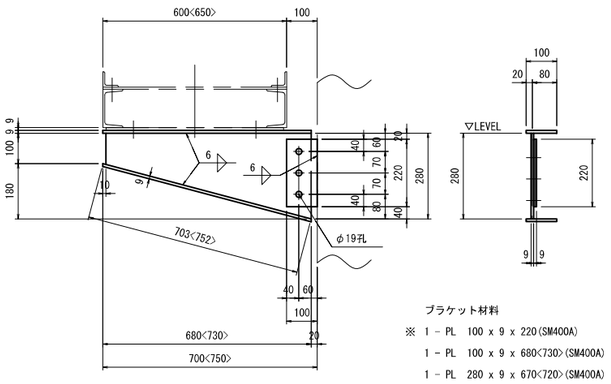


ブラケット材料

※ 1 - PL 100 x 9 x 220(SM400A)
1 - PL 100 x 9 x 680(SM400A)
1 - PL 280 x 9 x 670(SM400A)
1 - PL 100 x 9 x 703(SM400A)
3 - HTB M16 x 50(F8T)

BR2<BR3>

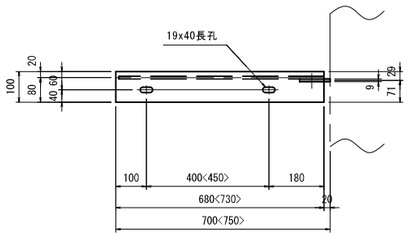
製作数:2<2>



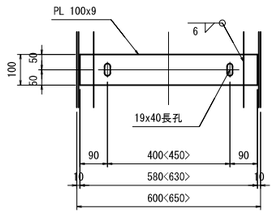
ブラケット材料

※ 1 - PL 100 x 9 x 220(SM400A)
1 - PL 100 x 9 x 680<730>(SM400A)
1 - PL 280 x 9 x 670<720>(SM400A)
1 - PL 100 x 9 x 703<752>(SM400A)
3 - HTB M16 x 50(F8T)

上フランジ平面



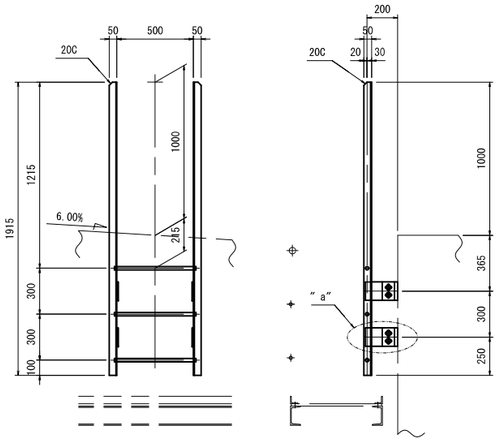
検査路取付板詳細



梯子詳細　S=1:20

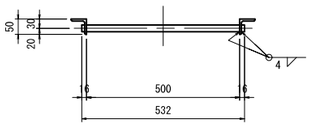
VL-1

(製作数:2)



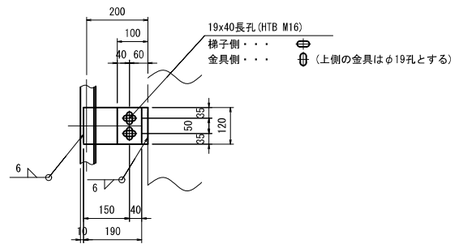
2 - L 50 x 50 x 6 x 1915
3 - RB φ22 x 532
※ 4 - CONN PL 100 x 9 x 120(SM400A)
4 - PL 120 x 9 x 190(SM400A)
8 - HTB M16 x 50(F8T)

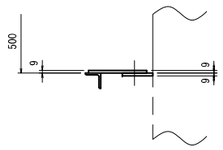
ステップ詳細



" a" 部詳細

(梯子取付金具詳細)



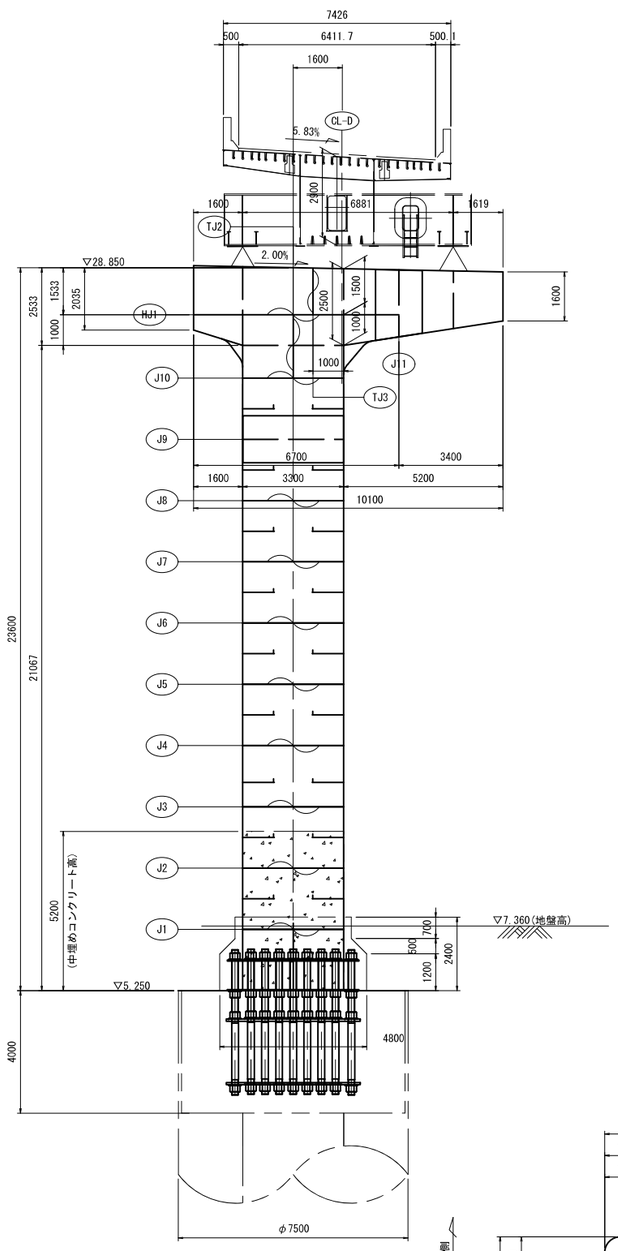


工事名	広島高速5号線温品ＪＣＴ鋼上部工事（２工区）		
図面番号	34 / 87	縮尺	図示
図面名	DP9鋼製橋脚 構造一般図	番号	
路線名	広島高速５号線		

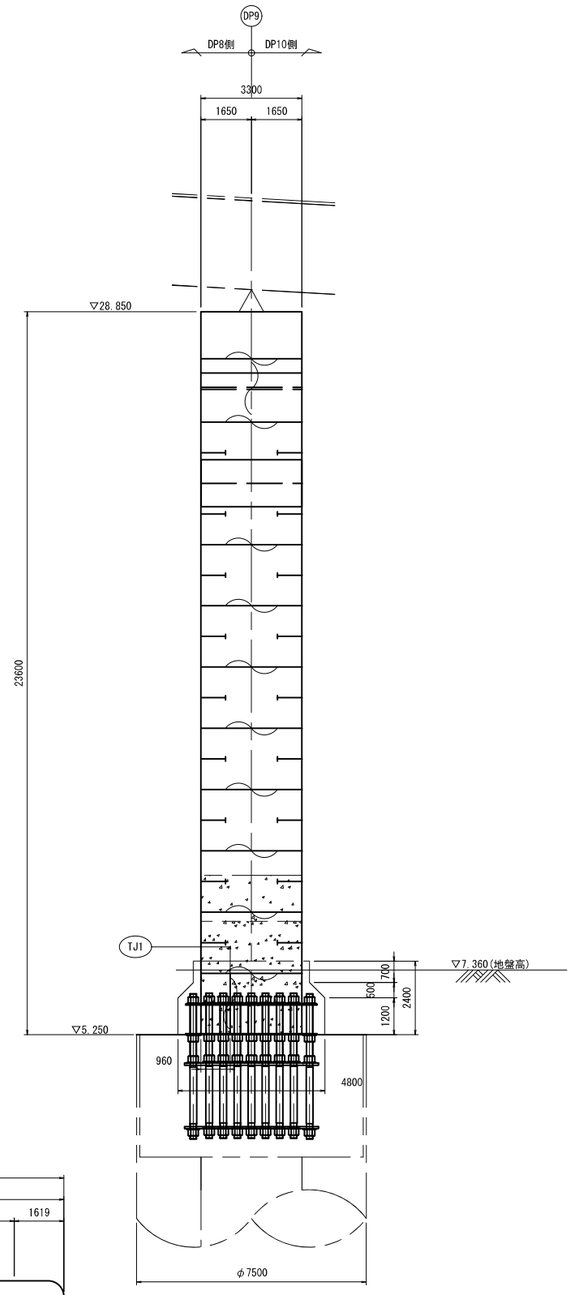
広島高速道路公社

DP9鋼製橋脚 構造一般図 S=1:100

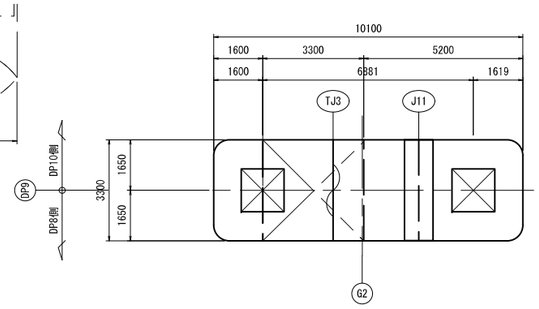
正面図



側面図

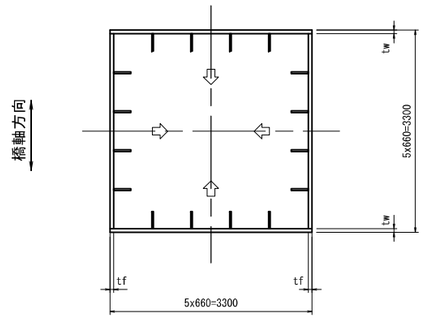


平面図



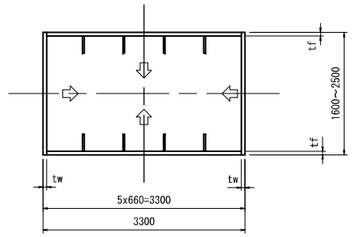
柱断面 S=1:50

直角方向



梁断面 S=1:50

橋軸方向



設計条件

項目	条件
形式	鋼製Ｔ型橋脚（角柱）
柱高	柱 23.600 m
上部工形式	5径間連続鋼床版箱桁橋
設計震度	Ⅱ種&Ⅲ種地盤混在 B2地域(広島県)
	Kh = 0.26（レベル1-Ⅲ種地盤）
	Kh = 1.30（レベル2-タイプⅠ-Ⅱ種地盤）
	Kh = 1.49（レベル2-タイプⅡ-Ⅱ種地盤）
衝突荷重	橋軸方向：1000kN 橋軸直角方向：500kN
温度変化	±30℃
使用鋼材	SBHS500 , SM490Y , SM400 , SS400 , S10T
支承条件	固定支承
継手形式	柱 … 溶接継手（ただし隅角直下の継手はボルト継手）
	梁 … ボルト継手
適用基準	道路橋示方書・同解説 Ⅰ～Ⅴ （平成29年 11月 日本道路協会）

構造高表

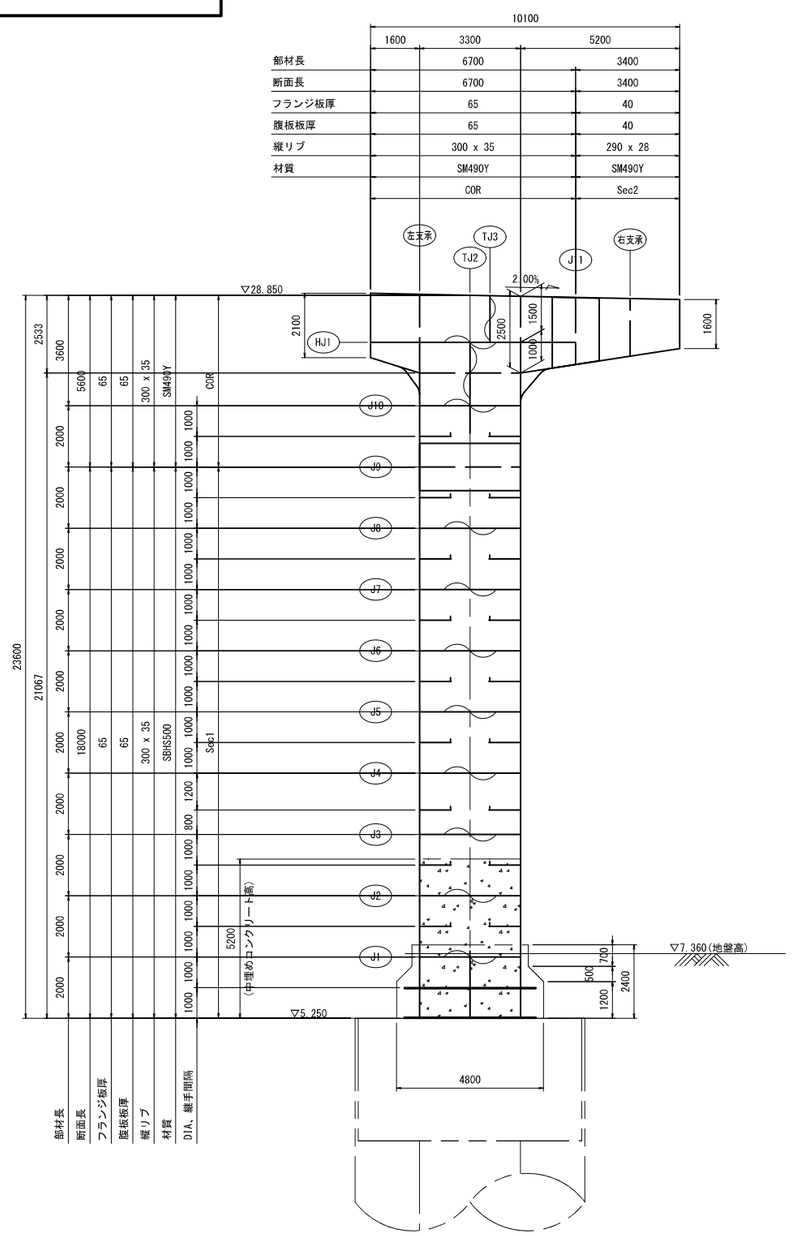
		DP9		
		左支承	G2	右支承
路面計画高	Z1		32.532	
舗装厚	t1		0.080	
鋼床版厚	t2		0.012	
腹板高	h1		2.900	
主桁下面高	Z2	29.538	29.540	29.542
SOLE PL厚	t3	0.053		0.052
支承高	h2	0.522		0.522
支承下面高	Z3	28.963		28.968
調整モルタル厚	t4	0.032		0.032
台座高	h3	0.048		0.191
下部工天端高	Z4	28.883		28.745

工 事 名	広島高速5号線温品ＪＣＴ鋼上部工事（２工区）		
図面番号	35 ／ 87	縮 尺	図 示
図 面 名	DP9鋼製橋脚 断面構成図	番号	
路線名	広島高速５号線		

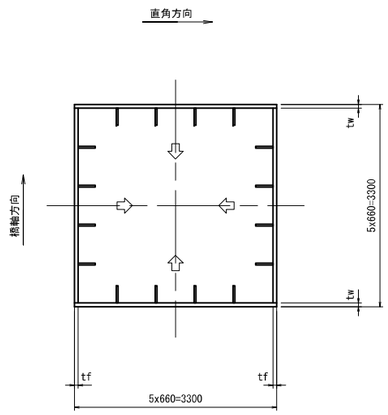
広島高速道路公社

DP9鋼製橋脚 断面構成図

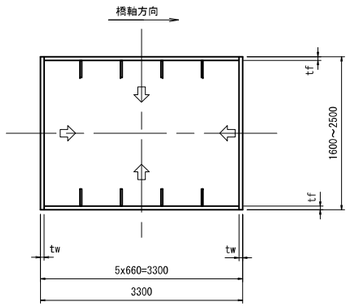
正 面 図 S=1:100



柱断面 S=1:50



梁断面 S=1:50



一般部

			柱				梁	
			Sec1			C0R	Sec2	
断面計算位置			基部			J9	J11	SR
照査状況			静的解析	L1動解	L2動解	静的解析	静的解析	静的解析
格点番号			1101	-	-	1123	1205	1206
使用断面 (mm)	フランジ	フランジ	3170x65			3170x65	3220x40	
		縦リブ	4-300x35			4-300x35	4-290x28	
	腹板	腹板	3300x65			3300x65	(2188～1600)x40	
		縦リブ	4-300x35			4-300x35	-	
材質			SBHS500			SM490Y	SM490Y	
垂直応力度 (N/mm2)	フランジ	σ	-184	-89	-400	-120	142	-39
		σd	329	428	475	244	272	269
	腹板	σ	-186	-91	-400	-120	142	40
		σd	329	428	475	244	272	272
せん断応力度 (N/mm2)	フランジ	τ	12	8	41	44	73	82
	腹板	τ	13	7	41	35	73	82
	τd		207	244	271	157	157	157
合成応力度		F	0.26	0.05	0.72	0.23	0.34	0.27
		Fd	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20
安定照査	横倒座屈	K	0.52	0.22	0.85	0.45	0.44	0.15
		Kd	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
	局部座屈	C	0.52	0.22	0.85	0.45	0.44	0.14
		Ccal	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
決定ケース			D+EQ2Y			D+EQ2Y	D+EQ2Y	
決定要因			安定照査			Sec1板厚	板厚差	

隅角部

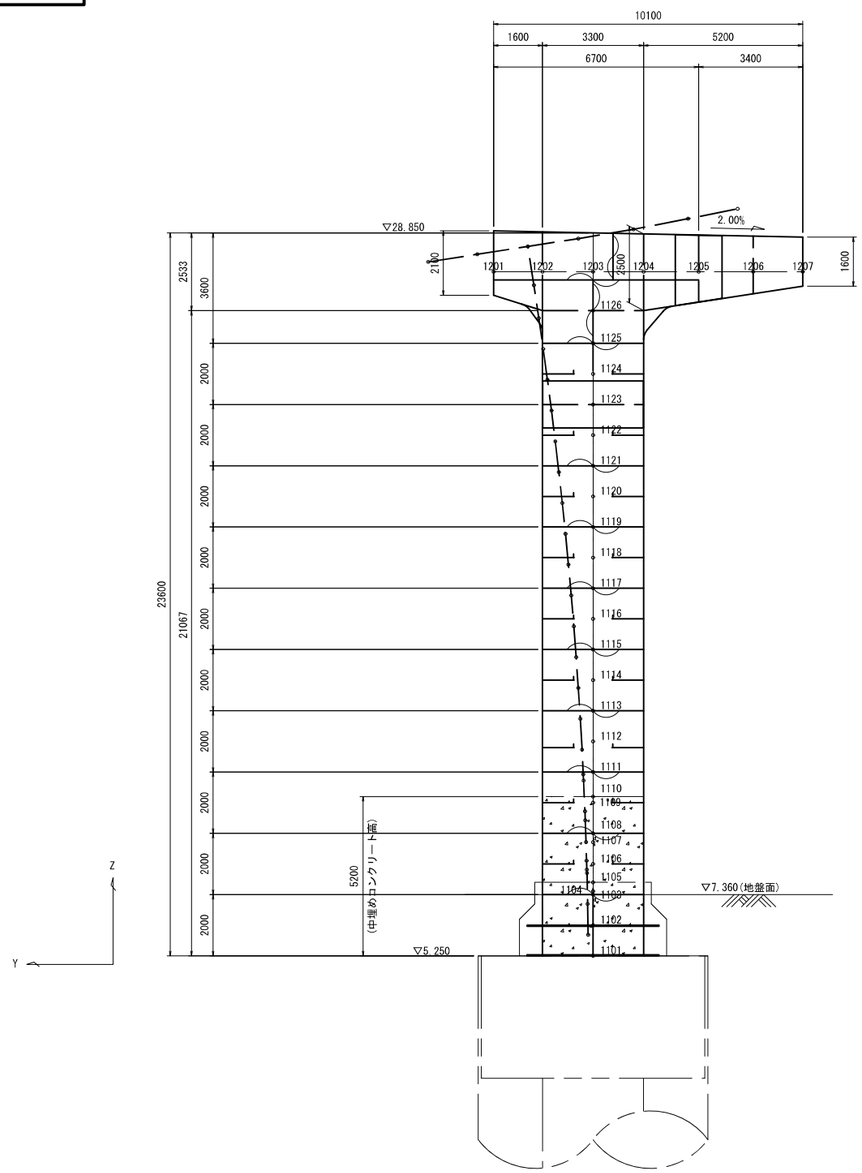
				C0R		
				左梁	右梁	下柱
照査点番号				1202	1204	1126
使用断面 (mm)	フランジ厚			65	65	65
	腹板厚			65	65	65
	使用材料			SM490Y		
垂直応力度 (N/mm2)	σ			54	114	108
	σd			272	272	272
せん断応力度 (N/mm2)	フランジ	着目点c	τc	38	38	37
			τd	157	157	122
		着目点e	τe	39	41	37
			τd	157	157	122
	腹板	着目点c	τc	57	58	57
			τd	122	122	122
		着目点e	τe	57	58	57
			τd	122	122	122
合成応力度	フランジ	着目点c	照査値	0.06	0.06	0.12
			許容値	1.00	1.00	1.00
		着目点e	照査値	0.06	0.20	0.21
			許容値	1.00	1.00	1.00
	腹板	着目点c	照査値	0.13	0.14	0.13
			許容値	1.00	1.00	1.00
		着目点e	照査値	0.17	0.31	0.29
			許容値	1.00	1.00	1.00
決定荷重ケース				D+EQ2Y		
決定要因				Sec1板厚		

工 事 名	広島高速5号線温品ＪＣＴ鋼上部工事（２工区）		
図面番号	36 / 87	縮　尺	図 示
図 面 名	DP9鋼製橋脚 キャンバー図	番号	
路線名	広島高速５号線		

広島高速道路公社

DP9鋼製橋脚 キャンバー図　S=1:100

正 面 図



Y方向　(単位:mm)

格点番号	鋼自重	上部工死荷重反力	変位合計	製作そり
1101	-0.1	-1.0	-1.1	1.1
1102	-0.1	-1.1	-1.2	1.2
1103	-0.1	-1.3	-1.3	1.3
1104	-0.1	-1.3	-1.4	1.4
1105	-0.1	-1.3	-1.4	1.4
1106	-0.1	-1.5	-1.5	1.5
1107	-0.1	-1.6	-1.7	1.7
1108	-0.1	-1.7	-1.8	1.8
1109	-0.1	-2.0	-2.1	2.1
1110	-0.1	-2.0	-2.1	2.1
1111	-0.1	-2.3	-2.4	2.4
1112	-0.1	-2.6	-2.8	2.8
1113	-0.2	-3.1	-3.2	3.2
1114	-0.2	-3.5	-3.7	3.7
1115	-0.2	-4.0	-4.2	4.2
1116	-0.2	-4.5	-4.8	4.8
1117	-0.3	-5.1	-5.4	5.4
1118	-0.3	-5.7	-6.0	6.0
1119	-0.3	-6.4	-6.7	6.7
1120	-0.4	-7.1	-7.4	7.4
1121	-0.4	-7.8	-8.2	8.2
1122	-0.5	-8.6	-9.1	9.1
1123	-0.5	-9.4	-9.9	9.9
1124	-0.5	-10.3	-10.9	10.9
1125	-0.6	-11.2	-11.8	11.8
1126	-0.6	-12.3	-12.9	12.9
1201	-0.7	-13.5	-14.2	14.2
1202	-0.7	-13.5	-14.2	14.2
1203	-0.7	-13.5	-14.2	14.2
1204	-0.7	-13.5	-14.2	14.2
1205	-0.7	-13.5	-14.2	14.2
1206	-0.7	-13.5	-14.2	14.2
1207	-0.7	-13.5	-14.2	14.2

※ たわみは荷重係数を乗じていない特性値

Z方向　(単位:mm)

格点番号	鋼自重	上部工死荷重反力	変位合計	製作そり
1101	-1.8	-2.8	-4.6	4.6
1102	-1.9	-2.8	-4.6	4.6
1103	-1.9	-2.8	-4.7	4.7
1104	-1.9	-2.8	-4.7	4.7
1105	-1.9	-2.8	-4.7	4.7
1106	-1.9	-2.9	-4.7	4.7
1107	-1.9	-2.9	-4.8	4.8
1108	-1.9	-2.9	-4.8	4.8
1109	-1.9	-2.9	-4.8	4.8
1110	-1.9	-2.9	-4.9	4.9
1111	-1.9	-3.0	-4.9	4.9
1112	-1.9	-3.0	-4.9	4.9
1113	-2.0	-3.0	-5.0	5.0
1114	-2.0	-3.1	-5.0	5.0
1115	-2.0	-3.1	-5.1	5.1
1116	-2.0	-3.1	-5.1	5.1
1117	-2.0	-3.2	-5.2	5.2
1118	-2.0	-3.2	-5.2	5.2
1119	-2.0	-3.2	-5.2	5.2
1120	-2.0	-3.3	-5.3	5.3
1121	-2.0	-3.3	-5.3	5.3
1122	-2.0	-3.3	-5.4	5.4
1123	-2.0	-3.4	-5.4	5.4
1124	-2.0	-3.4	-5.4	5.4
1125	-2.0	-3.5	-5.5	5.5
1126	-2.0	-3.5	-5.5	5.5
1201	-1.9	-0.3	-2.1	2.1
1202	-1.9	-1.9	-3.8	3.8
1203	-2.0	-3.5	-5.5	5.5
1204	-2.1	-5.1	-7.2	7.2
1205	-2.2	-7.0	-9.3	9.3
1206	-2.3	-9.2	-11.5	11.5
1207	-2.4	-11.3	-13.7	13.7

工 事 名	広島高速5号線温品ＪＣＴ鋼上部工事（２工区）		
図面番号	37 ／ 87	縮　尺	図 示
図 面 名	DP9鋼製橋脚 共通詳細図(その1)	番号	
路線名	広島高速５号線		

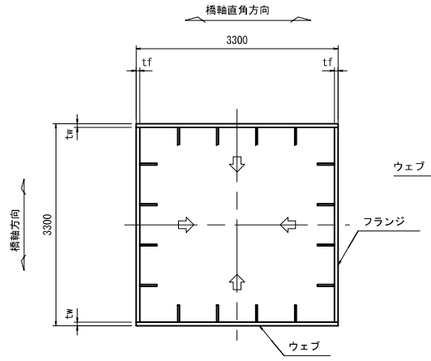
広島高速道路公社

DP9鋼製橋脚 共通詳細図(その1)　S=1:10

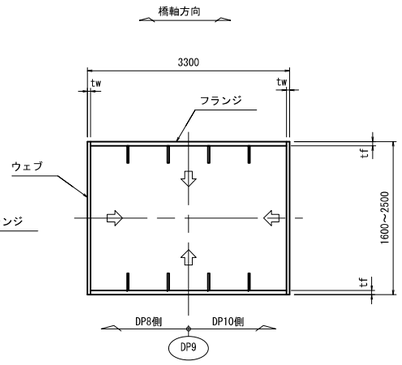
注記
1. 特記なき材質は、全てSM400Aとする。
2. ※印部材は、溶融亜鉛めっきとする。
亜鉛の付着量は、JIS H8641 HDZT77とする。
但し、板厚3.2mm以上6mm未満の鋼材は、HDZT63とし、
ボルト・ナットおよび板厚3.2mm未満の
鋼材は、HDZT49とする。

基本寸法図　S=1:50

柱断面図

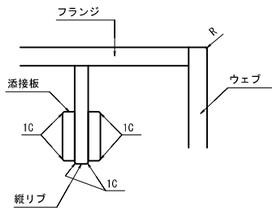


梁断面図



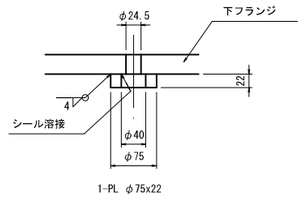
⇦ 印は、板厚変化方向を示す。

角部の面取り詳細



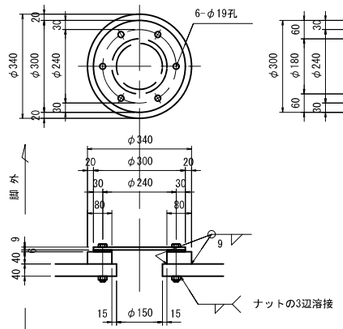
注）1. 柱の根巻きコンクリート部のR仕上げは不要。
2. R仕上げは2mm程度とする。

水抜き詳細　S=1:5



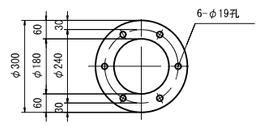
1-PL φ75x22

ハンドホール詳細

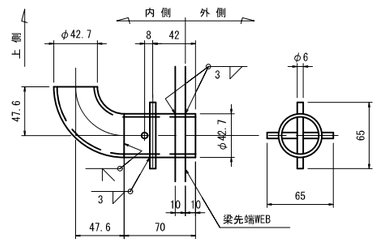


1-COV PL φ300 x 9(SS400)
1-DOUB PL φ340 x 40(SM490YB)
6-BN M16 x 120(SS400)(亜鉛メッキ)
1-Gum φ300 x 6(クロロプレンゴム)

ゴムパッキン詳細

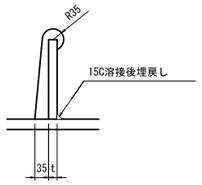


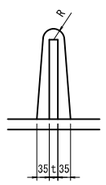
梁先端換気孔詳細　S=1:3
(製作数 2組)



※ 1 - PIPE 32A x 70 (SGP)
※ 1 - PIPE 32A (90° ロングエルボ)
※ 2 - RB φ6 x 65 (SS400)

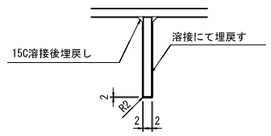
縦リブスカーラップ詳細





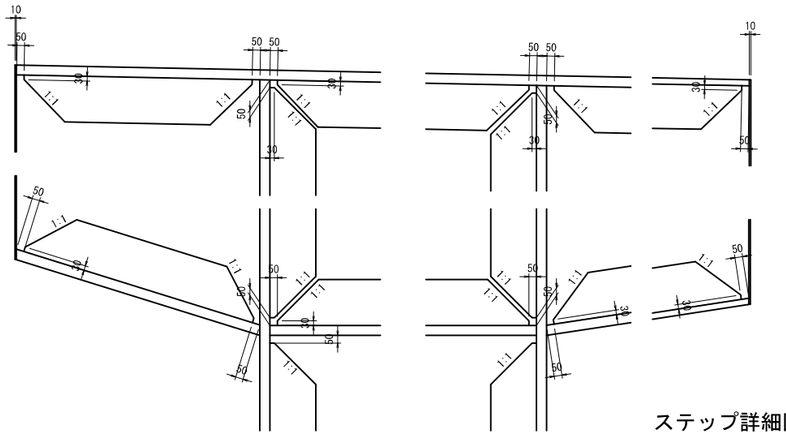
t	R
t≦22	20
23≦t<32	25
33≦t	30

スリット詳細

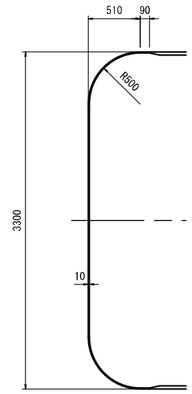


縦リブ端部詳細　S=1:20

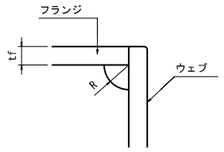
END PL部　隅角部　END PL部



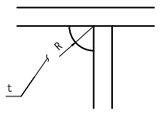
梁先端部詳細　S=1:30



柱及び横梁かど溶接部
スカーラップ詳細



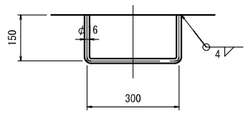
スカーラップ内の溶接ビード同士が
重ならないようにすること。



t	R
t≦16	35
16<t<40	40
t≧40	50

ステップ詳細図

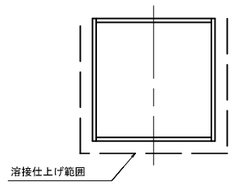
※ 現場継手と干渉する箇所は現場溶接とする。



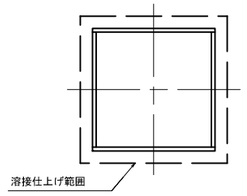
1-RB φ16x600(SS400)

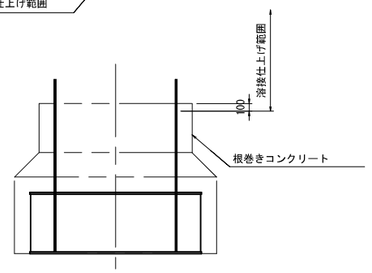
溶接仕上げ範囲詳細

梁部



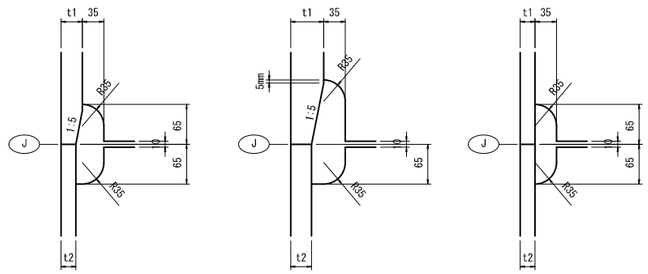
柱部





現場溶接部
縦リブスカーラップ詳細　S=1:5

(t1-t2) ≦ 11　(t1-t2) > 11　t1 = t2
板厚差がない場合

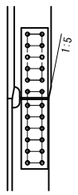


板継ぎ溶接部詳細

注）テーパーは1:5を標準とする。

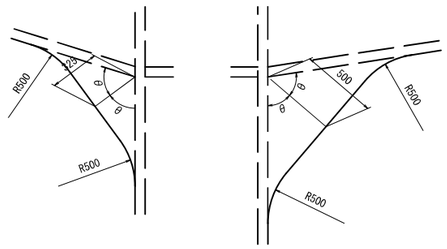
縦リブテーパー詳細

ボルト継手



注）縦リブが同幅の場合、母材の板厚差分の
テーパーを縦リブにとること。

フイレット詳細　S=1:20



工事名	広島高速5号線温品ＪＣＴ鋼上部工事（２工区）		
図面番号	38 / 87	縮尺	図示
図面名	DP9鋼製橋脚 共通詳細図(その2)	番号	
路線名	広島高速５号線		

広島高速道路公社

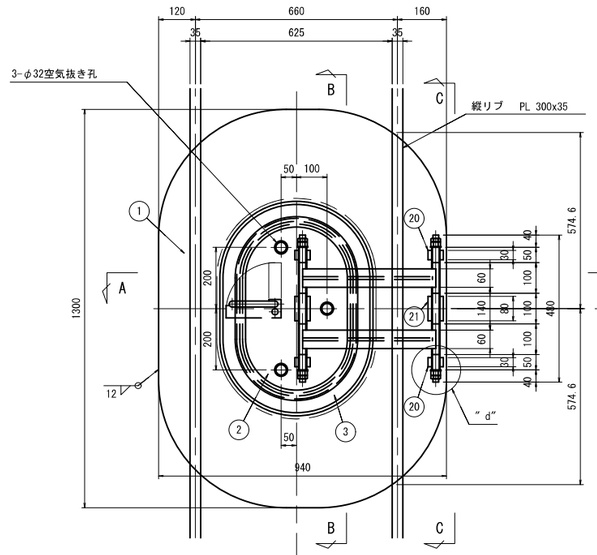
DP9鋼製橋脚 共通詳細図(その2)　S=1:10

注記
1. 特記なき材質は、全てSM400Aとする。
2. ゴムパッキンは、母材側に接着剤にて取付ける。
3. ※印部材は、溶融亜鉛めっきとする。
亜鉛の付着量は、JIS H8641 HDZT77とする。
但し、板厚3.2mm以上6mm未満の鋼材は、HDZT63とし、
ボルト・ナットおよび板厚3.2mm未満の
鋼材は、HDZT49とする。

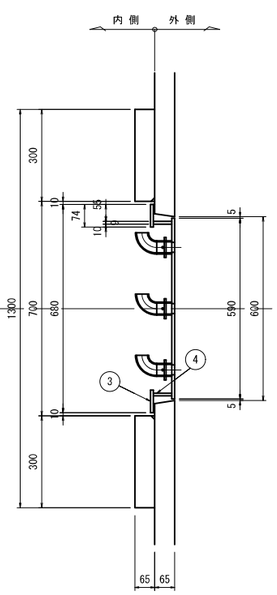
柱部用
M-1

①	1-PL 940 x 65 x 1300 (SBHS500)(本体にて計上)
②	1-PL 390 x 9 x 590
③	1-PL 420 x 9 x 680
④	2-PL 61 x 9 x 767
⑤	2-PL 430 x 9 x 409
⑥	2-PL 60 x 9 x 957
⑦	4-PIPE 20A x 50 (SUS304TP 20S)
⑧	6-PIPE 20A x 100 (SUS304TP 20S)
⑨	2-RB φ19 x 480 (SUS304)
⑩	4-NUT M18 (1種) (SUS304)
	4-NUT M18 (3種) (SUS304)
	4-座金 M18用 (SUS304)
※ ⑪	1-PIPE 50A x 50 (SGP)
⑫	1-PL φ80 x 6 (SUS304)
⑬	2-PL φ30 x 6 (SUS304)
⑭	1-PL 60 x 12 x 180 (SUS304)
⑮	1-PL 30 x 15 x 50 (SUS304) (一面テーパー加工削り代3mm)
⑯	1-PL 20 x 9 x 30
⑰	1-RB φ19 x 235 (SUS304)
⑱	1-RB φ19 x 315 (SUS304)
⑲	1-ゴムパッキン 480x5x680 (クロロプレンゴム(硬度50°))
⑳	4-PL 50 x 6 x 30
㉑	2-PL 50 x 6 x 80
※ ㉒	3-PIPE 32A x 50 (SGP)
※	3-90° ロングエルボ 32A(SGP)
※	6-RB φ6 x 65 (SS400)
㉓	2-ゴムパッキン 50x5x50 (クロロプレンゴム(硬度50°))

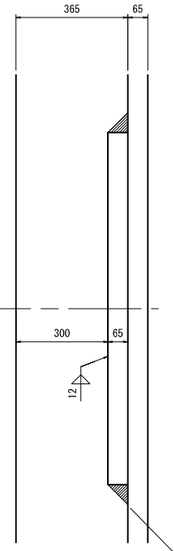
内側正面図



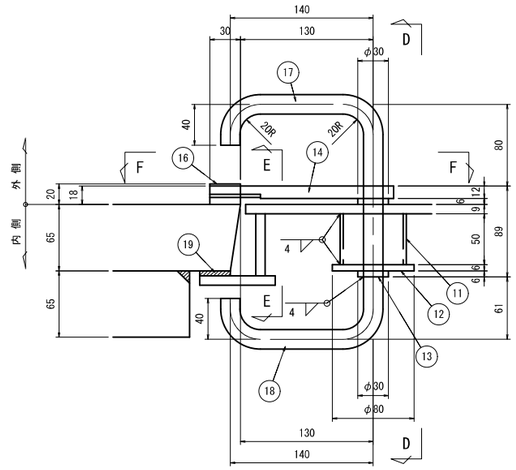
B－B



C－C

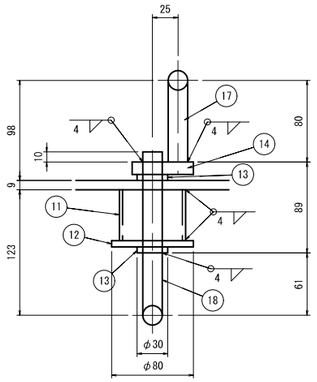


"a" 部詳細図　S=1:3

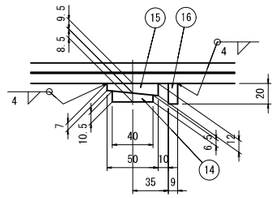


"a" 部詳細の母材については、角落としを10mm設けること。

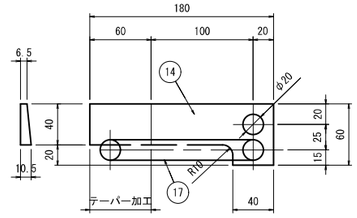
D－D　S=1:3



E－E　S=1:3

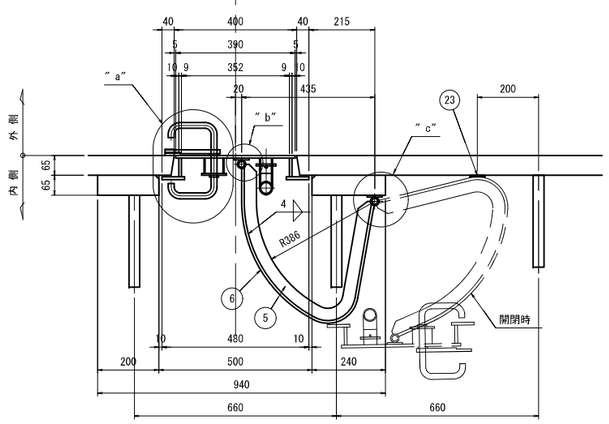


F－F　S=1:3

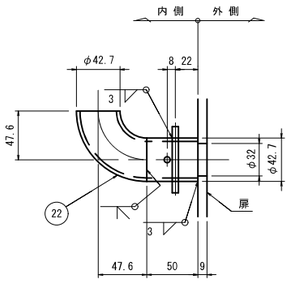


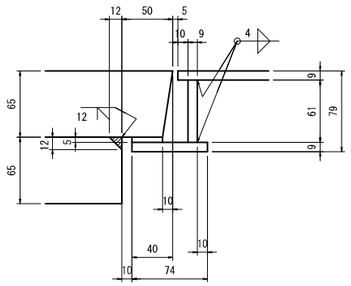
カット後埋め戻し

A－A

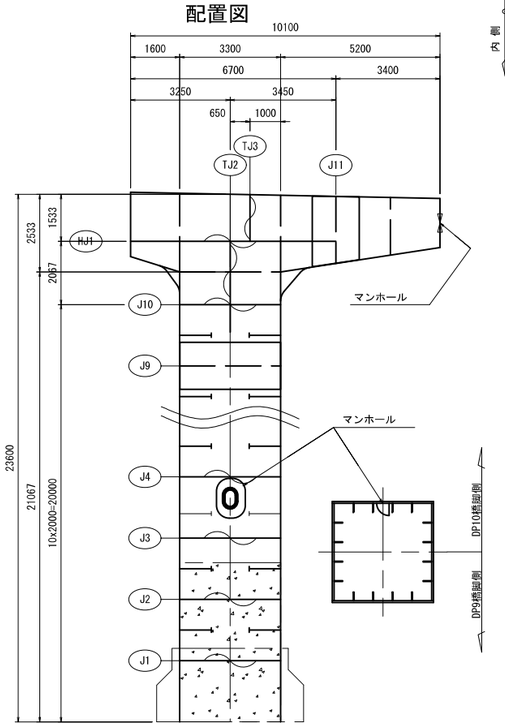


空気抜き孔詳細図　S=1:3



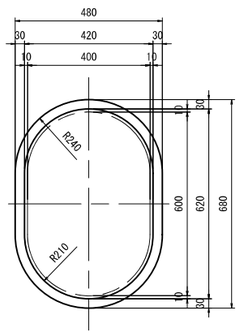


配置図

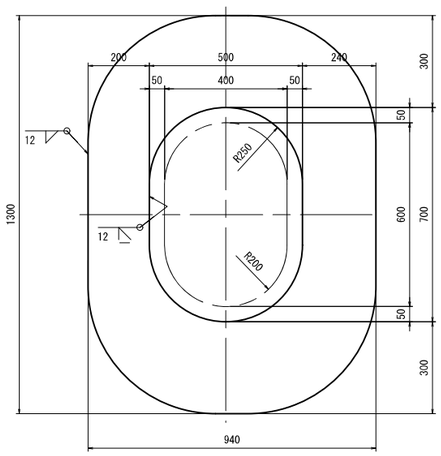


ゴムパッキン詳細図

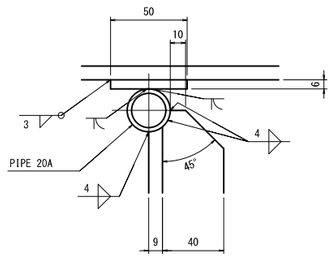
（フタ側に貼付）



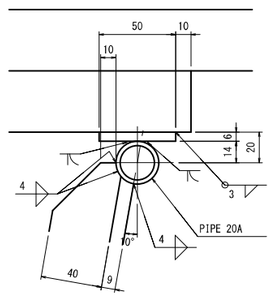
マンホール補強板詳細図



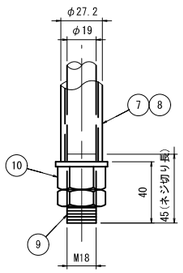
"b" 部詳細図　S=1:2



"c" 部詳細図　S=1:2



"d" 部詳細図　S=1:2



工事名	広島高速5号線温品ＪＣＴ鋼上部工事（２工区）		
図面番号	39 / 87	縮尺	図示
図面名	DP9鋼製橋脚 共通詳細図(その3)	番号	
路線名	広島高速５号線		

広島高速道路公社

DP9鋼製橋脚 共通詳細図(その3) S=1:10

梁先端部用

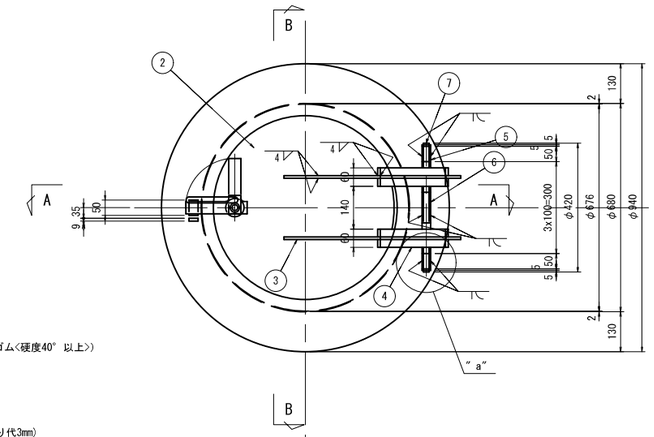
M-2

注記

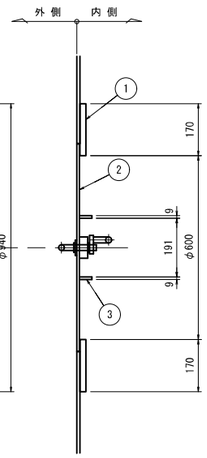
1. 特記なき材質は、全てSM400Aとする。
2. ゴムパッキンは、母材側に接着剤にて取付ける。

①	1 - PL φ940 x 20	・・・本体図計上	
②	1 - PL φ676 x 9		
③	2 - PL 236 x 9 x 578		
④	2 - PL 60 x 9 x 491		
⑤	2 - RB φ32 x 50 (SUS304)		
⑥	3 - RB φ32 x 100 (SUS304)		
⑦	1 - RB φ22 x 420 (SUS304)		
⑧	2 - PL φ28 x 5 (SUS304)		
⑨	1 - ゴムパッキン680 x 1	(クロロプレンゴム<硬度40° 以上>)	
⑩	2 - PL φ30 x 5 (SUS304)		
⑪	1 - PL φ50 x 21 (SM400A)		
⑫	1 - PL 60 x 12 x 140 (SUS304)		
⑬	1 - PL 30 x 15 x 50 (SUS304)(一面テーパー加工削り代3mm)		
⑭	1 - PL 20 x 9 x 30		
⑮	1 - RB φ19 x 240 (SUS304)		
⑯	1 - RB φ19 x 200 (SUS304)		
⑰	1 - PL φ50 x 5 (SUS304)		
⑱	2 - ゴム板50 x 38 x 50	(クロロプレンゴム<硬度40° 以上>)	
⑲	4 - BN M8 x 35 (SUS304)		

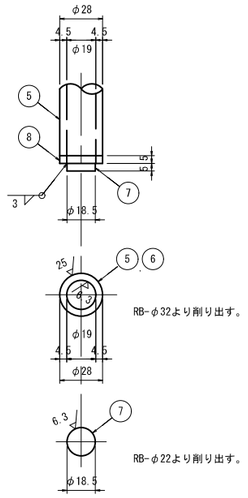
内側正面図



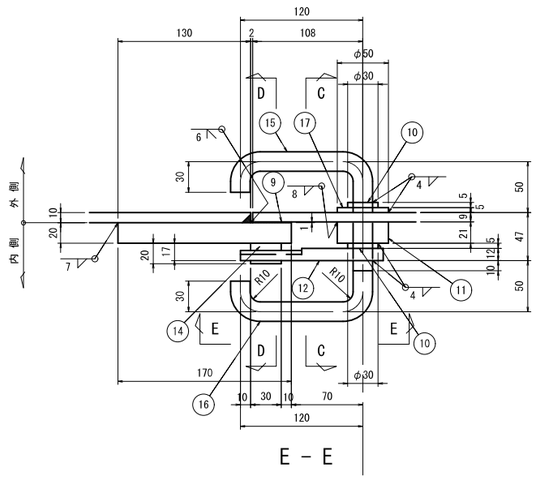
B - B



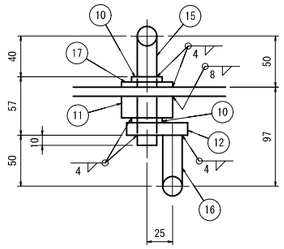
"a" 部詳細図 S=1:2



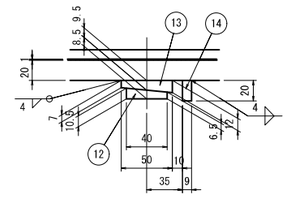
"b" 部詳細図 S=1:3



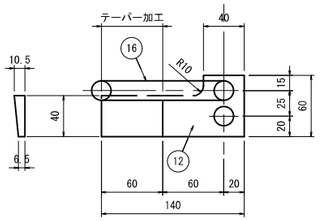
C - C S=1:3



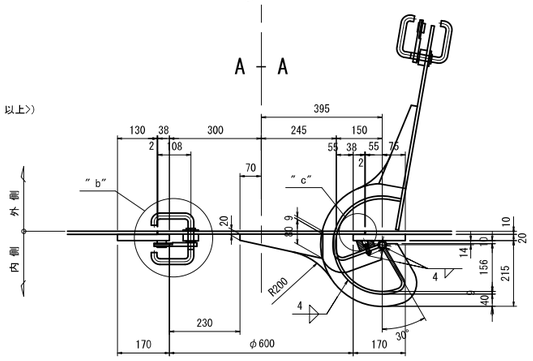
D - D S=1:3



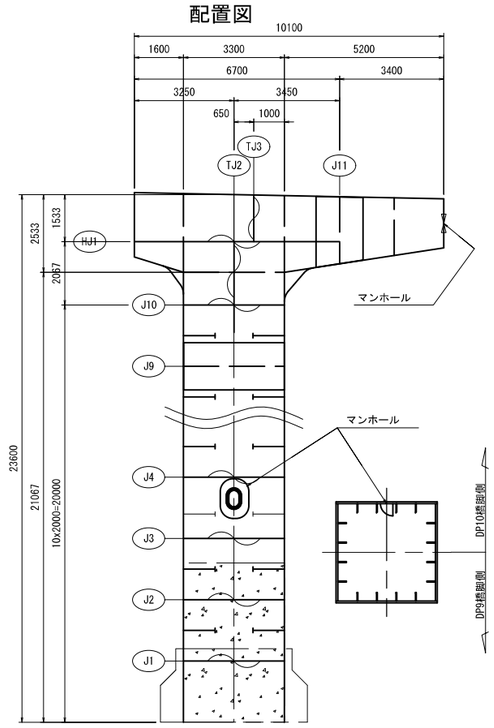
E - E



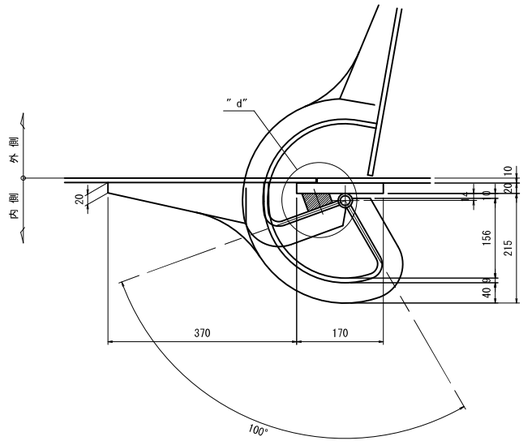
A - A



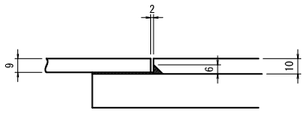
配置図



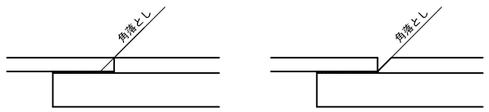
マンホール蓋回転図 S=1:6



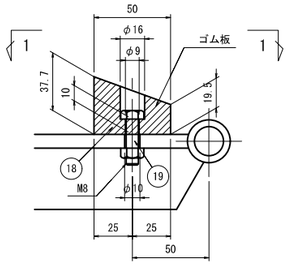
"c" 部詳細図 S=1:2



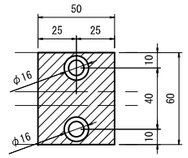
扉の開閉具合を検討して、必要であれば、
"c"部詳細において、扉または母材を
角落ししてよいものとする。



"d" 部詳細図 S=1:2



1 - 1



工事名	広島高速5号線温品ＪＣＴ鋼上部工事（2工区）		
図面番号	40 / 87	縮尺	図示
図面名	DP9鋼製橋脚 柱 詳細図(その1)	番号	
路線名	広島高速５号線		

広島高速道路公社

DP9鋼製橋脚 柱 詳細図(その1)

S=1:30

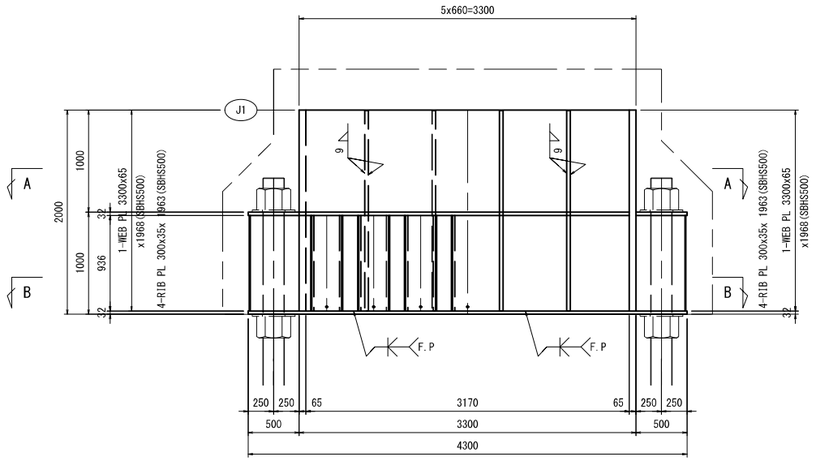
基部～J1

注 記

1. 特記なき材質は、全て SM400A とする。
2. 特記なきスカーラップは、全て R=35 とする。
3. ⊕ 印は、高力ボルト TCB M22 (S10T)、
   TCB M24 (S10T)を示す。
   ✳印は、高力ボルト HTB M24 (F10T)を示す。
4. ※印部は、C15溶接後埋戻しとする。

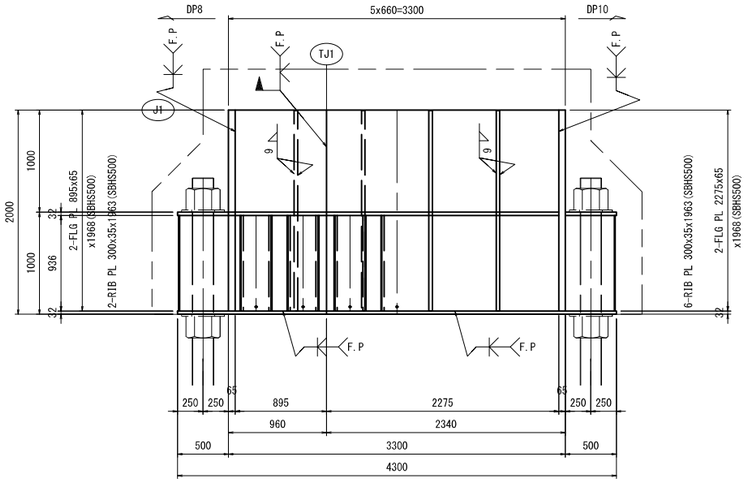
C － C　　D － D

橋軸直角方向（ウェブ面）



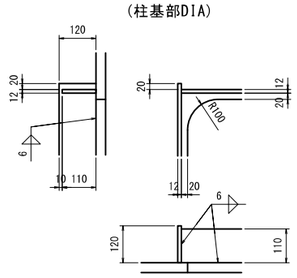
E － E　　F － F

橋軸方向（フランジ面）

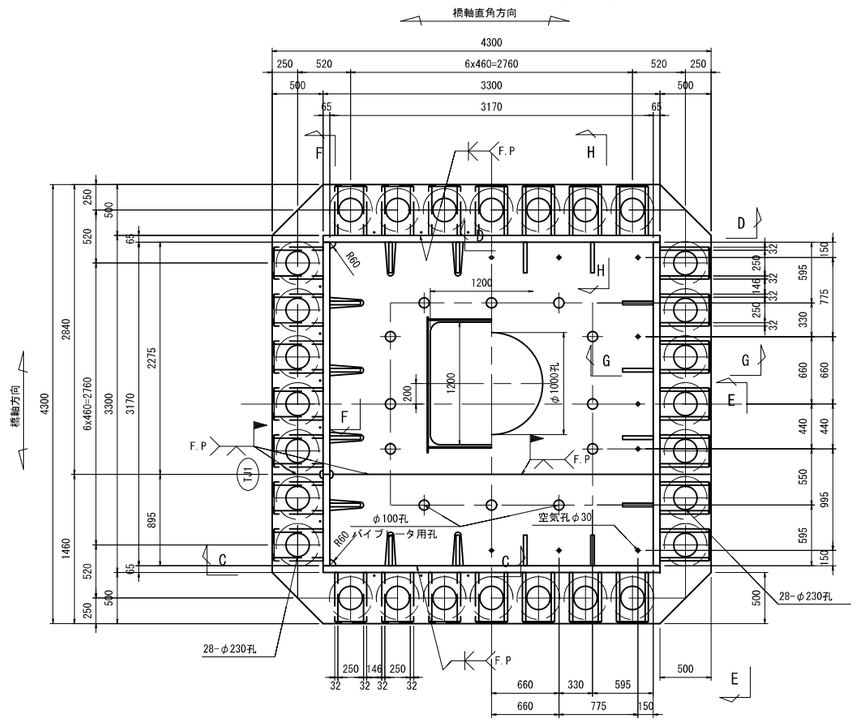


開口部詳細　S=1:10

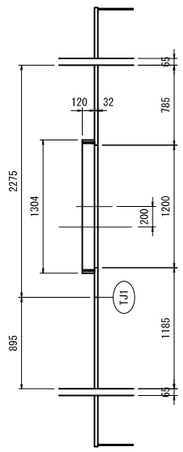
(柱基部DIA)



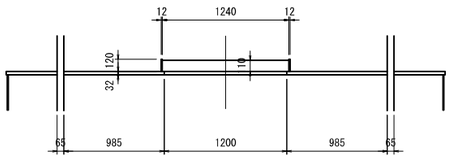
A － A　　B － B



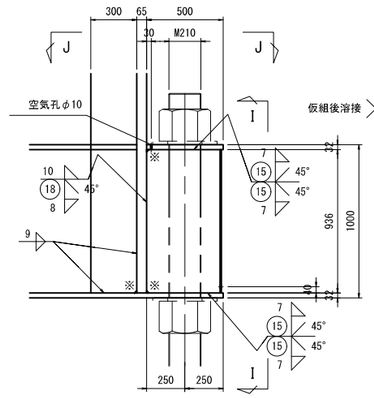
1 - FLG PL 4300 x 32 x 2840(SBHS500)
1 - DIA PL 3170 x 32 x 2275(SBHS500)
2 - PL 120 x 12 x 1304
2 - PL 110 x 12 x 1240
34 - RIB PL 480 x 32 x 936(SBHS500)
17 - COV PL 294 x 9 x 936
1 - BASE PL 4300 x 32 x 2840(SBHS500)



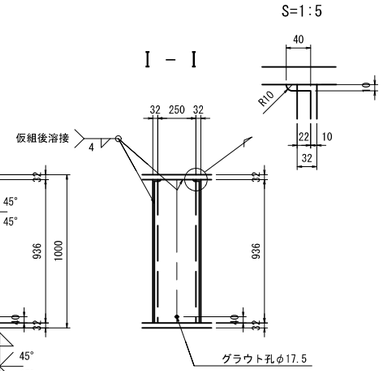
1 - FLG PL 4300 x 32 x 1460(SBHS500)
1 - DIA PL 3170 x 32 x 895(SBHS500)
22 - RIB PL 480 x 32 x 936(SBHS500)
11 - COV PL 294 x 9 x 936
1 - BASE PL 4300 x 32 x 1460(SBHS500)



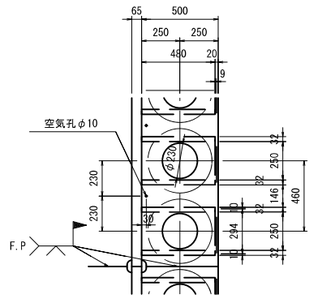
G － G,H － H　S=1:20



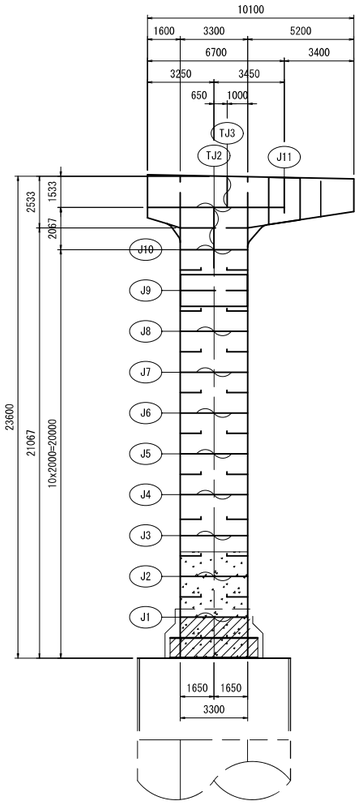
I － I　S=1:5



J － J



配置図



工事名	広島高速5号線温品ＪＣＴ鋼上部工事（２工区）		
図面番号	41 / 87	縮　尺	図 示
図面名	DP9鋼製橋脚 柱 詳細図(その2)	番号	
路線名	広島高速５号線		

広島高速道路公社

DP9鋼製橋脚 柱 詳細図(その2)

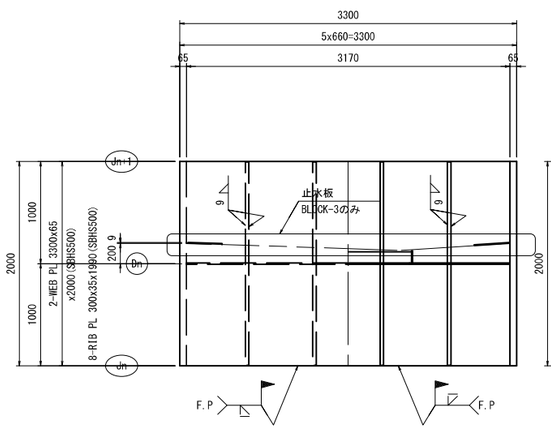
S=1:30

J1～J3, J5～J8

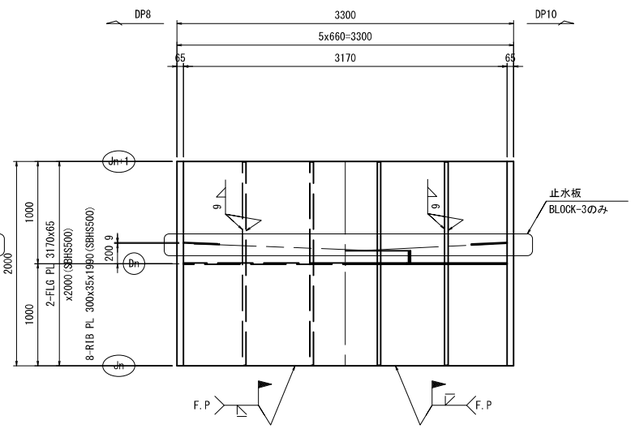
注 記

1. 特記なき材質は、全て SM400A とする。
2. 特記なきスカーラップは、全て R=35 とする。
3. ⊕ 印は、高カボルト TCB M22 (S10T),
   TCB M24 (S10T)を示す。
   ✳印は、高カボルト HTB M24 (F10T)を示す。
4. ※印部は、C15溶接後埋戻しとする。

橋軸直角方向（ウェブ面）



橋軸方向（フランジ面）



縦リブ添接詳細

S=1:20

J1, J2, J4～J8

WEB = 8箇所/JOINT

FLG側 = 8箇所/JOINT

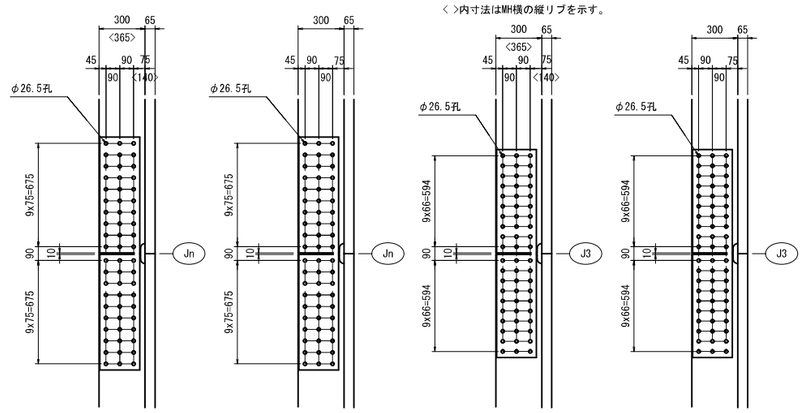
< >内寸法はJ4のMH横の縦リブを示す。

J3

WEB = 8箇所

FLG側 = 8箇所

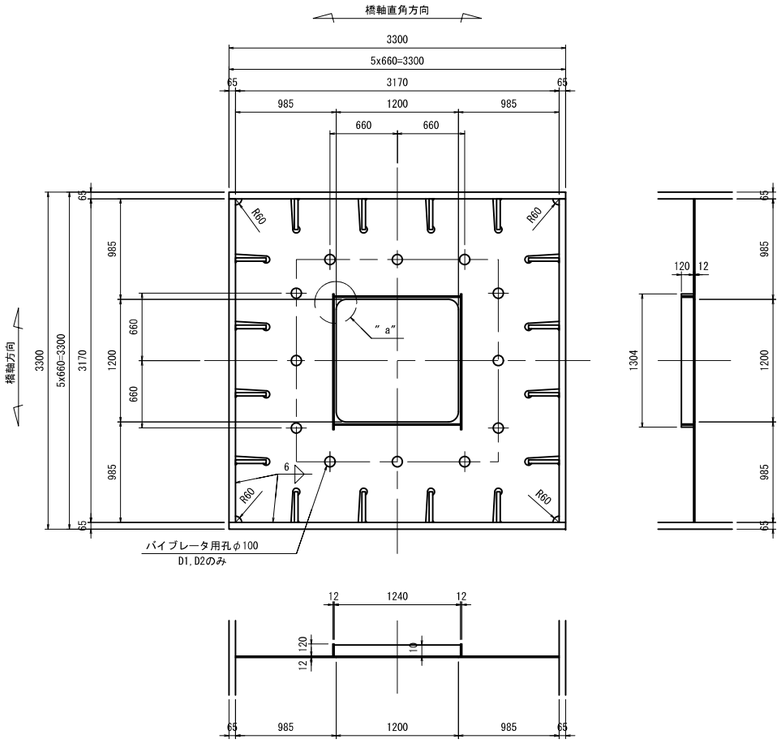
< >内寸法はMH横の縦リブを示す。



標準ダイアフラム

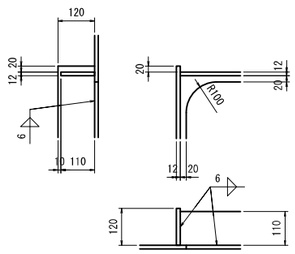
D1, D2, D4～D9

BLOCK	Jn	Jn+1	Dn
2	J1	J2	D1
3	J2	J3	D2
6	J5	J6	D5
7	J6	J7	D6
8	J7	J8	D7



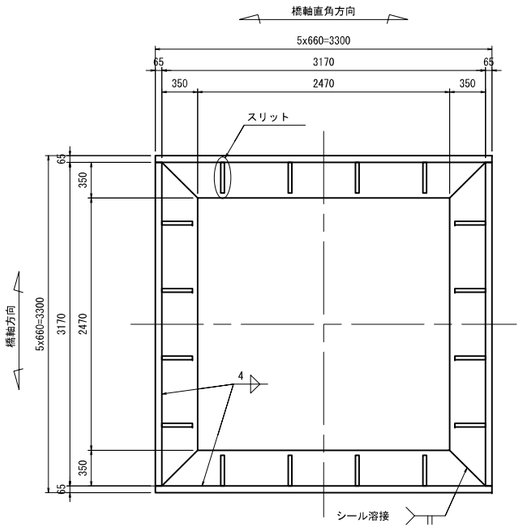
"a"部詳細

S=1:10



止水板詳細

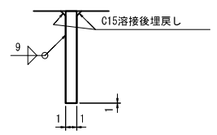
BLOCK-3のみ



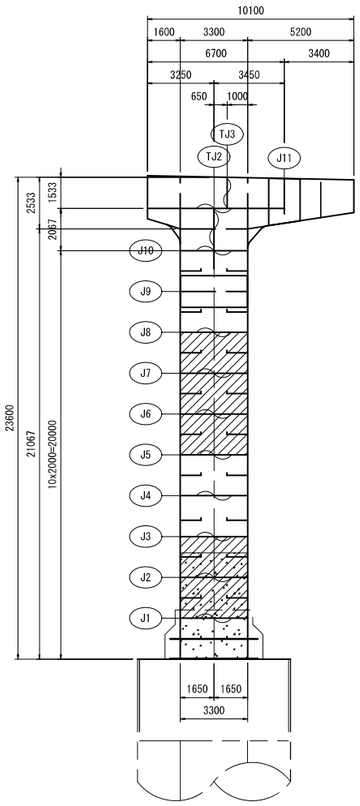
4 - PL 350 x 9 x 3170

スリット詳細

S=1:10



配置図



工事名	広島高速5号線温品ＪＣＴ鋼上部工事（2工区）		
図面番号	42 / 87	縮尺	図示
図面名	DP9鋼製橋脚 柱 詳細図(その3)	番号	
路線名	広島高速５号線		

広島高速道路公社

DP9鋼製橋脚 柱 詳細図(その3)

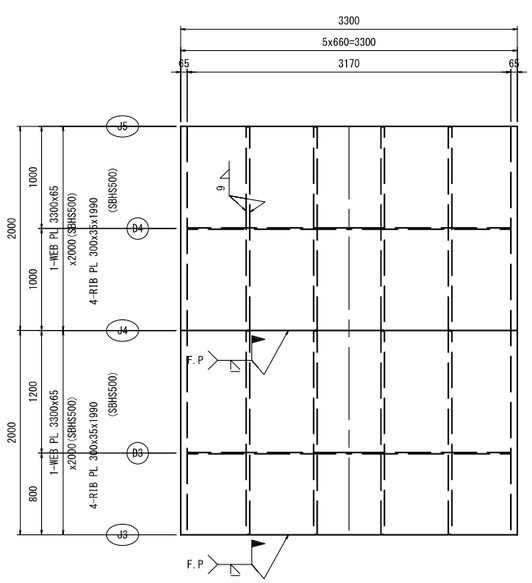
S=1:30

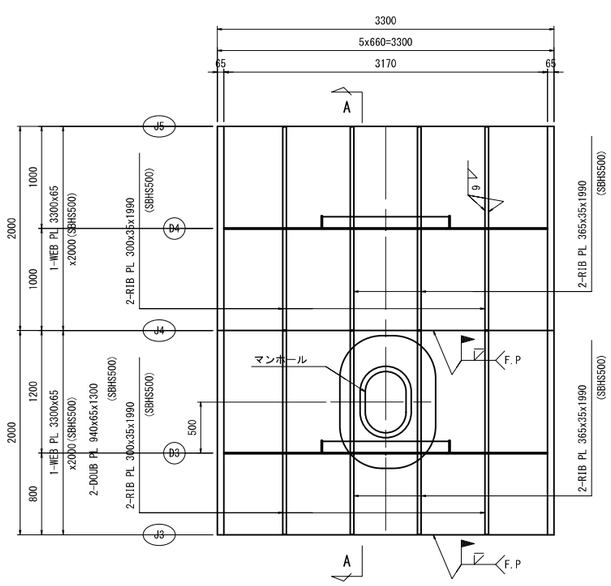
J3～J5

注 記

1. 特記なき材質は、全て SM400A とする。
2. 特記なきスカーラップは、全て R=35 とする。
3. ⊕ 印は、高力ボルト TCB M22 (S10T)、
   TCB M24 (S10T)を示す。
   ✳印は、高力ボルト HTB M24 (F10T)を示す。
4. ※印部は、C15溶接後埋戻しとする。

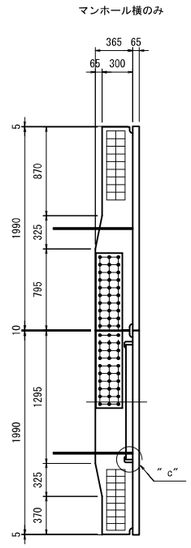
橋軸直角方向（ウェブ面）



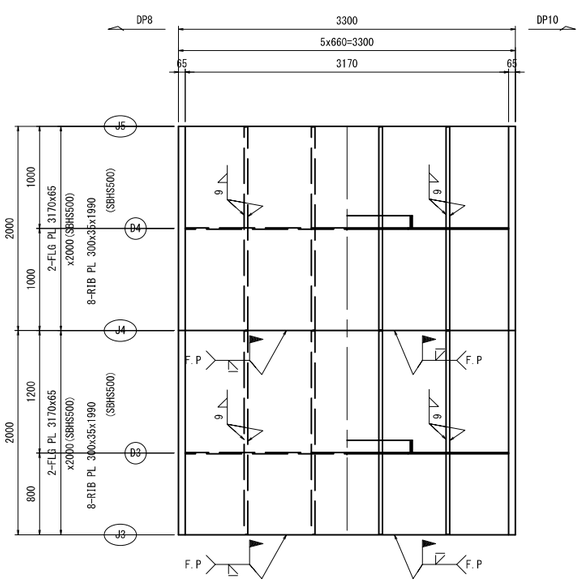


A － A

マンホール横のみ



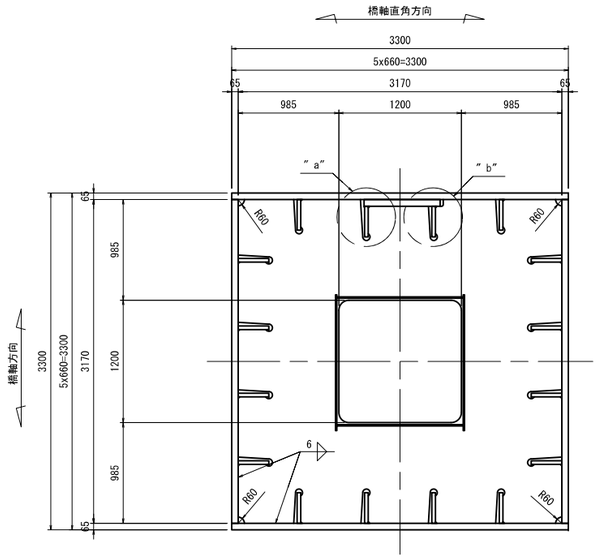
橋軸方向（フランジ面）



配置図

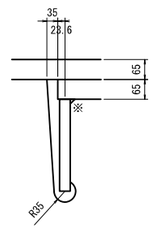
D3

注）特記の他標準ダイアフラムに倣う

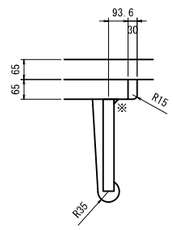


1-DIA PL 3170x12x3170
2-PL 120x12x1304
2-PL 110x12x1240

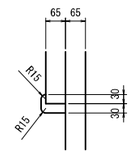
"a" 部詳細 S=1:10

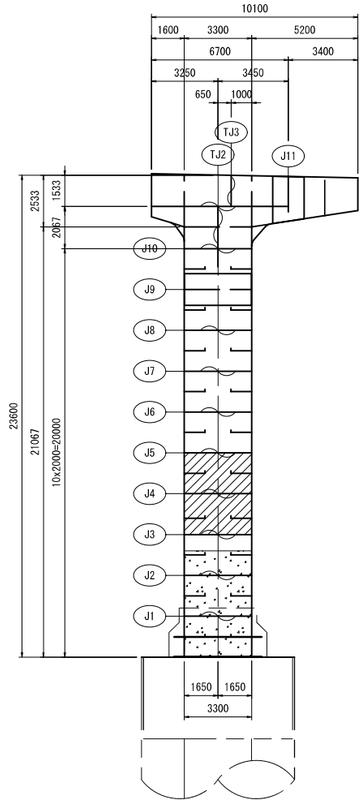


"b" 部詳細 S=1:10



"c" 部詳細 S=1:10





工事名	広島高速5号線温品ＪＣＴ鎖上部工事（2工区）		
図面番号	43 / 87	縮尺	図示
図面名	DP9鋼製橋脚 柱 詳細図(その4)	番号	
路線名	広島高速５号線		

広島高速道路公社

DP9鋼製橋脚 柱 詳細図(その4)

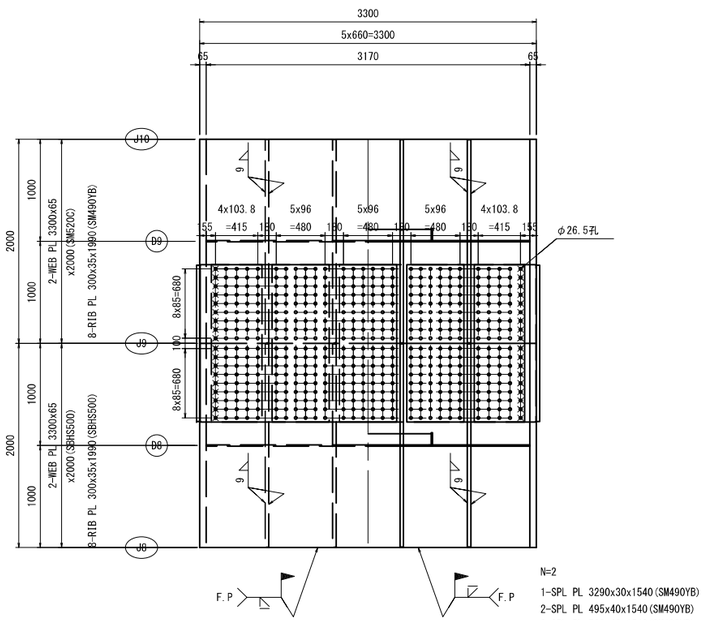
S=1:30

J8～J10

注 記

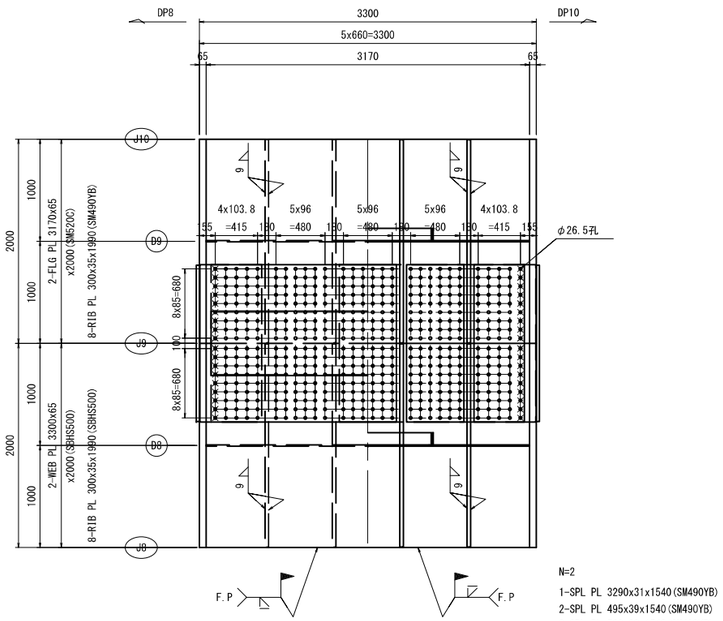
1. 特記なき材質は、全て SM400A とする。
2. 特記なきスカーラップは、全て R=35 とする。
3. ⊕ 印は、高カボルト TCB M22 (S10T),
   TCB M24 (S10T)を示す。
   ✳印は、高カボルト HTB M24 (F10T)を示す。
4. ※印部は、C15溶接後埋戻しとする。

橋軸直角方向（ウェブ面）



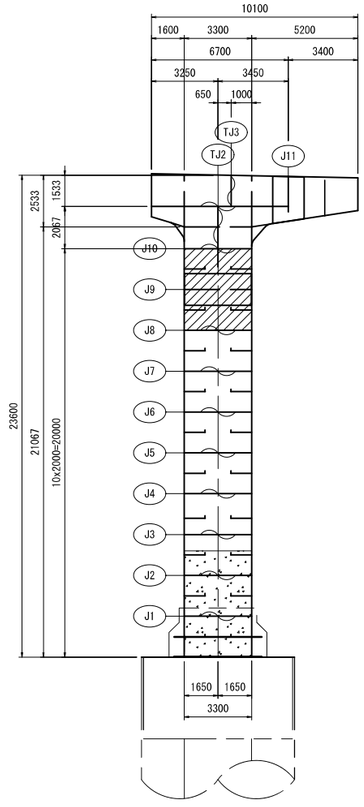
N=2
1-SPL PL 3290x30x1540(SM490YB)
2-SPL PL 495x40x1540(SM490YB)
3-SPL PL 560x40x1540(SM490YB)
468-TCB M24x175(S10T)
36-HTB M24x180(F10T)

橋軸方向（フランジ面）



N=2
1-SPL PL 3290x31x1540(SM490YB)
2-SPL PL 495x39x1540(SM490YB)
3-SPL PL 560x39x1540(SM490YB)
468-TCB M24x175(S10T)
36-HTB M24x180(F10T)

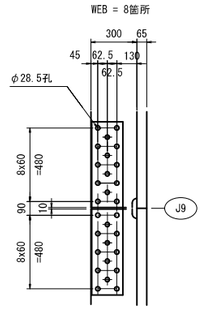
配置図



縦リブ添接詳細

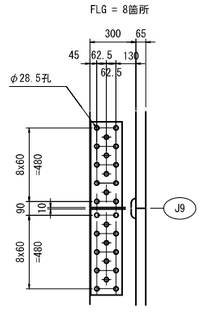
S=1:20

J9



2 - SPL PL 205 x 29 x 1130
(SM490YB)

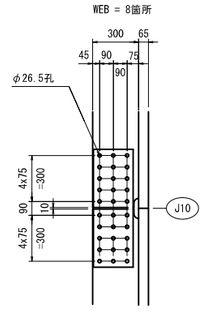
28 - TCB M24 x 135(S10T)



2 - SPL PL 205 x 29 x 1130
(SM490YB)

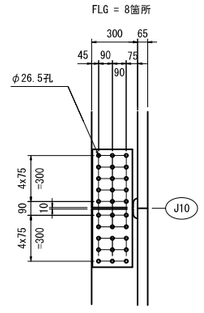
28 - TCB M24 x 135(S10T)

J10



2 - SPL PL 260 x 22 x 770
(SM490YB)

30 - TCB M22 x 115(S10T)



2 - SPL PL 260 x 22 x 770
(SM490YB)

30 - TCB M22 x 115(S10T)

工事名	広島高速5号線温品ＪＣＴ鋼上部工事（２工区）		
図面番号	44 / 87	縮尺	図示
図面名	DP9鋼製橋脚 横梁・隅角部 詳細図(その1)	番号	
路線名	広島高速５号線		

広島高速道路公社

DP9鋼製橋脚 横梁・隅角部 詳細図(その1)

S=1:30

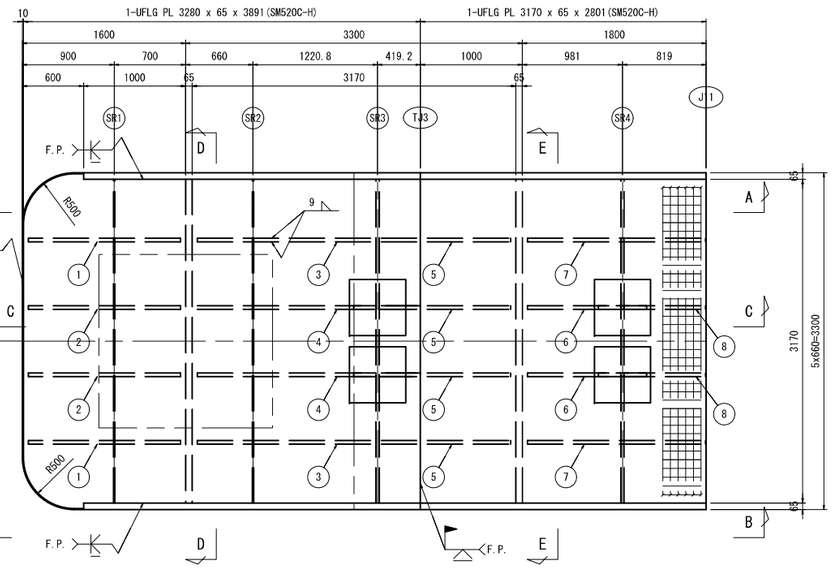
注 記

1. 特記なき材質は、全て SM400A とする。
2. 特記なきスカーラップは、全て R=35 とする。
3. ⊕ 印は、高カボルト TCB M22 (S10T)、TCB M24 (S10T)を示す。
   ✳印は、高カボルト HTB M22 (F10T)、HTB M24 (F10T)を示す。
4. ※印部は、C15溶接後埋戻しとする。

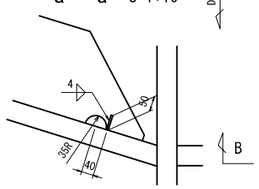
L側
① 2-RIB PL 300x35x1490(SM490YB)
② 2-RIB PL 300x35x840(SM490YB)
③ 2-RIB PL 300x35x2184(SM490YB)
④ 2-RIB PL 300x35x985(SM490YB)
2-BASE PL 550x22x550

R側
⑤ 4-RIB PL 300x35x887(SM490YB)
⑥ 2-RIB PL 300x35x701(SM490YB)
⑦ 2-RIB PL 300x35x1744(SM490YB)
⑧ 2-RIB PL 300x35x577(SM490YB)
2-BASE PL 550x22x550

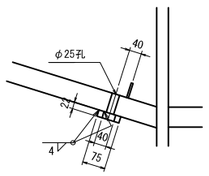
上フランジ



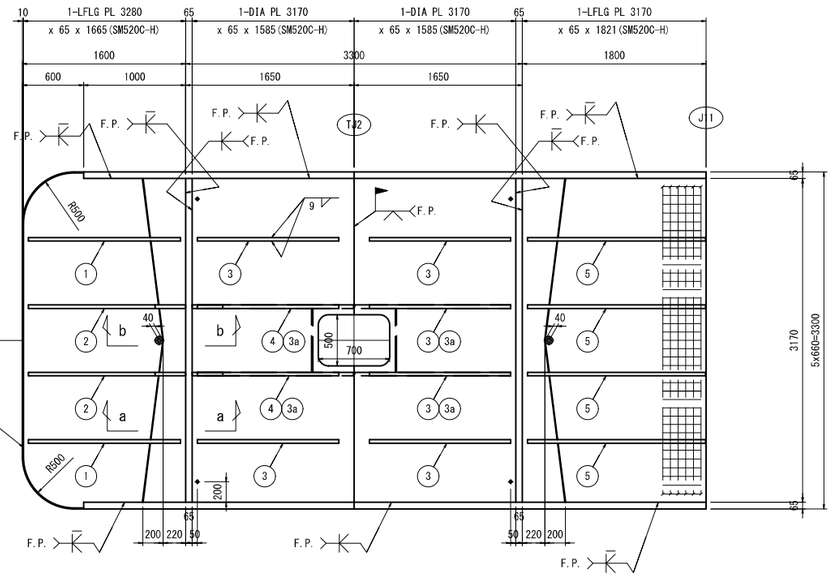
a − a S=1:10



b − b



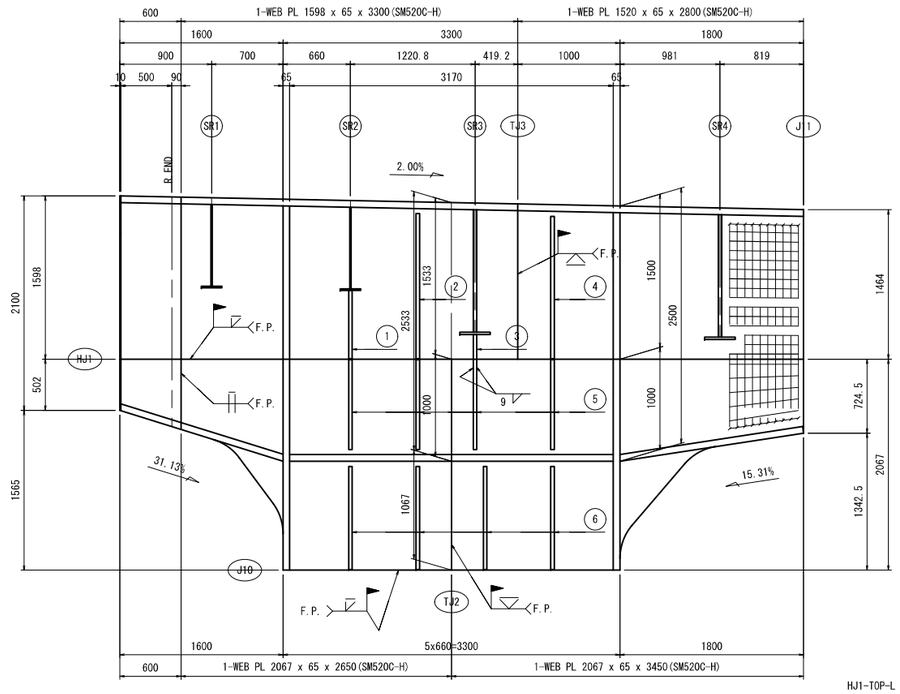
下フランジ



L側
① 2-RIB PL 300x35x1565(SM490YB)
② 2-RIB PL 300x35x1301(SM490YB)
③ 2-RIB PL 300x35x1435(SM490YB)
③a 2-RIB PL 300x35x1530(SM490YB)
④ 2-RIB PL 300x35x1185(SM490YB)
2-FB 50x6x582(SS400)
3-FB 50x6x630(SS400)
1-PL φ75x22
1-PL 150x12x625

R側
③ 4-RIB PL 300x35x1435(SM490YB)
③a 2-RIB PL 300x35x1530(SM490YB)
⑤ 4-RIB PL 300x35x1756(SM490YB)
2-FB 50x6x582(SS400)
3-FB 50x6x630(SS400)
1-PL φ75x22
1-PL 150x12x625

A − A



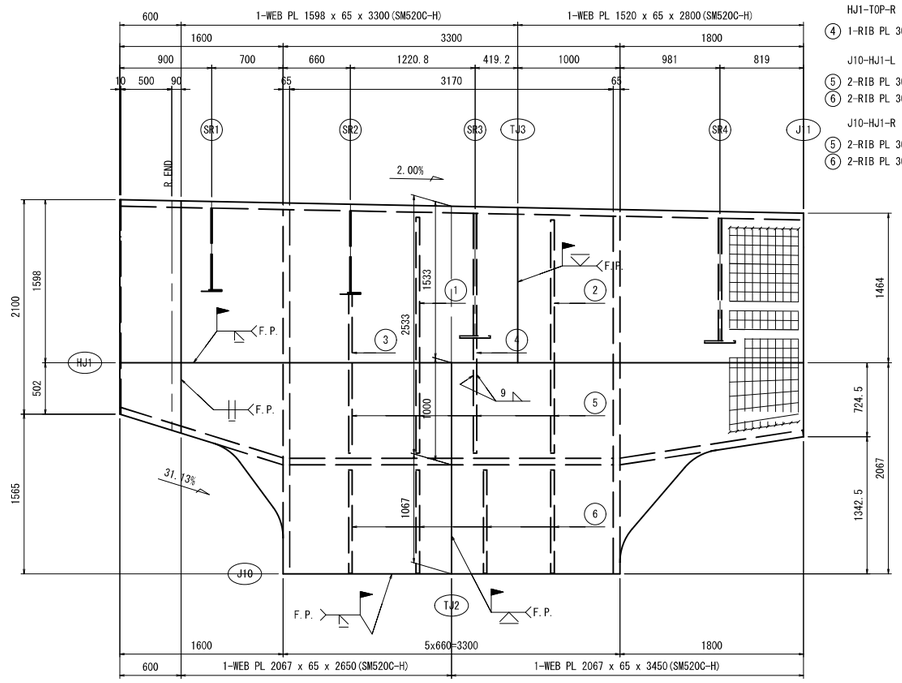
HJ1-TOP-L
① 1-RIB PL 300x35x667(SM490YB)
② 1-RIB PL 300x35x1420(SM490YB)
③ 1-RIB PL 300x35x242(SM490YB)

HJ1-TOP-R
④ 1-RIB PL 300x35x1392(SM490YB)

J10-HJ1-L
⑤ 2-RIB PL 300x35x880(SM490YB)
⑥ 2-RIB PL 300x35x1012(SM490YB)

J10-HJ1-R
⑤ 2-RIB PL 300x35x880(SM490YB)
⑥ 2-RIB PL 300x35x1012(SM490YB)

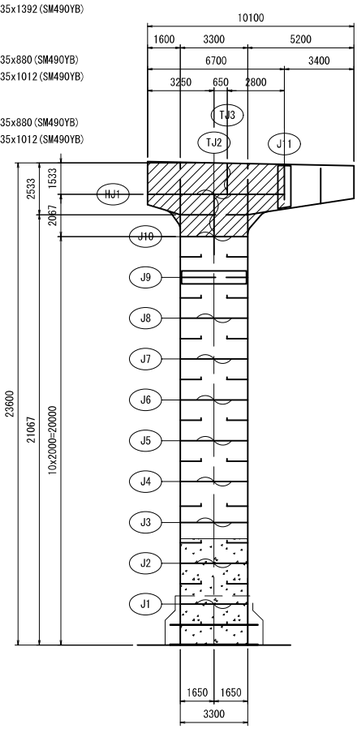
B − B



HJ1-TOP-L
① 1-RIB PL 300x35x667(SM490YB)
② 1-RIB PL 300x35x1420(SM490YB)
③ 1-RIB PL 300x35x242(SM490YB)

HJ1-TOP-R
④ 1-RIB PL 300x35x1392(SM490YB)

J10-HJ1-L
⑤ 2-RIB PL 300x35x880(SM490YB)
⑥ 2-RIB PL 300x35x1012(SM490YB)

J10-HJ1-R
⑤ 2-RIB PL 300x35x880(SM490YB)
⑥ 2-RIB PL 300x35x1012(SM490YB)

配置図